

令和3年度

奈良市教育委員会施策評価報告書

(令和2年度教育委員会活動の点検・評価報告)

令和3年8月

奈良市教育委員会

目 次

はじめに	1
1 点検・評価の概要	2
2 点検・評価の結果	5
シート別担当課及び事業一覧	7
(1) 教育委員会の活動	9
(2) 教育委員会が管理・執行する事務	14
(3) 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務	18
【基本施策 2-01 学校教育】	
施策 2-01-01 特色のある教育の推進	18
施策 2-01-03 義務教育の充実	42
施策 2-01-04 市立一条高等学校の教育の充実	63
【基本施策 2-02 青少年の健全育成】	
施策 2-02-01 青少年の健全育成	72
【基本施策 2-03 生涯学習】	
施策 2-03-01 生涯学習の推進	83
施策 2-03-02 図書館の充実	88
【基本施策 2-04 文化遺産の保護と継承】	
施策 2-04-01 文化遺産の保存と活用	97
【基本施策 3-02 子育て】	
施策 3-02-03 子育てと仕事の両立支援	112
【基本施策 4-01 危機管理と地域の安全・安心 (防災・消防・防犯・交通安全)】	
施策 4-01-04 防犯力の充実	115
【評価全体に対する外部評価者の意見】	118
3 参考資料	119

はじめに

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（以下「地教行法」という。）により、教育委員会は、毎年、その教育行政事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならないと規定されています。

そこで、奈良市教育委員会では、法の趣旨に則り、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民の皆様への説明責任を果たすため、令和2年度に教育委員会において実施した事務について、評価を実施しました。「奈良市教育委員会施策評価報告書」は、この評価結果をまとめたものです。

この評価結果を来年度以降の事務に生かし、教育行政のより一層の向上に努めますので、今後ともご理解・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

奈良市教育委員会

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

1 点検・評価の概要

奈良市教育委員会施策評価の概要は、次のとおりです。

1 点検・評価の目的

地教行法により、教育委員会は、毎年、その教育行政事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならないと規定されている。

そこで、教育委員会が行っている政策効果を把握し、必要性や効率性等の観点から自己評価を行い、その結果を公表することにより、政策立案を的確に行うとともに住民に対する説明責任を果たす。

2 点検・評価の対象

教育委員会が行っている事務を、性質別に3つに分類し、それらを構成する各施策について点検・評価を行う。

(1) 教育委員会の活動

教育委員会の会議の運営・公開について評価を行う。

(2) 教育委員会が管理・執行する事務

地教行法に規定する教育委員会の職務権限に属するもので、教育委員会が管理・執行することとされている事務についての評価を行う。

(3) 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

教育長に対する事務委任規則（昭和27年11月1日 教育委員会規則第6号）で規定する教育長に委任されている事務について、奈良市第4次総合計画の施策体系に基づいて評価を行う。ただし、幼稚園にかかる事務については、子ども未来部が補助執行しているため、評価対象外とする。

『施策体系』

●基本施策 2-01 学校教育

施策 2-01-01 特色のある教育の推進

施策 2-01-02 幼児教育の充実（評価対象外）

施策 2-01-03 義務教育の充実

施策 2-01-04 市立一条高等学校の教育の充実

●基本施策 2-02 青少年の健全育成

施策 2-02-01 青少年の健全育成

- 基本施策 2-03 生涯学習
 - 施策 2-03-01 生涯学習の推進
 - 施策 2-03-02 図書館の充実
- 基本施策 2-04 文化遺産の保護と継承
 - 施策 2-04-01 文化遺産の保存と活用
- 基本施策 3-02 子育て
 - 施策 3-02-03 子育てと仕事の両立支援
- 基本施策 4-01 危機管理と地域の安全・安心
 - 施策 4-01-04 防犯力の充実

3 評価の方法

施策を構成する主な事業の達成状況を以下の5段階の評価基準によって評価し、それらの平均値及び文章表現による成果、課題と今後の方向性によって総合評価を行う。

なお、「教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」については、評価の単位を施策の展開方向とする。

【主な事業の達成状況】

5…予定を大幅に上回った（予定（目標値等）を30%以上上回った場合）

予定を大幅に上回って進捗した。

または、事業が施策の目的達成に非常に大きく貢献した。

4…予定を上回った（予定（目標値等）を10%以上～30%未満上回った場合）

予定を上回って進捗した。

または、事業が施策の目的達成に大きく貢献した。

3…予定どおり実施できた

予定どおり進捗した。

または、事業が施策の目的達成に貢献した。

2…予定を下回った（予定（目標値等）を10%以上～30%未満下回った場合）

予定を下回って進捗した。

または、事業が施策の目的達成にあまり貢献していない。

1…予定を大幅に下回った（予定（目標値等）を30%以上下回った場合）

ほとんど進捗しなかった。

または、事業が施策の目的達成にほとんど貢献していない。

4 学識経験を有する者の知見の活用について

教育委員会が作成した「奈良市教育委員会施策評価報告書」をもとに、外部評価者（学識経験者）に点検・評価の方法及び結果に対する意見を聴く。

令和3年度 奈良市教育委員会施策評価外部評価者

仲林 真子 近畿大学教授

橋崎 頼子 奈良教育大学准教授

5 実施年度及び時期について

令和2年度事業の点検・評価結果を、決算の認定に付する時期までに報告・公表する。

2 点検・評価の結果

点検・評価の結果は、奈良市第4次総合計画の施策の展開方向毎に、「事業の令和2年度の実施状況」、「施策の総合評価」、「外部評価者（学識経験者）の意見」で構成される「評価シート」にまとめました。なお、「(1) 教育委員会の活動」及び「(2) 教育委員会が管理・執行する事務」については、奈良市第4次総合計画の体系にはありませんが、それぞれを施策とみなして評価シートにまとめています。

（評価シートの見方については、次ページを参照。）

【評価シート（（3）教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務）の見方】

※（１）、（２）の評価シートの見方は、これに準じます。

令和２年度の実施状況…施策を構成する主な事業の令和２年度の実施状況を、成果、課題と今後の方向性に分けて示しています。

施策の総合評価…施策（展開方向）全体としての成果、課題と今後の方向性を示しています。また、評価の目安として、主な事業の達成値平均から求めた判定も示しています。

- 5：達成度平均 4.5 以上～
- 4：同 3.5 以上 4.5 未満
- 3：同 2.5 以上 3.5 未満
- 2：同 1.5 以上 2.5 未満
- 1：同 0.5 以上 1.5 未満

評価シート4

(3) 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務							
基本施策	2-01 学校教育						
施策	2-01-01 特色のある教育の推進						
施策の目標	情報化が加速し、ますますグローバル化する21世紀の社会の中で、自分を見失わず、多様な価値観、異文化に生きる人たもと互いに分かり合い、協働して未来を切り拓いていくことができる子どもを育みます。						
展開方向	◎ さらなる教育の推進						
具体的な取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ● 幼小連携・小中一貫教育を推進します。 ● 大学との協働でスクールサポート事業を実施するとともに、専門性を有する外部指導者による中学校の進路支援を推進します。 ● 学校規模適正化及び幼保再編の推進により過小規模校・園の解消を図り、より良い教育環境を整えます。また、少人数学級編制を効果的に運用するとともに、指導方法の継続的な研究と成果の共有化を図り、これまで以上に個に応じたきめ細かな教育を推進します。 						
奈良市教育振興基本計画の関連する領域	1-(3)大学との連携、2-(1)学力の向上、3-(1)こども園・幼稚園・保育園と小学校の連携、4-(9)小中一貫教育、(4)少人数学級編制の効果的な運用						
主な事業	令和2年度の実施状況						
1 幼小連携・小中一貫教育推進事業	<p>【成果】</p> <p>【課題と今後の方針】</p> <p>【担当課】 学校教育課</p> <table border="1"> <tr> <th>達成度</th> <th>必要性</th> <th>方向性</th> </tr> <tr> <td>▲</td> <td>▲</td> <td>▲</td> </tr> </table>	達成度	必要性	方向性	▲	▲	▲
達成度	必要性	方向性					
▲	▲	▲					
2 スクールサポート事業	<p>【成果】</p> <p>【課題と今後の方針】</p> <p>【担当課】 学校教育課</p> <table border="1"> <tr> <th>達成度</th> <th>必要性</th> <th>方向性</th> </tr> <tr> <td>▲</td> <td>▲</td> <td>▲</td> </tr> </table>	達成度	必要性	方向性	▲	▲	▲
達成度	必要性	方向性					
▲	▲	▲					
3 少人数学級編制実施（小学校講師）	<p>【成果】</p> <p>【課題と今後の方針】</p> <p>【担当課】 教務員課</p> <table border="1"> <tr> <th>達成度</th> <th>必要性</th> <th>方向性</th> </tr> <tr> <td>▲</td> <td>▲</td> <td>▲</td> </tr> </table>	達成度	必要性	方向性	▲	▲	▲
達成度	必要性	方向性					
▲	▲	▲					

【参考】中長期の進捗状況…「第4次総合計画」に記載がなくても報告できる指標は示しています。

令和2年度の総合評価							
【成果】							
【課題と今後の方針】							
主な事業の達成度平均				●●●●●÷4=●		判定	
【参考】中長期の進捗状況							
指標（単位）	平成28年度実績値	平成29年度実績値	平成30年度実績値	令和元年度実績値	令和2年度実績値	令和2年度目標値	
【参考】総合計画実施計画における計数類及び予算・決算額（展開方向内事業の合計額：万円）							
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
計画額							
予算額							
決算額							
外部評価者（学識経験者）の意見							

達成度…事業の令和2年度の達成度を、5段階で示しています。

5：予定を大幅に上回った
（予定（目標値等）を30%以上上回った場合）

4：予定を上回った
（予定（目標値等）を10%以上～30%未満上回った場合）

3：予定どおり実施できた

2：予定を下回った
予定（目標値等）を10%以上～30%未満下回った場合）

1：予定を大幅に下回った
（予定（目標値等）を30%以上下回った場合）

方向性…事業の令和2年度以降の方向性を下記のとおり示しています。

拡充 同水準 縮小 廃止

必要性…令和元年度と比較して、事業の必要性の変動を下記のとおり示しています。

増加 同水準 減少

※（１）、（２）は必要性の大小を問わず教育委員会として実施しなければならない事務のため、この項目を評価していません。

令和3年度教育委員会施策評価（令和2年度教育委員会活動の点検・評価）シート別担当課及び事業一覧

	施策	施策の展開方向	シート No.	主な事業	担当課	令和2年度 達成度	令和元年度 達成度	
(1)教育委員会の活動			1		教育政策課	3	3	
(2)教育委員会が管理・執行する事務			2		教育政策課	3	3	
(3)教育長 に委任する 事務	2-01-01 特色のある教 育の推進	①教育内容の充実	3	1 地域で決める学校予算事業	地域教育課	3	3	
				2 世界遺産学習推進事業	学校教育課	3	3	
				3 人権教育研修事業	教育支援・相談課	3	3	
				4 人権教育推進事業	学校教育課	3	3	
				5 学校ICTの推進	学校教育課	5	3	
				6 教育センター学習事業	教育支援・相談課	3	3	
				7 キャリア教育推進事業	学校教育課・地域教育課	3	3	
		②きめ細かな教育の推進	4	1 幼小連携・小中一貫教育推進事業	学校教育課	3	3	
				2 スクールサポート事業	学校教育課	3	3	
				3 少人数学級編制実施(小学校講師)	教職員課・学校教育課	3	3	
				4 いじめ対応支援員の配置	いじめ防止生徒指導課	3	3	
		③教職員の研修の充実	5	1 教職員の研修の充実	教育支援・相談課	3	3	
				2 教育メディアの推進	教育支援・相談課	3	3	
		④国際化社会を担う人材の 育成	6	1 世界遺産学習推進事業【再掲】	学校教育課	3	3	
				2 AEE教員(英語教育アドバイザー)の充実	学校教育課	3	3	
				3 小学校英語アシスタント派遣事業	学校教育課	3	3	
		⑤健康・体力づくりの推進	7	1 体育クラブ活動推進事業	学校教育課	3	4	
				2 児童生徒健康管理事業	保健給食課	3	3	
				3 中学校給食実施事業	保健給食課	3	3	
				4 食育指導事業	保健給食課	3	3	
		2-01-03 義務教育の 充実	①教育相談の充実と整備	8	1 教育相談業務の充実	教育支援・相談課	4	3
					②特別支援教育の充実	9	1 特別支援教育推進事業	教育支援・相談課
			2 通級指導教室事業	教育支援・相談課			4	4
3 特別支援教育連携会議事業	教育支援・相談課		3	3				
4 特別支援教育支援員(小・中学校)配置の充実	教職員課・教育支援・相談課		4	4				
5 小学校特別支援教育就学奨励事業	教育総務課		3	3				
6 中学校特別支援教育就学奨励事業	教育総務課		3	3				
③信頼される学校づくりの推進	10		1 学校評議員制度の推進	学校教育課	3	3		
④就学支援	11		1 小学校就学援助	教育総務課	3	3		
			2 中学校就学援助	教育総務課	3	3		
⑤施設配置の適正化及び施設 の長寿命化の検討	12		1 小・中学校の配置及び規模の適正化	教育政策課・教育施設課	4	3		
	13		1 小中学校校舎等耐震改修事業	教育施設課	3	3		
2-01-04 市立一条高 等学校の教 育の充実	①高等学校教育内容の充実		14	1 人間性豊かな人づくり	一条高等学校	4	3	
		2 教職員の資質向上		一条高等学校	4	4		
		3 奈良市立一条高等学校教員の奈良県立高等学校への派遣研修		教職員課	3	3		
		4 部活動の活性化		一条高等学校	3	3		
	②信頼される学校づくりの推進	15	1 学校評議員制度の推進	一条高等学校	3	3		
	③高等学校施設の整備	16	1 高等学校校舎耐震改修事業	教育施設課	3	3		
			2 高等学校教育の振興	一条高等学校	3	3		

	施策	施策の展開方向	シート No.	主な事業	担当課	令和2年度 達成度	令和元年度 達成度			
2-02-01 青少年の健全育成	①家庭の教育力の充実	17	1	家庭教育推進事業	地域教育課	3	3			
			②地域の教育力の充実	18	1	地域教育推進事業	地域教育課	3	3	
				③青少年健全育成活動の推進	19	1	青少年野外体験施設の運営管理	地域教育課	3	3
						2	成人式	地域教育課	3	3
						3	青少年団体助成	地域教育課	3	3
						4	少年指導の推進	いじめ防止生徒指導課	3	3
	5	すこやかテレフォン事業	いじめ防止生徒指導課			3	3			
	2-03-01 生涯学習の推進	①生涯学習活動の推進	20	1	奈良ひとまち大学事業	地域教育課	3	3		
				2	公民館運営管理事業	地域教育課	3	3		
		②生涯学習施設の整備・活性化	21	1	公民館施設改修事業	教育施設課	3	3		
				2	公民館耐震改修事業	教育施設課	1	1		
	2-03-02 図書館の充実	①図書館の充実	22	1	図書館運営事業(中央・西部・北部)	中央図書館	3	3		
		②子ども読書活動の推進	23	1	子ども読書活動推進事業(中央・西部・北部)	中央図書館	2	3		
		③自動車文庫(移動図書館)の充実	24	1	移動図書館事業	中央図書館	2	3		
		④貸出文庫の充実	25	1	図書館貸出文庫事業(中央・西部)	中央図書館	2	3		
2-04-01 文化遺産の保存と活用		①文化財の保護・啓発	26	1	文化財調査・指定事業	文化財課	3	3		
	2			指定文化財補助事業	文化財課	3	3			
	3			文化財普及啓発事業	文化財課	1	3			
	4			埋蔵文化財保存保管事業	文化財課(埋蔵文化財調査センター)	3	3			
	5			埋蔵文化財公開活用事業	文化財課(埋蔵文化財調査センター)	3	3			
	②発掘調査と史跡の保存整備	27	1	埋蔵文化財発掘調査事業	文化財課(埋蔵文化財調査センター)	3	3			
			2	埋蔵文化財公開活用事業【再掲】	文化財課(埋蔵文化財調査センター)	3	3			
			3	特別史跡・特別名勝平城京左京三条二坊宮跡庭園保存整備事業	文化財課	3	3			
			4	史跡大安寺旧境内保存整備事業	文化財課	3	3			
	③文化財保存・展示施設の整備	28	1	史料保存館管理運営事業	文化財課	3	3			
			2	埋蔵文化財保存保管事業【再掲】	文化財課(埋蔵文化財調査センター)	3	3			
	④世界遺産など文化遺産の保護・啓発	29	1	世界遺産振興事業	文化財課	3	3			
	3-02-03 子育てと仕事の両立支援	②児童の健全育成と子育ての支援	30	1	放課後児童クラブ(バンビーホーム)施設の充実	地域教育課	3	3		
2				放課後児童クラブ(バンビーホーム)の運営	地域教育課・教育施設課	3	3			
4-01-04 防犯力の充実	①防犯意識の啓発	31	1	学校・家庭・地域が連携した防犯力の充実	いじめ防止生徒指導課	3	3			
			2	不審者情報の配信	いじめ防止生徒指導課	3	3			

(1) 教育委員会の活動																						
事業	令和2年度の実施状況																					
1 教育委員会会議の運営	<p>【成果】</p> <p>毎月1回の定例教育委員会を開催し、会議に諮られた議案及び報告等について、教育委員による活発な意見出しや質疑を行い、指導・指示をし、案件の可決・了承を行いました。また、喫緊の案件については、その都度、臨時教育委員会を開催し対応しました。(別添参考資料1、2を参照)</p> <p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の緊急対策として、学校の一斉休業や、自宅学習体制等の緊急措置を行い感染防止に努めました。一方、今後5年間の具体的な施策を示す奈良市教育振興基本計画の策定や、令和4年4月に開校する一条高等学校附属中学校の開校に関わる基本方針については、必要に応じて協議を継続しておこなったことで、十分な議論ができました。</p> <table border="1"> <tr> <td>定例教育委員会</td> <td>毎月1回開催</td> <td>計12回</td> </tr> <tr> <td>臨時教育委員会</td> <td>4月・8月・1月 ・3月(2回)に開催</td> <td>計5回</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>合計17回</td> </tr> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>案件数</td> <td>89件</td> <td>140件</td> <td>117件</td> </tr> </tbody> </table> <p>【課題と今後の方針】</p> <p>案件の審議事項だけではなく、教育に関する議論をより一層活発に行えるよう、協議事項の時間を十分に確保する必要があります。そのため、教育委員への事前説明の場を積極的に活用するため、資料の提出及び精査を事前におこなうことで、効率的な会議運営を目指します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>達成度</th> <th>方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td> <td>同水準</td> </tr> </tbody> </table>	定例教育委員会	毎月1回開催	計12回	臨時教育委員会	4月・8月・1月 ・3月(2回)に開催	計5回			合計17回	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	案件数	89件	140件	117件	達成度	方向性	3	同水準
	定例教育委員会	毎月1回開催	計12回																			
臨時教育委員会	4月・8月・1月 ・3月(2回)に開催	計5回																				
		合計17回																				
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度																			
案件数	89件	140件	117件																			
達成度	方向性																					
3	同水準																					
2 教育委員会会議の公開	<p>(1) 傍聴者の状況</p> <p>【成果】</p> <p>教育委員会会議は、原則公開として開催日時や審議案件を広報するとともに、多くの傍聴者を迎え入れることができる会議室の確保に努めました。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年間傍聴者数(合計)</td> <td>59人</td> <td>62人</td> <td>64人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">内訳</td> <td>教科用図書採択</td> <td>35人</td> <td>30人</td> <td>30人</td> </tr> <tr> <td>その他の案件</td> <td>24人</td> <td>32人</td> <td>34人</td> </tr> </tbody> </table>	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	年間傍聴者数(合計)	59人	62人	64人	内訳	教科用図書採択	35人	30人	30人	その他の案件	24人	32人	34人				
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度																			
年間傍聴者数(合計)	59人	62人	64人																			
内訳	教科用図書採択	35人	30人	30人																		
	その他の案件	24人	32人	34人																		

		<p>【課題と今後の方針】 教育委員会会議において、案件審議だけでなく、教育現場が直面するタイムリーな話題を取り上げ、協議を行いました。 今後もより一層教育全般に関心をもつていただくことが大切であるため、ホームページを活用した情報発信に努めるとともに、教育委員会開催に関し、できる限り早期の広報に努めます。 また、様々な方が容易に傍聴できるよう、積極的に市庁舎外での開催をする等、可能な限り会議運営に関する工夫を取り入れ、傍聴者の増加に努めます。</p> <p>(2) 議事録の公開</p> <p>【成果】 教育委員会会議の翌月末までにホームページで議事録を公開するよう取り組んでいます。</p> <p>【課題と今後の方針】 今後も引き続き、会議録の速やかな公開を目指します。</p> <table border="1" data-bbox="1005 1008 1407 1108"> <tr> <th data-bbox="1005 1008 1197 1064">達成度</th> <th data-bbox="1197 1008 1407 1064">方向性</th> </tr> <tr> <td data-bbox="1005 1064 1197 1108">3</td> <td data-bbox="1197 1064 1407 1108">同水準</td> </tr> </table>	達成度	方向性	3	同水準
達成度	方向性					
3	同水準					
3	教育委員会と事務局の連携	<p>【成果】 教育委員事前説明の場を年間12回設け、毎月の定例教育委員会の案件説明や協議の内容について事前に説明を行い、会議のスムーズな進行に努めました。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る学校の臨時休業等の対応について、慎重かつ迅速な対応が求められる中、教育委員と事務局が複数回協議を行い密に意思疎通を図ることで、学校現場の状況を把握し対策を取ることができました。</p> <p>【課題と今後の方針】 教育委員会会議における審議の精度を高めるために今後も教育委員と事務局との連携をより密にする必要があります。そのため、定例教育委員会に先立ち教育委員への事前説明の場を定期的に開催し、関連資料の収集や論点の整理など、事前に様々な角度から検討を行います。 また、協議事項の議論内容を深めるために、テーマ内容や資料を早期に教育委員に提示するなど、余裕をもったスケジュール調整を行い、教育委員が十分に事前準備を行って会議に臨み、より深い議論を行うことができるよう工夫を図ります。新型コロナウイルス感染症防止の観点から、事前説明については効率的な運用と接触機会の低減を図るため、オンラインでの実施を検討します。</p>				

			達成度	方向性
			3	同水準
4	教育委員会と首長との連携	<p>【成果】</p> <p>教育委員会と首長が教育行政について協議を行う場として総合教育会議を3回開催し、奈良市教育大綱（計画期間：令和3年度～令和7年度）の策定や、一条高等学校附属中学校が目指す教育について意見交換を行いました。</p> <p>奈良市教育大綱は、Society5.0の到来やSDGs達成に向けた機運の高まりなど社会情勢が大きく変化する中で、教育の今後の方向性、具体的な施策や実施すべき事業を示したものです。教育行政の方向性を協議するための具体的な題材として教育委員会が実施する喫緊の事業を取り上げたことにより、教育委員会と市長が具体的なイメージを共有し、有意義な意見交換を図ることができました。</p> <p>またコロナ禍の中では、感染機会を抑制するために市全体で足並みを揃えて対策を検討・実施する必要性がありました。迅速な危機管理体制を構築するため、教育委員会も市長が本部長を務める新型コロナウイルス対策本部と連携を取り、教育施設・教育活動における感染拡大防止対策を実施しました。</p> <p>【課題と今後の方針】</p> <p>教育委員会と市長との連携については定期的な情報共有が必要不可欠です。今後も総合教育会議等を通して、市長と教育委員会が教育行政についてより一層意思疎通を図り、連携していきます。</p>	3	同水準
5	教育委員と教育現場の連携	<p>(1) 学校現場との意見交換</p> <p>【成果】</p> <p>教育委員が分担して、市立小中学校・高等学校を訪問し、教育現場の管理職と意見交換をし、現場での取組・課題に対しアドバイスを行うとともに、教育委員会の考え方や意向を伝えました。</p> <p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染症に伴う臨時休校後の学校の</p>	3	同水準

視察や子どもたちの抱える課題への現場での対応状況を把握するために教育センターにある適応指導教室の視察を行いました。

【課題と今後の方針】

学校訪問を通して、各学校の現状を把握するとともに、課題解決への適切なアドバイスが必要です。また、学校施設の老朽化や教員配置の問題等、早期の解決が困難な課題もあります。したがって、今後も各学校の現状・課題を把握するとともに、学校の教職員と幅広く意見交換を行い、課題解決に向けた方策を考えていく必要があります。そのために、積極的に人事や予算の現状を把握し、予算計上等が必要なものについては市長や議会に説明を行う等して課題解決に取り組みます。

さらに、令和3年度に開所した新しい形態の適応指導教室「HOP 青山」をはじめとする地域教育の現場にも足を運び、学校現場以外での多様な教育活動についても理解を深める必要があります。

また、令和2年度は新型コロナウイルス感染症が拡大している状況を踏まえ、例年実施していた、学校で教育委員会会議を開催し連携を深める取組は実施せず、このことに伴い、教育委員と保護者が直接意見交換する機会を設けることができませんでした。今年度は迅速に代替手段を講じることができませんでした。今後は対面しなくても教育委員と学校現場、保護者とが意見交換をできる手法として、オンラインでの教育委員会会議などを検討します。

(2) 研究発表会等への出席

【成果】

学校・地域が実施する各種の行事や取組に参加し、現状や課題の把握に努めました。

令和2年度は一条高等学校70周年記念事業、一条高等学校の探究学習の視察や、ウワナベ古墳発掘調査現地視察に参加しました。

【課題と今後の方針】

日々変化をする教育情勢に対応するため、教育委員は引き続き積極的に幅広い知識を深め情報を収集していく必要があります。そのために、各学校や地域で行われる研究会や発表会、行事等へ参加し、学校の研究成果や地域の状況を把握するとともに自ら情報を発信し、学校現場での取組に役立ててもらうことを通じて今後の教育行政に反映していきます。

達成度	方向性
2	同水準

6	教育委員の自己研鑽	<p>【成果】</p> <p>文部科学省が主催する市町村教育委員会オンライン協議会に参加し、他市町村の教育委員と十分な意見交換ができました。一方、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大により教育委員研究協議会ほか各種集合研修が実施されませんでした。</p> <p>【課題と今後の方針】</p> <p>引き続き、教育に関する情報と知識を得るため、公私にわたり更なる自己研鑽への努力が必要です。施策方針や解決策の糸口となる知識を吸収し教育行政に反映させるため、研修等への積極的な参加を行い、より一層自己研鑽に努めます。</p>				
				<table border="1"> <tr> <th>達成度</th> <th>方向性</th> </tr> <tr> <td>3</td> <td>同水準</td> </tr> </table>	達成度	方向性
達成度	方向性					
3	同水準					

施策の総合評価（教育委員による評価）			
事業の達成度平均	$(3+3+3+3+2+3) \div 6 = 2.8$	判定	3
<p>【成果】</p> <p>定例教育委員会では、議案及び報告等について、活発な意見や質疑を行いながら指導・指示をし、案件の可決・了承を行いました。</p> <p>教育委員事前説明会を開催し、事務局から審議内容を事前に説明を受けることにより、施策の課題や対応等を把握し、その方向性の指導・指示を行いました。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る学校の臨時休業等の対応について慎重かつ迅速な対応が求められる中、教育委員と事務局が複数回協議を行うことで密に意思疎通を図ることができました。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止の緊急対策として、学校の一斉休業や、自宅学習体制等の緊急措置を行い感染防止に努めました。一方、今後5年間の具体的な施策を示す奈良市教育振興基本計画の策定や、令和4年4月に開校する一条高等学校附属中学校の大きな基本方針については、必要に応じて協議を継続しておこなったことで、十分な議論ができました。</p> <p>教育行政に提言を行うため、研修会参加や視察を通じて自己研鑽に努め、得られた知見を教育委員会の審議等に生かし、教育行政の方向付けに反映させました。</p> <p>【課題と今後の方針】</p> <p>今後学校と地域の連携・協働がますます重要となるため学校教育のみならず、地域教育や社会教育の現状の把握、生涯学習の推進にも努め、市民生活を豊かにすることを目指し、より一層一体的な教育の充実を図っていきます。</p>			

外部評価者（学識経験者）の意見
<ul style="list-style-type: none"> ● オンライン会議などICTを効果的に活用し「効率的な会議運営」に取り組むよう努めて下さい。

(2) 教育委員会が管理・執行する事務						
事業	令和2年度の実施状況					
1	教育に関する事務の管理及び基本的な方針に関すること	<p>【成果】 定例教育委員会及び臨時教育委員会を通じ、教育に関する重要な方針の決定を行うとともに、各事務事業に関する進捗状況を適宜把握し、それぞれがもつ課題や問題に対し指導・助言を行いました。 (教育委員会に諮られた案件については、別添参考資料1、2を参照：以下の事業についても同様)</p> <p>【課題と今後の方針】 今まで以上に多様化する教育行政に対応するため、教育委員会総体で、その解決策や方向性を見出していかねばなりません。これら案件に対する方向性や対応策を適宜かつ速やかに行うため、研修や行事等への参加による自己研鑽や教育委員会事務局との連携により、更なる経験や知識の蓄積を図っていきます。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>達成度</th> <th>方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td> <td>同水準</td> </tr> </tbody> </table>	達成度	方向性	3	同水準
達成度	方向性					
3	同水準					
2	学校その他教育機関の設置及び廃止を決定すること	<p>【成果】 学校規模適正化の推進を図るため、関係部署や対象となる地域への説明や調整を行いました。</p> <p>【課題と今後の方針】 児童生徒数の急激な減少が続いていることから、学校規模適正化については、計画的かつ丁寧な説明を行いながら事業を推進していくことが必要です。このことから、常に施策と現状の把握に努め、課題解決のための選択肢・手法を検討しながら学校規模適正化を推進します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>達成度</th> <th>方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td> <td>同水準</td> </tr> </tbody> </table>	達成度	方向性	3	同水準
達成度	方向性					
3	同水準					
3	教育に関する予算及び議会の議決を経るべき議案について意見を申し出ること	<p>【成果】 教育に関する予算増額や新規事業の要望、また、緊急を要する事業等については優先順位を付け、機会ある毎にその意向を市長に申し出ました。</p> <p>【課題と今後の方針】 教育委員会としての意向や意見は、適宜市長や議会に申し出る必要があります。教育施策の展開や予算計上等の意向、意見に対する理解を求めため、その必要性を説明し申し出るとともに、今後も一層の連携を図っていきます。</p>				

			達成度	方向性
			3	同水準
4	教科用図書の採択を決定すること	<p>【成果】</p> <p>令和3年度使用奈良市立中学校教科用図書及び高等学校教科用図書採択について、教科用図書選定委員会及び研究部会を設置し、これらの機関から採択にかかる調査・研究結果の報告を受けました。また、これらの報告に基づき、各教育委員が約1か月間の各教科用図書の検証を重ね、8月の臨時教育委員会で審議をし、採択を行いました。</p> <p>【課題と今後の方針】</p> <p>教科用図書については、検証した結果に基づき総合的に判断しながら、市民の理解を得られる適正かつ公正な採択をすることが求められています。今後も市民に対し、教科用図書採択における教育委員会の主体性と採択過程の透明化を一層進めていきます。</p>	達成度	方向性
			3	同水準
5	教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免、その他人事に関すること	<p>【成果】</p> <p>事務局から提案される人事に関する案件を速やかに審議しました。また、市長部局から協議された人事に関する案件についても、速やかに審議しました。</p> <p>【課題と今後の方針】</p> <p>教育情勢の変化に伴い、迅速かつ適正な人事を行う必要があります。今後も少子化や教員の年齢構成の偏り等の教育情勢の変化に対応するため、職員配置等についても現状と課題把握から、適切な配置を図る等、職員の任免や人事に関する案件審議を適切かつ速やかに行います。</p>	達成度	方向性
			3	同水準
6	教育委員会規則その他教育委員会の定める規程の制定又は改廃に関すること	<p>【成果】</p> <p>規則等の制定や改廃について速やかに審議を行い、その対応を図りました。</p> <p>【課題と今後の方針】</p> <p>教育行政の変化を的確に捉え、先進的な仕組みや施策を実施するためには、教育委員会が定めている規則や規程、要綱等、適宜制定改廃が求められます。今後も、奈良市教育委員会事務局組織に関する規則や奈良市教育委員会事務局専決規程をはじめ、教育委員会事務局各課が担当する施策を実施するための規則等の制定・改廃を速やかに行いま</p>		

		す。		
			達成度	方向性
			3	同水準
7	法律又は条例に基づく教育委員会の附属機関等（教科用図書選定委員会その他重要なものを含む。）の委員の委嘱に関すること並びに附属機関に対する諮問事項に関すること	<p>【成果】 各種附属機関等の委員について速やかに委嘱を行いました。また、文化財保護審議会の諮問事項についての審議や、教科書選定委員会からの報告を受けて、質疑応答・意見交換の機会を設けました。</p> <p>【課題と今後の方針】 各関係委員会委員等と綿密な連携を図るため、当該委員等との情報交換の機会を設けるよう努めます。</p>	達成度	方向性
			3	同水準
8	教育委員会の権限に属する事務（教育長委任事務を含む。）の管理並びに執行状況の点検及び評価に関すること	<p>【成果】 事務局からの事業進捗の状況報告、課題事項の報告及び教育長委任事項の報告を受け、現状把握に努めました。また、実施している事務事業に対する方向づけや問題解決への指導・指示を行うとともに、事業の点検評価を行いました。</p> <p>【課題と今後の方針】 点検評価の結果を、今後の教育行政の改善に向けて、有効に活用していく必要があります。権限に属する事務事業の執行状況を的確に把握し、その点検と評価のもと、課題解決に向けた教育行政の更なる充実・向上を目指します。</p>	達成度	方向性
			3	同水準
9	児童生徒の出席停止に関すること	<p>【成果】 常に教育現場からの報告を受けながら、出席停止の判断が今後にどのような影響をもたらすかという視点に立ち、その現状把握に努め、きめ細かな指導への指示をおこなうことにより児童生徒に出席停止を命ずることはありませんでした。</p> <p>【課題と今後の方針】 的確な情報把握のもとでの適正な審議・決定が求められ、今後も、学校現場と連携を深め状況把握に努めるとともに、適正かつ速やかに審議を行います。</p>	達成度	方向性
			3	同水準

施策の総合評価（教育委員による評価）			
事業の達成度平均	$(3+3+3+3+3+3+3+3+3) \div 9 = 3$	判定	3

【成果】

定例教育委員会及び臨時教育委員会を通じて教育に関する重要な方針の決定を行うとともに、各事務事業の進捗状況や課題等を把握し、適切に審議・指導を行いました。教育に関する予算増額や新規事業の要望については、機会ある毎にその意向を市長に申し出ました。

教科用図書採択については、教科用図書選定委員会及び研究部会を設置し、これらの機関からの報告に基づいて検証と審議を重ね、8月の臨時教育委員会で採択を行いました。

人事に関する案件や規則等の制定や改廃については、適正かつ速やかに審議を行い対応しました。

附属機関委員等と綿密な連携を図るため、文化財保護審議会の諮問事項についての審議や、教科書選定委員会からの報告・質疑応答を行い交流の機会を設けました。

また、実施している事務事業に対する方向づけや問題解決への指導・指示を行うとともに、事業の点検評価を行いました。

【課題と今後の方針】

多様に変化する教育情勢に対応しながら、教育行政に関する方針と幅広い案件を適宜審議し、決定する必要があることから、更に広い視野と知識のもと、長期的な観点で教育行政の方向性を定めていきます。

また、点検評価の結果を、今後の教育行政により有効に活用していくため、権限に属する事務管理や執行状況を的確に把握し、その点検と評価のもと、課題解決に向け教育行政の更なる充実・向上を目指します。

外部評価者（学識経験者）の意見
● 評価内容について特段指摘することはありません。引き続き、計画に基づいて事業を進めてください。

(3) 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務		
第4次総合計画	基本施策	2-01 学校教育
	施策	2-01-01 特色のある教育の推進
	施策の目標	情報化が加速し、ますますグローバル化する 21 世紀の社会の中で、自分を失わず、多様な価値観、異なる文化に生きる人たちと互いに分かり合い、協働して未来を切り拓いていくことができる子どもを育みます。
	展開方向	① 教育内容の充実
	具体的な取組の方向性	<p>●地域教育協議会※¹の強みを生かし、地域と連携した教育活動支援を推進します。</p> <p>●異文化を理解・尊重するとともに、奈良で学んだことを誇らしげに語る子どもを育成します。</p> <p>●豊かな心を育む道徳教育・人権教育を推進します。</p> <p>●教育における I C T の活用を充実させ、アウトプット型授業※²を推進します。</p> <p>●高い志や意欲をもつ自立した人間として、他者と協働しながら新しい価値を創造するなど、21世紀の社会を切り拓いていくためのキャリア教育・起業家教育を推進します。</p> <p>※1 地域教育協議会：学校の教育活動の支援と地域コミュニティの活性化を目的として、全ての中学校区で設置している組織。自治会、子供会、民生児童委員、社会福祉協議会、少年指導協議会など、もともと地域にあった子どものためのとの思いで活動する組織が集まる場となり、各校区の人的ネットワーク、信頼関係を構築する組織ともなっている。</p> <p>※2 アウトプット型授業：従来のような受け身型の一斉指導の授業から、子どもたちが課題の解決に向けて主体的・協働的に学び、具体的な事例についてグループで討論したり課題について発表したりする授業</p>
奈良市教育振興基本計画の関連する領域	2-(2)ICT を活用した教育、2-(4)キャリア教育、2-(5)世界遺産学習、2-(7)道徳教育、3-(5)人権教育、4-(7)センター学習、5-(1)地域学校連携	
主な事業	令和 2 年度の実施状況	
1	<p>地域で決める学校予算事業</p> <p>【成果】 地域で決める学校予算事業は、地域全体で子どもを守り育てる体制づくりを進め、国からの補助金を受けて市内の 21 中学校区全てで実施しています。</p> <p>地域教育協議会と学校園が、目指す子ども像を共有しながら協働活動について話し合う合同会議を始め、環境整備や学習支援等の様々な取組が進んでいますが、令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、活動内容を屋外での活動に切り替えたり、ICT を活用したり、人数制限の実施、パーテーションの設置、換気・消毒・検温の徹底等、児童生徒や地域の方の安全確保を第一に考えていただきながら、できる範囲</p>	

での活動を行っていただきました。

毎年、翌年度の事業計画の立案をしていただくにあたり、地域で決める学校予算事業推進懇話会※の参加者から意見・助言をいただく「プレゼンテーションと意見交換会」を実施していましたが、活動に関わる役割の明確化や事務分担、メリハリのある会議運営等、「担い手の自律化」をめざし、「プレゼンテーションと意見交換会」を取りやめ、事業を安定的に継続していくための運営・活動の工夫を各校区で検討していただくため、自己評価の充実を図ることとしました。評価を行うための規準については、今後検討していきます。

【課題と今後の方針】

地域と学校園が連携・協働して環境整備や学習支援等の様々な活動を推進し、地域で決める学校予算事業の継続的な発展を目指します。そのためには、地域人材と学校園の積極的な連携が不可欠であり、地域への広報活動の強化や地域コーディネーターの育成を目的とした研修の実施回数や内容の充実等によって、この事業に参加する地域人材を発掘していきます。

※各中学校区地域教育協議会に委託実施している「地域で決める学校予算事業」について評価を行うために、実施方針や結果に対する意見・助言をいただく自治連合会、地域教育協議会関係者、学識経験者等で構成する懇話会のこと。令和2年度から、自己評価に切り替えるため、廃止とした。

【担当課】 地域教育課

達成度	必要性	方向性
3	同水準	同水準

2	世界遺産学習 推進事業	<p>【成果】</p> <p>例年、市内の全小学校5年生を対象として世界遺産学習現地学習を実施していますが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止しました。また、世界遺産学習全国サミットについても中止を余儀なくされました。このような状況の中、地域とともに世界遺産学習の学びを深める取組や、教職員が地域を深く知り、今後の学習に生かすためのフィールドワークなどについて、各校において工夫して実施されました。具体的には、地域の美しさを黒板アートで発信する活動や、ICTを活用して、遠方の学校と地域に流れる川についての交流を実施したこと等の報告を受けています。</p> <p>このような機会を通して、本市の豊かな世界遺産や、地域の文化財や自然、伝統文化等に触れ、それらを守り引き継いできた人びとの生き方を学び、学習を進める中で、児童や生徒は地域に対する誇りや地域を大切に思う心情を育むことができました。また、児童生徒が学習したことをもとに自分で考え、自分の言葉でまとめたり発表したりする力の育成を図りました。</p> <p>【課題と今後の方針】</p> <p>世界遺産学習は、世界遺産や地域遺産等を教材として小学校1年生から中学校3年生まで実施しており、各学年においてモデルカリキュラムを示し、系統だった学習を進めています。今後も、地域について深く学ぶことを通して、教科、領域を横断した知識や技能を融合し、自ら課題を見つけ論理的思考により解決することができる子どもを育成し、SDGsの実現に取り組んでいきます。歴史上の人物や地域の方の生き方に触れ、地域のことを考えて行動することは、児童生徒の心を豊かに耕し、児童生徒のアイデンティティを育むだけでなく、SDGsで掲げる持続可能な地域・社会を形成していくことにつながると考えます。地域に誇りや愛着を持ち、持続可能な地域・社会の担い手として主体的に考え行動する児童生徒を育成するため、学校が地域や企業・団体と協働し、世界遺産学習を推進していけるよう、取組を進めます。</p> <table border="1" data-bbox="826 1637 1418 1733"> <thead> <tr> <th data-bbox="826 1637 999 1682">達成度</th> <th data-bbox="999 1637 1217 1682">必要性</th> <th data-bbox="1217 1637 1418 1682">方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="826 1682 999 1733">3</td> <td data-bbox="999 1682 1217 1733">同水準</td> <td data-bbox="1217 1682 1418 1733">同水準</td> </tr> </tbody> </table> <p>【担当課】 学校教育課</p>	達成度	必要性	方向性	3	同水準	同水準
達成度	必要性	方向性						
3	同水準	同水準						
3	人権教育研修 事業	<p>【成果】</p> <p>近年、LGBTQについては、いじめ事象の要因ともなっているため、教員の意識をさらに高める必要があるとの課題認識から、令和元年度に引き続きLGBTQに関わる研修を校長と教頭を対象に実施しました。セクシャルマイノリティ理解推進に従事する学識経験者や生まれた時の性別は女性であったけれど今は男性として生活されている方を研修講</p>						

		<p>師に招聘したことで、性同一性障害をはじめ LGBTQ についての理解が深まりました。正しい知識をもつことは差別や偏見を払拭する第一歩であることが再認識できました。また、講師ご自身の生い立ちから現在までの人生を赤裸々に語られる姿に、心揺さぶられるものがあり、「人権」や「人としての在り方」を真摯に考える機会となりました。</p> <p>【課題と今後の方針】</p> <p>LGBTQ については、教職員の中でも誤解や思い込みが多いことから、継続して教員の意識をさらに高める必要があると認識しています。そのため人権担当教員を対象に LGBTQ をはじめとする今日的課題を含む人権に関わる課題に関わる研修を実施し、学校組織全体としての認識を高めていきたいと考えています。</p> <table border="1" data-bbox="502 817 1417 922"> <tr> <td data-bbox="502 817 826 873">【担当課】</td> <td data-bbox="826 817 999 873">達成度</td> <td data-bbox="999 817 1217 873">必要性</td> <td data-bbox="1217 817 1417 873">方向性</td> </tr> <tr> <td data-bbox="502 873 826 922">教育支援・相談課</td> <td data-bbox="826 873 999 922">3</td> <td data-bbox="999 873 1217 922">同水準</td> <td data-bbox="1217 873 1417 922">同水準</td> </tr> </table>	【担当課】	達成度	必要性	方向性	教育支援・相談課	3	同水準	同水準
【担当課】	達成度	必要性	方向性							
教育支援・相談課	3	同水準	同水準							
4	人権教育推進事業	<p>【成果】</p> <p>各校において人権教育推進計画を作成して系統立てた指導を行い、人権教育の推進を図ることができました。また、新型コロナウイルスに係る差別と偏見に関わる問題等の今日的課題について、周知と理解を図るために、教育支援・相談課、いじめ防止生徒指導課と連携しながら、教員用の指導資料を学校に共有する等、偏見や差別の防止に向けた取組の啓発を行いました。</p> <p>【課題と今後の方針】</p> <p>人権教育は、全教科・領域を含む、学校における全ての教育活動を通して取り組む必要があります。このことから、引き続き、新型コロナウイルスに係る差別と偏見等の今日的課題を含む人権に関わる課題について、教職員がさらに理解を深め、児童生徒の人権意識を高めるための具体的な取組が推進できるよう、研修の実施などを通して支援等を進めていきます。</p> <table border="1" data-bbox="502 1646 1417 1749"> <tr> <td data-bbox="502 1646 826 1691">【担当課】</td> <td data-bbox="826 1646 999 1691">達成度</td> <td data-bbox="999 1646 1217 1691">必要性</td> <td data-bbox="1217 1646 1417 1691">方向性</td> </tr> <tr> <td data-bbox="502 1691 826 1749">学校教育課</td> <td data-bbox="826 1691 999 1749">3</td> <td data-bbox="999 1691 1217 1749">同水準</td> <td data-bbox="1217 1691 1417 1749">同水準</td> </tr> </table>	【担当課】	達成度	必要性	方向性	学校教育課	3	同水準	同水準
【担当課】	達成度	必要性	方向性							
学校教育課	3	同水準	同水準							

5	学校 I C T の 推進	<p>【成果】</p> <p>奈良県及び県内市町村と連携し、奈良県域 GIGA スクール構想推進協議会の中心自治体として、国の主導する GIGA スクール構想の実現に向け、全国に先駆けて市立高等学校、中学校、小学校における児童生徒一人1台の端末の整備、市立中学校、小学校の一人1台端末にふさわしい高速大容量の通信ネットワーク環境の整備を完了しました。10月以降、奈良市版 GIGA スクールとして、各学校においては、家庭への持ち帰りも含めた積極的な利活用をスタートすることができました。また、コロナ禍の中における臨時休業期間中の ICT の活用、やむを得ず登校できない状況の児童生徒への ICT を活用した学習支援などにも取り組むことができました。あわせて ICT 環境の大きな変化に対する教員への支援として、令和2年度末までに、数百回のオンライン研修、またその研修のオンデマンド配信を実施しました。</p> <p>【課題と今後の方針】</p> <p>with コロナの観点から緊急時における ICT の活用を前提に、GIGA スクールの取組を推進する考えです。各学校におけるセキュリティ対策とその意識向上については、継続的な取組として周知徹底を行います。また、教員への支援については、引き続き奈良県域 GIGA スクール構想推進協議会の中心自治体として、市町村の枠組みを超えた実践の共有と基本的な操作や授業での活用方法等に関する教員研修を推進し、教員の資質向上を支援します。学校における情報環境の維持管理やセキュリティ対策を継続し、個別最適な学びと協働的な学びの実践に有益な環境の充実を推進します。</p> <table border="1" data-bbox="828 1341 1418 1442"> <thead> <tr> <th data-bbox="828 1341 999 1397">達成度</th> <th data-bbox="999 1341 1217 1397">必要性</th> <th data-bbox="1217 1341 1418 1397">方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="828 1397 999 1442">5</td> <td data-bbox="999 1397 1217 1442">増加</td> <td data-bbox="1217 1397 1418 1442">拡充</td> </tr> </tbody> </table> <p>【担当課】 学校教育課</p>	達成度	必要性	方向性	5	増加	拡充
達成度	必要性	方向性						
5	増加	拡充						
6	教育センター 学習事業	<p>【成果】</p> <p>奈良市内の子どもたちがものづくりの楽しさや科学の不思議、宇宙の神秘等に興味・関心や探求心を高められるよう、体験的な講座の提供に取り組みました。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、市内の学校園を対象としたわくわくセンター学習については、市内学校園が教育センター内に来訪して実施する館内講座を中止しましたが、代替策として10月から市内13学校園への出前講座を実施しました。また、市内全小学校43校のバンビーホームに工作キットを4,931キット配布し、YouTube のチャンネル内でものづくりや理科実験、天文教室の動画を配信する等、学校園の生徒児童園児を対象とした取組を進めました。キッズホリデークラブでは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、年度当初は中止とじていましたが、6月か</p>						

ら再開し、参加人数や実施回数を制限し、当日受付の講座を事前予約制に変更する等、安全に十分配慮しながらの実施となりました。結果、満足度はわくわくセンター学習が 97.3%、キッズホリデークラブが 99.1%と高いものとなりました。

参加者	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
わくわくセンター学習(人)	3,178	1,555	884
キッズホリデークラブ(人)	11,904	11,470	4,350

【課題と今後の方針】

わくわくセンター学習については、館内講座と出前講座を並行して実施します。また、市内児童生徒に配布されたタブレット端末の活用につながるよう、プログラミング講座の利用を促していきます。キッズホリデークラブでは、引き続き、新型コロナウイルス感染症に対する安全管理を徹底しながら、講座の提供に取り組みます。また、奈良の文化遺産教室を新たな柱に据え、講座の充実を図ります。

【担当課】

教育支援・相談課

達成度	必要性	方向性
3	同水準	同水準

7	キャリア教育 推進事業	<p>【成果】</p> <p>ジュニアインターンシッププログラム（探究型職場体験学習）を市内全21中学校で展開する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症にかかる社会情勢や学校の状況を鑑み、実施を中止しました。</p> <p>また、文部科学省委託事業「小・中学校等における起業体験推進事業」については、国が実施を中止しました。</p> <p>学校・地域・教育委員会事務局がキャリア教育の理解を一層深めた上で、三者が連携を強化するために、令和元年度から実施しているキャリア教育や学校の教育課程について学びを深めるキャリア教育コーディネーター育成研修については、令和2年度も実施し、これまで地域教育推進事業で地域コーディネーターとして活躍されている方に対して、キャリア教育支援に必要な知識・技能の学びを深め、その学びを学校現場で発表する機会を創出しました。</p> <p>さらに、児童生徒の活動を記録し蓄積する「キャリア・パスポート」を全市立学校において導入し、児童生徒が学校、家庭及び地域における学習や生活の見通しを立て、学んだことを振り返りながら、新たな学習や生活への意欲につなげたり、将来の生き方を考えたりすることができるよう取組を進めました。</p> <p>【課題と今後の方針】</p> <p>子どもたちの社会的・職業的自立を促すため、地域人材や地域資源を活用しながら、課題をもって職場体験学習に臨み、自らが探究した課題についてポスターセッションで発表する機会を持てるキャリア教育は子どもたちの学びに重要な役割を果たします。しかし、コロナ禍の中で、子どもたちの安全確保や、体験学習の受入先の状況等を鑑みると、従来のやり方では実施は困難と考えられます。今後、オンライン等での実施を含め、実施方法を検討していきます。起業家教育についても、キャリア教育の内容に含めて取組を進めていきます。</p> <p>また、子どもたちが、自ら課題を見つけ解決していく力を育成し、様々な方法を用いて、生き方や進路に関する情報を収集・整理し、それらを基に将来を考えることができる社会人として、自立した人を育てる視点を教員自身が持てるように、教職員研修等を充実させていきます。</p> <p>さらに、本市が進める小中一貫教育などの校種間連携や世界遺産学習などの教育活動と関連付け、校種間の連続性を保ちながら推進を図り、「キャリア・パスポート」についても児童生徒の自己実現につながる効果的な活用を進めます。</p>
---	----------------	--

		【担当課】学校教育課 地域教育課	達成度 3	必要性 同水準	方向性 同水準
令和2年度の総合評価					
<p>【成果】</p> <p>世界遺産学習事業では、各校において本市の豊かな世界遺産や、地域の文化財や自然、伝統文化等に触れ、それらを守り、引き継いできた人びとの生き方を学び、それらを大切にしながら学習を進める中で、地域に対する誇りや地域を大切に思う心情を育むことができました。また、児童生徒に学習したことをもとに自分で考え、自分の言葉でまとめたり発表したりする力を育成することができました。</p> <p>人権教育推進事業では、子どもや学校の実態に応じて重点的に取り組むべき課題を明らかにし、各校で目標の設定や推進計画を作成し系統立てた指導を行い、人権教育の推進を図ることができました。</p> <p>学校 ICT の推進では、市立高等学校、中学校、小学校における児童生徒一人1台の端末の整備、市立中学校、小学校の一人1台端末にふさわしい高速大容量の通信ネットワーク環境の整備を完了しました。また、各学校においては、家庭への持ち帰りも含めた積極的な利活用のスタートを切ることができました。</p> <p>【課題と今後の方針】</p> <p>世界遺産学習事業では、地域に誇りや愛着を持ち、世界遺産や地域遺産等の保護・継承について、主体的に考え取り組む児童生徒を育成するため、学校が地域と協働して、地域の魅力を再発見し、創造していく体制づくりを進めます。</p> <p>人権教育推進事業では、全教科・領域を含む、学校における全ての教育活動を通じた人権教育を推進するとともに、引き続き人権に関する今日的課題についての周知と理解を図ります。</p> <p>学校 ICT の推進では、with コロナの観点から緊急時における ICT の活用を前提に、GIGA スクールの取組を推進する考えです。学校における情報環境の維持管理やセキュリティ対策を継続し、個別最適な学びと協働的な学びの実践に有益な環境の充実を推進します。各学校現場におけるセキュリティ対策とその意識向上については、継続的な取組として周知徹底を行います。</p> <p>新学習指導要領を踏まえ、一人一人の社会的、職業的自立につながるキャリア教育・起業家教育を教職員が実践できるよう研修体系の構築、地域人材や地域資源を活用した教育を進めます。</p>					
主な事業の達成度平均	$(3 + 3 + 3 + 3 + 5 + 3 + 3) \div 7 = 3.3$			判定	3

[参考] 中長期の進捗状況						
指標（単位）	平成 28年度 実績値	平成 29年度 実績値	平成 30年度 実績値	令和 元年度 実績値	令和 2年度 実績値	令和 2年度 目標値
会計担当者設置 校区数（校区）	12	12	14	15	15	21
[参考] 総合計画実施計画における計画額及び予算・決算額（展開方向内事業の合計額：千円）						
	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	
計画額	156,698	131,983	373,792	377,049	669,602	
予算額	156,947	249,136	372,792	1,536,168	1,412,592	
決算額	151,567	240,161	367,602	354,127	1,314,239	

外部評価者（学識経験者）の意見	
<ul style="list-style-type: none"> ● 事業2「世界遺産学習推進事業」について、SDGs と関連付けて事業を実施する場合は、具体的に17の目標のうちどれを達成するためなのか明確に意識した方がよいと思います。 ● 事業5「学校ICTの推進」について、全国に先駆けて端末の配付を完了し、コロナ禍においてオンラインで学習の保障を行えたことは優れた取組でした。一方で、一定程度存在すると思われる、ICTに適應することが難しい子どもたちへの配慮も考えていく必要があります。 	

(3) 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務									
第4次総合計画	基本施策	2-01 学校教育							
	施策	2-01-01 特色のある教育の推進							
	施策の目標	情報化が加速し、ますますグローバル化する 21 世紀の社会の中で、自分を失わず、多様な価値観、異なる文化に生きる人たちと互いに分かり合い、協働して未来を切り拓いていくことができる子どもを育みます。							
	展開方向	② きめ細かな教育の推進							
	具体的な取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ● 幼小連携・小中一貫教育を推進します。 ● 大学との協働でスクールサポート事業を実施するとともに、専門性を有する外部指導者による中学校の部活動支援を推進します。 ● 学校規模適正化及び幼保再編の推進により過小規模校・園の解消を図り、より良い教育環境を整えます。また、少人数学級編制を効果的に運用するとともに、指導方法の継続的な研究と成果の共有化を図り、これまで以上に個に応じたきめ細かな教育を推進します。 							
奈良市教育振興基本計画の関連する領域	1-(3)大学との連携、2-(1)学力の向上、4-(1)こども園・幼稚園・保育園と小学校の連携、4-(2)小中一貫教育、4-(4)少人数学級編制の効果的な運用								
主な事業		令和2年度の実施状況							
1	幼小連携・小中一貫教育推進事業	<p>【成果】</p> <p>中学校区ごとに教育ビジョンを作成し、それに基づき小中学校の教職員が連携し、9年間を見通した取組を行いました。各中学校区の教育ビジョンでは、15歳段階の目指す子ども像を具体的に描き、中学校区においてオンラインを活用するなどして共有することにより、児童生徒の発達と学びの連続性をふまえた教育を行うことができました。また、幼稚園、こども園と小学校との情報交換や交流等を行いました。</p> <p>【課題と今後の方針】</p> <p>校種間や学年間交流が各校の工夫のもと行われました。しかし、打ち合わせ時間や研修時間の確保等が課題となっています。各中学校区における小中一貫教育の取組や進捗状況を重点項目に沿って把握するとともに、その好事例を広報し各中学校区において系統的な学びを行うために、教職員の指導力を向上させる体制を整える必要があります。教職員が教育ビジョンをふまえ、ICTを活用しながら合同研修や教科部会等を開催することにより、児童生徒への理解を深め、一人一人の個性や能力を伸ばす教育を実践し、目指す子ども像の実現を図ります。また、幼小接続については、学びの接続を意識した交流が充実するよう関係各課と連携を密にしていく必要があります。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">達成度</th> <th style="width: 33%;">必要性</th> <th style="width: 33%;">方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">同水準</td> <td style="text-align: center;">同水準</td> </tr> </tbody> </table> <p>【担当課】 学校教育課</p>		達成度	必要性	方向性	3	同水準	同水準
達成度	必要性	方向性							
3	同水準	同水準							

2	スクールサポート事業	<p>【成果】</p> <p>令和2年度は「学校サポート」と名称を変更し、奈良市立の幼稚園・こども園（20人）、小学校（64人）及び中学校（35人）に合計127人の大学生を派遣することで、市立学校園における教育活動の円滑な実施に向けての支援を行いました。また、派遣する学生は、派遣された学校における学校行事や教科指導等の指導補助や事務局による中間研修を通して、教育専門職への意識及び素養の向上を図ることができました。新型コロナウイルス感染症対策として、少人数での分散型研修を複数回実施したことにより、学校サポート事業への参加を希望する学生に適時対応することができました。</p> <p>【課題と今後の方針】</p> <p>本事業の実施は、学校園と学生の双方にとって効果があることから、今後も継続実施していきます。学生の派遣にあたっては、配置前研修や中間研修等を通して、大学で学んだ理論や知識を実践的に深める場として、学校園で活動することへの意識を高めます。また、派遣先の学校園に対しても、本事業がより効果的な取組となるよう、事業の目的や意義を周知していきます。この事業を通して、各校での円滑な教育活動の実施や子どもたち一人一人へのきめ細かな支援を充実させます。</p> <table border="1" data-bbox="815 1151 1396 1249"> <thead> <tr> <th></th> <th>達成度</th> <th>必要性</th> <th>方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【担当課】 学校教育課</td> <td>3</td> <td>同水準</td> <td>同水準</td> </tr> </tbody> </table>		達成度	必要性	方向性	【担当課】 学校教育課	3	同水準	同水準
	達成度	必要性	方向性							
【担当課】 学校教育課	3	同水準	同水準							
3	少人数学級編制実施（小学校講師）	<p>【成果】</p> <p>義務教育入門期の小学校1,2年生に対して、基本的な生活習慣や学習規律の定着に重点を置き、一人一人の子どもに対して丁寧な指導ができるよう、30人学級編制を実施しました。</p> <p>【課題と今後の方針】</p> <p>市単独事業であることから予算の確保に課題があり事業の拡大は難しいですが、現状を維持しつつ、人材面だけでなく多面的に学校を支援し、きめ細かな教育の推進に取り組みます。また、国において小学校の1クラスあたりの定員を段階的に35名に引き下げる法改正がなされるなど少人数学級をとりまく環境も変化しており、今後も国の施策の動向を注視し対応していきます。</p> <table border="1" data-bbox="815 1872 1396 1973"> <thead> <tr> <th></th> <th>達成度</th> <th>必要性</th> <th>方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【担当課】 教職員課 学校教育課</td> <td>3</td> <td>同水準</td> <td>同水準</td> </tr> </tbody> </table>		達成度	必要性	方向性	【担当課】 教職員課 学校教育課	3	同水準	同水準
	達成度	必要性	方向性							
【担当課】 教職員課 学校教育課	3	同水準	同水準							

4	いじめ対応支援 教員の配置	<p>【成果】</p> <p>令和2年度からは、いじめ対応支援員に代わって、管理職経験者を中心とした学校支援コーディネーターが、全ての市立学校への訪問支援を行うことで、いじめの未然防止、早期発見と迅速な対応、再発防止に努めました。</p> <p>【課題と今後の方針】</p> <p>多くの学校がいじめ事案への対応に関する具体的な指導、助言を望んでいることから、令和2年度からは、いじめ対応支援員の配置を廃止し、代わって管理職経験者を中心とした学校支援コーディネーターを増員することで、全ての市立学校への訪問支援の強化を図ることとしました。</p> <p>【担当課】</p> <p>いじめ防止生徒指導課</p>			
			達成度	必要性	方向性
			3	同水準	廃止

令和2年度の総合評価					
<p>【成果】</p> <p>幼小連携・小中一貫教育推進事業では、中学校区ごとに中学校区教育ビジョンを作成することで、中学校区で目指す子ども像を共有し、それに基づいて小中学校の教職員が連携のもと9年間を見通した取組を行いました。</p> <p>学校サポート事業では、大学生を派遣することで、市立学校園における教育活動の円滑な実施に向けて支援することができました。また、派遣する学生においては、教育専門職への意識及び素養の向上を図ることができました。</p> <p>少人数学級については、引き続き小学校1, 2年生において市単独事業として30人学級を実施したことで、義務教育入門期における丁寧な指導を図ることができました。</p> <p>【課題と今後の方針】</p> <p>幼小連携・小中一貫教育推進事業では、教職員の指導力を向上させる体制を整え、また、幼小接続については、学びの接続を意識した交流が充実するよう関係各課と連携をさらに図ります。また、ICTを活用した合同研修や教科部会の開催等により、児童生徒への理解を深め、一人一人の個性や能力を伸ばす教育を実践し、目指す子ども像の実現を図ります。</p> <p>学校サポート事業では、学生が学校園で活動することへの意識を高め、また派遣先の学校園に対しても、本事業がより効果的な取組となるよう、事業の目的や意義の周知を図るとともに、研修内容についても充実を図ります。</p> <p>少人数学級については、法改正による1クラスあたりの定員引き下げにより、今後さらに人材不足が課題となると予想されるため、予算の確保と併せて人材の確保に努めていきます。</p>					
主な事業の達成度平均			$(3 + 3 + 3 + 3) \div 4 = 3$	判定	3

[参考] 中長期の進捗状況						
指標 (単位)	平成 28年度 実績値	平成 29年度 実績値	平成 30年度 実績値	令和 元年度 実績値	令和 2年度 実績値	令和 2年度 目標値
小中一貫教育による学習指導・生徒指導上の効果がみられる中学校区数	—	21	21	21	21	21
[参考] 総合計画実施計画における計画額及び予算・決算額 (展開方向内事業の合計額：千円)						
	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	
計画額	378,668	334,069	232,105	179,831	147,416	
予算額	375,936	335,512	232,012	178,707	147,416	
決算額	348,553	315,031	188,802	151,074	140,635	
外部評価者 (学識経験者) の意見						
<ul style="list-style-type: none"> ● 事業1「幼小連携・小中一貫教育推進事業」について、オンラインを活用し情報共有を行うなど、コロナ禍においても事業を継続する工夫が見られます。コロナ後もオンライン会議を有効に活用し、校種間連携に努めて下さい。 						

(3) 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務				
第4次総合計画	基本施策	2-01 学校教育		
	施策	2-01-01 特色のある教育の推進		
	施策の目標	情報化が加速し、ますますグローバル化する 21 世紀の社会の中で、自分を失わず、多様な価値観、異なる文化に生きる人たちと互いに分かり合い、協働して未来を切り拓いていくことができる子どもを育みます。		
	展開方向	③ 教職員の研修の充実		
	具体的な取組の方向性	<p>●教職員の資質・能力向上を目指した研修を充実するとともに、教職員一人ひとりに応じた支援体制を確立します。</p> <p>●教育センターにおいて職務研修や管理職研修を実施するとともに、中学校区ごとの研修を充実します。</p>		
奈良市教育振興基本計画の関連する領域	1-(1) 学校・教員支援、1-(2) 教職員の資質・能力向上			
主な事業		令和2年度の実施状況		
1	教職員の研修の充実	<p>【成果】</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止を余儀なくされた研修もありましたが、オンライン研修に切り替えたり、人数を制限したりして、感染予防対策を徹底して開催しました。初任者をはじめ若手教員を対象に、個々の課題やニーズに応じた研修や若手教員を育てるための校内体制の支援として「教員個別訪問研修」を延べ 191 回実施しました。「教員個別訪問研修」の事後アンケートにおいて、「授業づくりの改善意欲の向上につながった」と 99%以上の教員が肯定的に回答しました。また、教育センターを拠点とした「集合型研修」(WEB 配信含む)では 27 講座を実施し、満足度は 93.2%でした。「中堅教諭等資質向上研修」は、受講対象者を 4 年目～11 年目の中堅教諭として実施しました。</p> <p>【課題と今後の方針】</p> <p>「教員個別訪問研修」では、指導主事が対象教員に対し、1 回～2 回の個別訪問研修を実施しましたが、教員の経験年数や状況に応じて再訪問を実施する等、継続的な指導ができる体制づくりが必要です。今後は、校内での人材育成(OJT)の体制づくりの推進とあわせ、研修機会の少ない若手講師への支援もさらに充実させていきます。「集合型研修」では、教職員の幅広いニーズに対応していけるよう、オンラインを活用して、受講内容や受講方法を見直して実施していきます。</p> <p>【担当課】</p> <p>教育支援・相談課</p>		
		達成度	必要性	方向性
		3	同水準	同水準

2	教育メディアの推進	<p>【成果】</p> <p>市内教員を対象とした教育クラウド「なら学びの広場」において、約100の新たな教育コンテンツを掲載しました。また、弁護士を講師として招聘し、「著作権」や「スクールロイヤー」、「ハラスメント」など校内研修等で自主的に活用できる動画を作成し、掲載しました。</p> <p>【課題と今後の方針】</p> <p>「なら学びの広場」内映像（動画）について、Google Workspace for Education に移管し、内容や構成を再構築して、使いやすい環境を整備しているところですが、引き続き、教員のニーズに合わせて活用していただけるよう、OJTの研修に使用できる教材や、教科教育で使用できる映像教材の充実を進め、利便性を向上させていきます。</p> <p>【担当課】</p> <p>教育支援・相談課</p>			
			達成度	必要性	方向性
		3	同水準	同水準	

令和2年度の総合評価			
<p>【成果】</p> <p>「教員個別訪問研修」は、若手教員の個々の課題やニーズを合わせた具体的かつ的確なアドバイスをを行ったことで、学級経営や授業に対する改善意欲の向上を図ることができました。また、教育クラウド「なら学びの広場」においては、映像を中心としたコンテンツを充実させることができました。</p> <p>【課題と今後の方針】</p> <p>今後は、校内での人材育成（OJT）の体制づくり推進とあわせ、研修機会の少ない若手講師への支援を充実させていきます。また、「集合型研修」では、教職員の幅広いニーズに対応していけるよう、オンラインを活用した受講内容や受講方法を改善し研修を実施していきます。</p>			
主な事業の達成度平均	$(3 + 3) \div 2 = 3$	判定	3

[参考] 中長期の進捗状況						
指標（単位）	平成28年度実績値	平成29年度実績値	平成30年度実績値	令和元年度実績値	令和2年度実績値	令和2年度目標値

[参考] 総合計画実施計画における計画額及び予算・決算額（展開方向内事業の合計額：千円）

	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	
計画額	28,172	28,012	27,260	23,878	22,999	
予算額	24,896	28,052	30,027	26,745	23,014	
決算額	23,362	23,901	27,517	26,656	21,423	

外部評価者（学識経験者）の意見

- 評価内容について特段指摘することはありません。引き続き、計画に基づいて事業を進めてください。

(3) 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務		
第4次総合計画	基本施策	2-01 学校教育
	施策	2-01-01 特色のある教育の推進
	施策の目標	情報化が加速し、ますますグローバル化する21世紀の社会の中で、自分を失わず、多様な価値観、異なる文化に生きる人たちと互いに分かり合い、協働して未来を切り拓いていくことができる子どもを育みます。
	展開方向	④ 国際化社会を担う人材の育成
	具体的な取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ●奈良のアイデンティティを育み、誇りをもって世界で活躍できる子どもの育成を目指し、世界遺産学習を推進します。 ●ALT（外国語指導助手）を活用して英語教育を充実するとともに、小学校1年生からの英語教育を実施します。
奈良市教育振興基本計画の関連する領域	2-(1)学力の向上、2-(3)英語教育、2-(9)グローバル人材の育成	
主な事業	令和2年度の実施状況	
1	<p>世界遺産学習推進事業</p> <p>【シート3 主な事業2再掲】</p>	<p>【成果】</p> <p>例年、市内の全小学校5年生を対象として世界遺産学習現地学習を実施していますが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止しました。また、世界遺産学習全国サミットについても中止を余儀なくされました。このような状況の中、地域とともに世界遺産学習の学びを深める取組や、教職員が地域を深く知り、今後の学習に生かすためのフィールドワークなどについて、各校において工夫して実施されました。具体的には、地域の美しさを黒板アートで発信する活動や、ICTを活用して、遠方の学校と地域に流れる川についての交流を実施したこと等の報告を受けています。</p> <p>このような機会を通して、本市の豊かな世界遺産や、地域の文化財や自然、伝統文化等に触れ、それらを守り引き継いできた人びとの生き方を学び、学習を進める中で、児童や生徒は地域に対する誇りや地域を大切に思う心情を育むことができました。また、児童生徒が学習したことをもとに自分で考え、自分の言葉でまとめたり発表したりする力を育むことができました。</p> <p>【課題と今後の方針】</p> <p>世界遺産学習は、世界遺産や地域遺産等を教材として小学校1年生から中学校3年生まで実施しており、各学年においてモデルカリキュラムを示し、系統だてた学習を進めています。今後も、地域について深く学ぶことを通して、教科、領域を横断した知識や技能を融合し、自ら課題を見つけ論理的思考により解決することができる子どもを育成し、SDGsの実現に取り組んでいきます。歴史上の人物や地域の方の</p>

		<p>生き方に触れ、地域のことを考えて行動することは、児童生徒の心を豊かに耕し、児童生徒のアイデンティティを育むだけでなく、SDGsで掲げる持続可能な地域・社会を形成していくことにつながると考えます。地域に誇りや愛着を持ち、持続可能な地域・社会の担い手として主体的に考え行動する児童生徒を育成するため、学校が地域や企業・団体と協働し、世界遺産学習を推進していけるよう、取組を進めます。</p>				
				達成度	必要性	方向性
		【担当課】 学校教育課		3	同水準	同水準
2	AEE（英語教育アドバイザー）の充実	<p>【成果】</p> <p>令和2年度当初の臨時休業期間中には、英語教授法について豊富な知識や経験を持った専門性の高いネイティブ人材であるAEE（英語教育アドバイザー）による授業動画を市立中学校生徒向けに配信し、学びの支援を行いました。また、学校再開後はAEEが市立全小・中学校を訪問して授業を参観し、教員に対して英語の指導方法について指導助言を行いました。加えて、中核英語教員の指導力向上研修等のオンライン研修の開催や、各校の実情に応じた独自教材を作成し、提供することで、教員の英語指導力向上や授業支援を図ることができました。</p> <p>【課題と今後の方針】</p> <p>令和3年度は、令和2年度の小学校に続き、中学校においても新学習指導要領が全面実施されることから、これまでの取組に加え、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改革がさらに必要となります。また、GIGAスクール構想の実現により、市立学校児童生徒に一人1台端末が整備されたことから、この新しい環境の中でさらに学びを広げていくことが求められています。そのような状況の中で、AEEが本市の英語教育推進事業の中核的存在として、教員の指導力・英語力向上を図り、英語教育の一層の充実を推進していきます。</p>				
				達成度	必要性	方向性
		【担当課】 学校教育課		3	同水準	同水準
3	小学校英語アシスタント派遣事業	<p>【成果】</p> <p>市内小学校全校の3年生から6年生を対象に、英語教育を支援する地域人材（英語アシスタント）を派遣し、外国語科の授業支援を実施するとともに、授業の活性化を図りました。英語アシスタントが派遣されることにより、担任と英語アシスタントによる会話を聞く等、英語を実際に使う場面のモデルを児童に提示することができ、英語に親しみながら理解を深める機会を広げることができました。また、英語アシスタントの支援により、小学校教員の授業力向上を図ることができ</p>				

		<p>ました。</p> <p>【課題と今後の方針】 令和3年度は小学校第3・4学年で年間8回程度、第5・6学年では年間14回程度の英語アシスタント派遣を実施します。新学習指導要領で求められる力を子どもたちに育成するためにも、英語アシスタントをより効果的に活用することが求められるため、AEEと連携して研修を実施します。これらを通じて、外国語科授業の活性化と小学校英語教育の充実を図ります。</p>									
		<p>【担当課】 学校教育課</p>	<table border="1"> <tr> <th data-bbox="874 622 1038 674">達成度</th> <th data-bbox="1038 622 1212 674">必要性</th> <th data-bbox="1212 622 1396 674">方向性</th> </tr> <tr> <td data-bbox="874 674 1038 719">3</td> <td data-bbox="1038 674 1212 719">同水準</td> <td data-bbox="1212 674 1396 719">同水準</td> </tr> </table>	達成度	必要性	方向性	3	同水準	同水準		
達成度	必要性	方向性									
3	同水準	同水準									

令和2年度の総合評価					
<p>【成果】</p> <p>世界遺産学習事業では、各校において本市の豊かな世界遺産や、地域の文化財や自然、伝統文化等に触れ、それらを守り、引き継いできた人びとの生き方を学び、大切にしながら学習を進める中で、地域に対する誇りや地域を大切に思う心情を育むことができました。また、児童生徒に学習したことをもとに自分で考え、自分の言葉でまとめたり発表したりする力を育成することができました。</p> <p>AEE（英語教育アドバイザー）の充実では、市立小中学校訪問を実施し、教員に対して英語の指導方法について指導助言を行いました。また、研修や教材の提供により、教員の英語指導力向上や授業支援を図ることができました。さらに、臨時休業期間中にはAEEによるオンライン授業動画の配信を行い、市立中学校生徒の学びの支援を行うことができました。</p> <p>小学校英語アシスタント派遣事業では、担任と英語アシスタントによる、英語の使用場面のモデルを児童に提示することによって、児童にとって、英語に親しみながら理解を深める機会を広げることができました。また、小学校教員に対しては授業力向上を図ることができました。</p> <p>【課題と今後の方針】</p> <p>世界遺産学習事業では、地域に誇りや愛着を持ち、世界遺産や地域遺産等の保護・継承について、主体的に考え取り組む児童生徒を育成するため、学校が地域と協働して、地域の魅力を再発見し、創造していく体制づくりを進めます。</p> <p>AEE（英語教育アドバイザー）の充実では、AEEの学校訪問等により、新学習指導要領にて求められる、主体的、対話的で深い学びの育成に向けて、教員の指導力・英語力のさらなる向上を図ります。</p> <p>小学校英語アシスタント派遣事業では、英語の使用場面を児童にモデル提示するという重要な役割として英語アシスタントを効果的に活用し、外国語科授業の活性化と小学校英語教育</p>					

の充実を図ります。			
主な事業の達成度平均	$(3 + 3 + 3) \div 3 = 3$	判定	3

[参考] 中長期の進捗状況						
指標 (単位)	平成 28年度 実績値	平成 29年度 実績値	平成 30年度 実績値	令和 元年度 実績値	令和 2年度 実績値	令和 2年度 目標値

[参考] 総合計画実施計画における計画額及び予算・決算額 (展開方向内事業の合計額：千円)						
	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	
計画額	47,742	37,529	17,227	15,254	10,332	
予算額	45,248	45,968	17,327	14,074	10,502	
決算額	40,835	44,227	10,529	13,539	10,168	

※世界遺産学習推進事業の計画額及び予算・決算額については評価シート3に含む。

外部評価者 (学識経験者) の意見
<ul style="list-style-type: none"> ● 事業1「世界遺産学習推進事業」について、SDGs と関連付けて事業を実施する場合は、具体的に17の目標のうちどれを達成するためなのか明確に意識した方がよいと思います。

(3) 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務																								
第4次総合計画	基本施策	2-01 学校教育																						
	施策	2-01-01 特色のある教育の推進																						
	施策の目標	情報化が加速し、ますますグローバル化する21世紀の社会の中で、自分を失わず、多様な価値観、異なる文化に生きる人たちと互いに分かり合い、協働して未来を切り拓いていくことができる子どもを育みます。																						
	展開方向	⑤ 健康・体力づくりの推進																						
	具体的な取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ●体力の向上と健康教育の推進を図ります。 ●中学校の運動部活動の活性化を図るため、支援を充実します。 ●定期健康診断の充実を図り、疾病の早期発見と予防を推進します。 ●学校給食を基盤とした、小学校低学年から継続した食育指導を推進します。 ●中学校給食未実施校への実施方法を検討し、地元産食材を積極的に活用した給食の導入を推進します。 																						
奈良市教育振興基本計画の関連する領域	2-(8)体力の向上と健康教育、4-(5)学校給食																							
主な事業	令和2年度の実施状況																							
1	体育クラブ活動推進事業	<p>【成果】</p> <p>単独で部活動の指導・引率等ができる部活動指導員84名を、中学校及び高等学校の運動部と文化部66部に配置し、教員の負担軽減と部活動の活性化を図りました。また、令和2年度より適切な人材の確保を目的として、「部活動指導員候補者バンク」を設置しました。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外部指導員派遣回数(回)</td> <td>7,057</td> <td>6,658</td> <td>7,159</td> <td colspan="2" rowspan="2">⇒ 部活動指導員派遣事業へ移行</td> </tr> <tr> <td>外部顧問派遣回数(回)</td> <td>149</td> <td>501</td> <td>431</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>派遣時間 8,563(時間)</td> <td>派遣時間 10,590(時間)</td> </tr> </tbody> </table> <p>なお、部活動指導員を派遣した学校の管理職及び顧問教員へのアンケートでは、「部活動指導員の派遣により、顧問教員の負担が軽減されたと感じる」と回答した割合が、管理職では95%、顧問教員では87%となっています。</p> <p>【課題と今後の方針】</p> <p>部活動の指導充実と、教員の負担軽減に寄与するため、部活動指導員の活用を一層推進していく必要があると考えます。また、人材の確保につ</p>		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	外部指導員派遣回数(回)	7,057	6,658	7,159	⇒ 部活動指導員派遣事業へ移行		外部顧問派遣回数(回)	149	501	431					派遣時間 8,563(時間)	派遣時間 10,590(時間)
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度																			
外部指導員派遣回数(回)	7,057	6,658	7,159	⇒ 部活動指導員派遣事業へ移行																				
外部顧問派遣回数(回)	149	501	431																					
				派遣時間 8,563(時間)	派遣時間 10,590(時間)																			

		<p>いても、学校からの要望に応えることができるよう、「部活動指導員候補者バンク」の充実を図っていきます。</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>達成度</td> <td>必要性</td> <td>方向性</td> </tr> <tr> <td>【担当課】 学校教育課</td> <td>3</td> <td>同水準</td> <td>同水準</td> </tr> </table>		達成度	必要性	方向性	【担当課】 学校教育課	3	同水準	同水準
	達成度	必要性	方向性							
【担当課】 学校教育課	3	同水準	同水準							
2	児童生徒健康管理事業	<p>【成果】</p> <p>学校保健安全法第 13 条に基づき、市立小・中学校及び高等学校における児童（15,366 人）生徒（8,349 人）について、内科・眼科・耳鼻科及び歯科の検診等を実施するとともに、心電図や尿の検査、結核検診を行い、疾病の早期発見と予防に努めました。</p> <p>【課題と今後の方針】</p> <p>学校保健安全法において、健康診断等は義務付けされており、的確に実施し、健康増進を推進します。</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>達成度</td> <td>必要性</td> <td>方向性</td> </tr> <tr> <td>【担当課】 保健給食課</td> <td>3</td> <td>同水準</td> <td>同水準</td> </tr> </table>		達成度	必要性	方向性	【担当課】 保健給食課	3	同水準	同水準
	達成度	必要性	方向性							
【担当課】 保健給食課	3	同水準	同水準							
3	中学校給食実施事業	<p>【成果】</p> <p>平成 23 年度に奈良市立中学校給食実施計画策定会議で定めた実施計画に従い、中学校給食の導入を進め、平成 29 年 4 月から市内全 21 校で給食を開始し、令和 2 年度も継続して安全・安心な給食の提供に努めました。</p> <p>【課題と今後の方針】</p> <p>栄養バランスに配慮した昼食を提供しても、偏食による食べ残しなどがあつては、適切な栄養を摂取できません。学校給食を持続的に発展させるためには、温かくおいしい給食を提供するとともに、食育を充実させ偏食を減らすことが必要です。今後も栄養教諭・学校栄養職員と調整を図りながら学校給食を通じて児童生徒が適切な栄養を摂取できるよう、努めてまいります。</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>達成度</td> <td>必要性</td> <td>方向性</td> </tr> <tr> <td>【担当課】 保健給食課</td> <td>3</td> <td>同水準</td> <td>同水準</td> </tr> </table>		達成度	必要性	方向性	【担当課】 保健給食課	3	同水準	同水準
	達成度	必要性	方向性							
【担当課】 保健給食課	3	同水準	同水準							

4	食育指導事業	<p>【成果】</p> <p>学校給食を実施するにあたり、給食指導のため、使用食材の紹介資料や校内放送に使用する資料等を配布しました。また、家庭配布用の学校給食献立表を通じて、家庭への啓発を行いました。</p> <p>【課題と今後の方針】</p> <p>近年、偏った栄養摂取、朝食欠食など食生活の乱れや、肥満、痩身傾向等、子どもたちの健康を取り巻く問題が深刻化しています。</p> <p>また、コロナ禍において、貧困状態にある子どもの割合が増加しており、自宅で十分な食事がとれず、不足しがちな栄養素を学校給食で補っているなど様々な問題があります。</p> <p>今後も学校給食の資料や献立表を通じ、児童生徒および保護者へ食の大切さの啓発を行います。</p>			
			達成度	必要性	方向性
		【担当課】保健給食課	3	同水準	同水準

令和2年度の総合評価

<p>【成果】</p> <p>児童生徒健康管理事業では、市立小・中学校及び高等学校における児童・生徒について、内科・眼科・耳鼻科及び歯科の検診等を実施するとともに、心電図や尿の検査、結核検診を行い、疾病の早期発見と予防に努めました。</p> <p>中学校給食実施事業については、平成29年度に全21中学校において実施となり、それ以降についても継続的に事業を行い、令和2年度につきましても安全・安心な給食の提供に努めました。</p> <p>食育指導事業では、給食を通じての食育指導を、地場産の食材紹介や、「食育の日」を毎月実施するなど、児童・生徒、また家庭に向けて啓発を行いました。</p> <p>【課題と今後の方針】</p> <p>児童生徒健康管理事業では、引き続き健康増進の推進のため、医師会、歯科医師会、薬剤師会とも連携を図れるよう調整を行っていきます。</p> <p>食育指導事業については、食の大切さを児童・生徒、また家庭に啓発できるよう、学校現場との連携を図っていきます。</p>			
主な事業の達成度平均	$(3+3+3+3) \div 4 = 3$	判定	3

[参考] 中長期の進捗状況

指標（単位）	平成28年度実績値	平成29年度実績値	平成30年度実績値	令和元年度実績値	令和2年度実績値	令和2年度目標値
--------	-----------	-----------	-----------	----------	----------	----------

中学校給食実施校数 (校)	20	21	21	21	21	21
[参考] 総合計画実施計画における計画額及び予算・決算額 (展開方向内事業の合計額: 千円)						
	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	
計画額	389,983	501,864	452,006	458,411	483,135	
予算額	390,211	498,852	452,006	458,328	481,636	
決算額	371,097	464,508	448,183	454,236	422,956	

外部評価者 (学識経験者) の意見	
●	評価内容について特段指摘することはありません。引き続き、計画に基づいて事業を進めてください。

(3) 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務		
第4次総合計画	基本施策	2-01 学校教育
	施策	2-01-03 義務教育の充実
	施策の目標	国際文化観光都市、世界遺産のあるまちの中で、子どもたち一人ひとりの個性と創造力を大きく伸ばし、人間尊重と社会連帯の精神を基本として、たくましく生きる力を育成します。
	展開方向	① 教育相談の充実と整備
	具体的な取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ●就学前等教育相談員を配置します。 ●教育センターを核とした教育相談を充実します（特別な支援を必要とする子どもたちの相談指導・発達検査等）。 ●教育センターにおける教育相談を中心とした相談支援活動の充実と適応指導教室※を継続して実施します。 ●スクールカウンセラーの小学校への配置と増員を図ります。 ※ 適応指導教室：不登校の児童・生徒の学校復帰に向けた相談及び支援並びに保護者に対するのカウンセリングを実施する施設
奈良市教育振興基本計画の関連する領域	3-(2)心のケアなどの支援体制、3-(4)虐待の早期対応	
主な事業		令和2年度の実施状況
1	教育相談業務の充実	<p>【成果】</p> <p>教育センターへの来所相談件数は令和2年度 2,856 件であり、新型コロナウイルス感染症対策として5月末まで対応を制限・調整していたことから令和元年度と比較してやや減少しています。これに対し、訪問相談件数は同じく5月末まで対応を制限・調整していましたが、令和2年度 300 件とやや増加しています。これらのことから、依然として教育相談のニーズが高いことが窺えます。</p> <p>特別支援教育にかかわる相談では、主に就学相談を中心に対応を行いました。就学相談については、新型コロナウイルス感染症対策のため学校園への訪問観察が難しい場合があったため、個別の来所相談や電話相談に代えて対応すること、及び子ども発達センターや母子保健課、保育総務課等の関係機関と連携をより密にして情報共有することで相談内容の充実を図りました。</p> <p>不登校や心理的な相談については、教育相談コーディネーターが各校の相談窓口となり、教育相談年間予定の設定、ケース会議の設定や情報の集約、関係機関との連携等を行いました。また、スクールカウンセラーによる心理面の支援や発達に関わる相談、不登校対応カウンセラーによる巡回・訪問について、教育相談コーディネーターが両者との連携のもと、不登校の未然防止や校内の教育相談体制の整備を図りました。</p>

不登校児童生徒サポート事業の一環として教育センター6Fで実施している適応指導教室「HOP」では、学習支援やグループ体験学習を中心に支援内容の充実を図りました。これまでの中学生中心の支援から、令和2年度は小学生への学習支援を始めたことにより、学校へ行きにくい児童生徒に対して幅広い支援を行うことができました。

新型コロナウイルス感染症対策による来所相談の制限・調整により令和元年度に比べて利用人数はやや減少したものの、個別心理相談、訪問相談を合わせると、のべ2,839人の児童生徒や保護者が利用しました。

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
来所相談件数(件)	3,117	3,003	2,856
学校園等への訪問相談(件)	453	263	300
教育心理相談実施日数(日)	200	200	200

不登校児童生徒サポート事業として、適応指導教室「HOP」に加え、オンラインを活用した「Web HOP」による学習支援と面談、家から出にくい児童生徒に対する「訪問学習支援」を行い、様々なニーズに応じた支援対応を行いました。また、不登校児童生徒の新たな学びの場として、旧鼓阪北幼稚園舎を利用した適応指導教室「HOP 青山」の開設に向けての準備を進めました。

奈良市において、平成28年度より全市立学校に市と県でスクールカウンセラーの配置を行い、不登校の未然防止など校内の教育相談体制の整備を進め、全児童生徒の心理面の支援や発達にかかわる相談や支援の充実を図っています。

また教育相談コーディネーターを対象にした研修を年3回実施し、教育相談のスキルアップや校内支援体制の充実を図りました。スクールカウンセラーを対象にした研修も行い、カウンセリングの知識、技量向上を図りました。

加えて、平成30年度から市配置のスクールカウンセラーに各学校の実状や課題に応じた校内研修等の実施を義務付け、各校の教育相談への意識向上やスキルアップを図っています。

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
市スクールカウンセラー小学校配置校(校/市内小学校数)	43/43	43/43	43/43

※中学校には、平成27年度から県より全校配置

※高等学校には、平成21年度から市配置

教育センターに平成 28 年度より配置した不登校対応カウンセラーにつきましては、不登校の未然防止を目的に市立小・中・高等学校の不登校の実態把握、校内支援体制の構築に向けて、巡回・訪問を実施し指導助言等を継続して行ってきました。校内だけでは対応が困難なケースにおいては、不登校対応カウンセラーがケース会議に参加し、助言する等の支援を行いました。

4年目となる令和2年度における学校訪問をもって、市内全ての学校に2回の訪問を終了し、各校における教育相談の支援体制の充実を図ることができました。

【課題と今後の方針】

不登校の未然防止、及び不登校児童生徒への適切な支援のため、校内の支援体制のさらなる充実に向けて、学校支援・研修による啓発を図ります。

教員の知識、技量向上を図るため教育相談コーディネーターをはじめとする教員への研修、及びスクールカウンセラーへの研修の充実により「新たな不登校を生まない未然防止の取組」を強化します。

また、不登校児童生徒に対しても、適応指導教室「HOP 青山」をはじめとした不登校児童生徒サポート事業を通して、学校復帰及び社会的自立を目標とした学習支援の充実を図ります。

「HOP 青山」については、令和3年4月より開室し、教育センターで不登校児童生徒の受け入れを始めています。旧鼓阪北幼稚園舎の改修工事を進め、それに伴う環境整備が課題です。

【担当課】

教育支援・相談課

達成度	必要性	方向性
4	増加	拡充

令和2年度の総合評価

【成果】

新型コロナウイルス感染症対策による相談対応の制限・調整があったものの、教育センターにおける来所相談や各学校園への訪問相談については、そのニーズが高いことから、令和元年度とほぼ同数の対応を行いました。

また、市立学校へのスクールカウンセラーの全校配置により、早期発見・早期対応する校内の教育相談体制の整備を進めることができました。

さらに、市配置のスクールカウンセラーが各校の状況や課題に応じた校内研修を実施したことにより、保護者へのスクールカウンセラーの周知、各校教員の教育相談への啓発・意識向上と校内の支援体制強化につながっています。

教育センターに配置した不登校対応カウンセラーによる巡回訪問については、令和2年度で市内全ての学校に対しての2回の訪問を終了し、各校における教育相談の支援体制の充実を図ることができました。

【課題と今後の方針】

今後も「新たな不登校を生まない取組」の推進のために、教育相談コーディネーター及びスクールカウンセラーとの連携を深め、不登校児童生徒数のさらなる改善につながるよう校内支援体制の充実に一層取り組むことが必要です。

特に教育相談コーディネーターについては、年3回の研修を通して、学校でのスクールカウンセラーの運用が児童生徒や保護者に有効なものとなるよう、校内支援体制におけるスクールカウンセラーの位置付けや役割、効果的な運用方法について周知を図ります。

また、不登校児童生徒への支援として、適応指導教室「HOP」「HOP 青山」、オンラインでの支援「Web HOP」、家庭へ訪問し支援を行う「訪問学習支援」と、多様な不登校支援のニーズに対応できる支援の場の整備を進めます。

主な事業の達成度平均	(4) ÷ 1 = 4	判定	4
------------	-------------	----	---

★ [参考] 中長期の進捗状況

指標 (単位)	平成28年度実績値	平成29年度実績値	平成30年度実績値	令和元年度実績値	令和2年度実績値	令和2年度目標値
教育センターにおける来所教育相談のべ回数 (回)	3,296	3,057	3,117	3,003	2,856	3,100

★ [参考] 総合計画実施計画における計画額及び予算・決算額 (展開方向内事業の合計額: 千円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
計画額	21,988	27,323	28,985	28,985	28,755	
予算額	21,985	27,388	28,985	28,985	34,606	

決算額	21,827	27,246	28,785	28,855	33,389	
-----	--------	--------	--------	--------	--------	--

外部評価者（学識経験者）の意見	
●	事業1「教育相談業務の充実」について、奈良市として手厚く取り組まれている様子がかがえます。全体の方向性を示しながら、引き続き、各校の状況や課題に応じたきめ細かな取組を行うことが必要であると思います。

(3) 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務		
第4次総合計画	基本施策	2-01 学校教育
	施策	2-01-03 義務教育の充実
	施策の目標	国際文化観光都市、世界遺産のあるまちの中で、子どもたち一人ひとりの個性と創造力を大きく伸ばし、人間尊重と社会連帯の精神を基本として、たくましく生きる力を育成します。
	展開方向	② 特別支援教育の充実
	具体的な取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ●教育センターを核とした通級指導教室をつなぐ特別支援体制を構築します。 ●特別支援教育連携会議における医療、福祉、労働などの他分野との連携を推進します。 ●通級指導教室の機能拡充と充実を図ります。 ●支援が必要な状況を把握し、個別の支援対応を行うため、特別支援教育支援員の配置時間、配置人数の見直しを含め、効果的な配置を行います。 ●特別支援学級に就学する保護者負担の軽減のため、特別支援教育就学奨励費を支給します。
奈良市教育振興基本計画の関連する領域	3-(1)特別支援教育	
主な事業	令和2年度の実施状況	
1 特別支援教育推進事業	<p>【成果】</p> <p>「新しい時代の特別支援教育の在り方に関する有識者会議 報告」（令和3年1月・文部科学省）においては、就学前における早期からの相談・支援を進めるにあたり、就学相談や学びの場の検討等を支援する教育支援資料の内容の充実や、就学相談における保護者への情報提供の充実を図ることの重要性が示されております。</p> <p>奈良市では特に幼小連携が円滑に進むように、市内の公立・私立・国立園及び小学校に就学相談の手続きや留意事項に関する資料を配布し啓発を進めました。また、就学相談において保護者との合意形成に時間を要するケースに対しては、園・学校訪問や保護者との相談への同席等の対応を重ね、就学先の決定に必要な情報を適宜提供し丁寧な就学相談を行いました。</p> <p>就学相談における関係機関との連携としては、子ども発達センターや母子保健課、保育総務課、児童発達支援センター等とのケース会議や連絡会を実施し、情報共有・対応の検討を図りました。</p> <p>特別支援教育に関わる相談については、新型コロナウイルス感染症対策による相談対応の制限・調整により、来所相談が令和元年度の 536 件に対し令和2年度は 404 件、訪問相談が令和元年度の 328 件に対し</p>	

令和2年度は238件と、ともに件数が減少しました。ただし相談へのニーズ自体は依然として高く、特に各園からの来所相談件数は、相談件数全体が減少しているにもかかわらず、令和元年度、令和2年度ともに169件と同数でした。

国は平成29年度からの10年間で通級指導教室担当教員の基礎定数化を推進する方向性にあることから、本市においても通級指導教室担当教員の養成及び指導力向上を図るために、平成29年度より「※インクルーシブ教育システム推進講座」を新設しました。令和元年度までは小人数を対象とした研修プログラムを実施していましたが、令和2年度は奈良市の特別支援教育推進のための人材育成を進めるため、リモート研修を中心として研修を行った結果、受講人数が90人と大幅に増加しました。

また、インクルーシブ教育システム推進相談員を教育センターに2名配置し、学校からの要請により訪問を行い、通常の学級に在籍する特別な支援を必要とする児童生徒の具体的な支援方法や、校内におけるインクルーシブ教育システム推進体制の構築など、教員・管理職への指導助言を行い、学校支援を進めました。

【課題と今後の方針】

通常の学級に在籍する特別な支援を必要とする児童生徒は年々増加傾向にあり、個々の特性を正しく把握し、その特性に応じた適切な支援を早期から行うことが重要です。適切な支援を行うためには、校内支援体制の構築、支援に必要な情報の共有、そして個々の教員の指導力の向上が求められます。今後、基礎定数化により通級指導教室の新規開設が進むことを見据え、インクルーシブ教育システム推進相談員による学校支援、センター校通級指導教室担当教員によるセンター校機能としての教育相談等を通して、各校の支援体制の整備と充実を図ります。

※ 「インクルーシブ教育」：障害のある者とない者がともに学ぶ仕組みのこと。可能な限り障害のある児童生徒が障害のない児童生徒とともに教育を受けられるように配慮することが求められる。

【担当課】

教育支援・相談課

達成度	必要性	方向性
3	増加	拡充

2	通級指導教室事業	<p>【成果】</p> <p>県からの加配教員により、自校の児童を自校で支援する「自校通級指導教室」を令和元年度には小学校1校1教室に新設し、合計で小学校4校4教室への設置となりました。令和2年度には小学校1校1教室に新設し、合計で小学校5校5教室への設置となりました。</p> <p>今後、基礎定数化の推進により通級指導教室の新規開設が進むことを見据え、通級指導教室担当教員の養成を含めた特別支援教育に関するスキル向上と人材育成のため、インクルーシブ教育システム推進講座を引き続き実施しました。令和2年度はリモート研修を中心として行った結果、受講人数が90人と大幅に増加し、在籍校及び本市におけるインクルーシブ教育システム推進の核を担う人材の育成を推進することができました。</p> <p>また、市内の通級指導教室の整備に伴い、通級指導の必要性や重要性の周知と理解が進んできました。特に中学校通級指導教室については、「センター校通級指導教室」1教室の新規開設により、既設の1教室と合わせて2教室による対応となったことにより、より多くの中学校と連携しながら支援や指導にあたることが可能になりました。</p> <p>【課題と今後の方針】</p> <p>「インクルーシブ教育システム推進講座」を通級指導教室担当教員の養成だけでなく、本市におけるインクルーシブ教育システム推進のための人材育成と位置付け、研修内容のさらなる充実を図ります。また、児童生徒の障害に応じた適切な指導を行えるよう、小学校4校5教室、中学校2校2教室、合計6校7教室に設置しているセンター校通級指導教室を中心に通級担当者連絡会議を適宜実施し、各通級指導教室間の連携及び通級未設置校における支援体制の構築を進めます。</p> <table border="1" data-bbox="501 1485 1390 1581"> <tr> <td data-bbox="501 1485 869 1536">【担当課】</td> <td data-bbox="869 1485 1043 1536">達成度</td> <td data-bbox="1043 1485 1214 1536">必要性</td> <td data-bbox="1214 1485 1390 1536">方向性</td> </tr> <tr> <td data-bbox="501 1536 869 1581">教育支援・相談課</td> <td data-bbox="869 1536 1043 1581">4</td> <td data-bbox="1043 1536 1214 1581">増加</td> <td data-bbox="1214 1536 1390 1581">拡充</td> </tr> </table>	【担当課】	達成度	必要性	方向性	教育支援・相談課	4	増加	拡充
【担当課】	達成度	必要性	方向性							
教育支援・相談課	4	増加	拡充							
3	特別支援教育連携会議事業	<p>【成果】</p> <p>平成30年5月24日付文部科学省及び厚生労働省による「教育と福祉の一層の連携等の推進について（通知）」において、教育と福祉との連携及び保護者支援の推進が求められています。これを受け、特別支援教育連携会議において、奈良市の相談窓口や療育・福祉に関する制度・サービスなど、子どもや家庭の支援に必要な情報をまとめた保護者向けハンドブックの作成を令和元年度より計画し検討を進めました。令和2年度末にその成果として「奈良市特別支援教育にかかわるリーフ</p>								

		<p>レット なら特支ハンドブック」を完成させました。</p> <p>【課題と今後の方針】 教育と福祉との連携及び保護者支援の推進のために作成した保護者向けハンドブック「奈良市特別支援教育にかかわるリーフレット なら特支ハンドブック」を市内各園や公民館等公共施設にて配布することで、支援に関する情報を求める保護者に必要な情報がより広く行き渡るように図ってまいります。また、医療・福祉等の関係機関や市関係各課と連携を図りながら、今後の奈良市の特別支援教育の在り方について検討を進めていきます。</p> <table border="1" data-bbox="871 721 1406 819"> <tr> <td data-bbox="501 721 871 770">【担当課】</td> <td data-bbox="871 721 1027 770">達成度</td> <td data-bbox="1027 721 1197 770">必要性</td> <td data-bbox="1197 721 1406 770">方向性</td> </tr> <tr> <td data-bbox="501 770 871 819">教育支援・相談課</td> <td data-bbox="871 770 1027 819">3</td> <td data-bbox="1027 770 1197 819">同水準</td> <td data-bbox="1197 770 1406 819">同水準</td> </tr> </table>	【担当課】	達成度	必要性	方向性	教育支援・相談課	3	同水準	同水準								
【担当課】	達成度	必要性	方向性															
教育支援・相談課	3	同水準	同水準															
4	特別支援教育支援員（小・中学校）配置の充実	<p>【成果】 平成 30 年度に小中学校 64 校全校に特別支援教育支援員を各校 1 人以上配置し、以降、令和 2 年度まで継続して全校配置をしました。 また、支援の必要性を精査して配置配分を見直したことにより、複数配置校は前年度 51 校より 1 校少ない 50 校となりましたが、3 人以上の配置校は前年度 19 校から 21 校に増加しており、配置人数総数は前年度と同数を確保した上で、支援ニーズに応じた配置を行いました。 上記の取組の結果、配置目標である 35 校に対しては 40%以上の増となり、継続した充実を図ることができました。</p> <table border="1" data-bbox="517 1249 1393 1348"> <tr> <td></td> <td>平成 30 年度</td> <td>令和元年度</td> <td>令和 2 年度</td> </tr> <tr> <td>複数配置校数(校)</td> <td>45</td> <td>51</td> <td>50</td> </tr> </table> <p>【課題と今後の方針】 通常の学級に在籍する特別な支援が必要な児童生徒について、引き続き高い支援ニーズがあるため、教育支援・相談課への相談実績や「子ども理解のためのチェックシート」の基準に基づいて特別支援教育支援員による支援の必要性を検討します。 また、よりきめ細やかな対応として、今後は特別な支援を必要とする児童生徒の学習支援や安全面へのサポートの強化、当該児童生徒の在籍する学級集団への支援や学級担任の補助などについて、配置時間や週数の拡充を検討しながら、予算や人材の確保に努めます。</p> <table border="1" data-bbox="871 1877 1406 1975"> <tr> <td data-bbox="501 1877 871 1926">【担当課】 教職員課</td> <td data-bbox="871 1877 1027 1926">達成度</td> <td data-bbox="1027 1877 1197 1926">必要性</td> <td data-bbox="1197 1877 1406 1926">方向性</td> </tr> <tr> <td data-bbox="501 1926 871 1975">教育支援・相談課</td> <td data-bbox="871 1926 1027 1975">4</td> <td data-bbox="1027 1926 1197 1975">増加</td> <td data-bbox="1197 1926 1406 1975">拡充</td> </tr> </table>		平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	複数配置校数(校)	45	51	50	【担当課】 教職員課	達成度	必要性	方向性	教育支援・相談課	4	増加	拡充
	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度															
複数配置校数(校)	45	51	50															
【担当課】 教職員課	達成度	必要性	方向性															
教育支援・相談課	4	増加	拡充															

5	小学校特別支援教育就学奨励事業	<p>【成果】</p> <p>国の補助事業として、国が定める受給基準を満たす世帯の児童を対象に、571人に就学奨励費の支給を行いました（申請者732人）。その内訳は、学校給食費531人、通学費10人、学用品費等535人、修学旅行費63人、校外活動費376人、新入学学用品費114人です。</p> <p>【課題と今後の方針】</p> <p>受給者への連絡・対応は各学校を通じて行っているため、学校との連携をよりきめ細かにし、今後も国の基準に沿って継続して実施します。就学援助制度と申請時期が重なり、保護者から支給内容や審査基準における両制度の差異について問い合わせを受けることが有るため、より分かりやすい周知に努めます。</p> <table border="1" data-bbox="874 768 1390 864"> <tr> <td></td> <th>達成度</th> <th>必要性</th> <th>方向性</th> </tr> <tr> <td>【担当課】 教育総務課</td> <td>3</td> <td>同水準</td> <td>同程度</td> </tr> </table>		達成度	必要性	方向性	【担当課】 教育総務課	3	同水準	同程度
	達成度	必要性	方向性							
【担当課】 教育総務課	3	同水準	同程度							
6	中学校特別支援教育就学奨励事業	<p>【成果】</p> <p>国の補助事業として、国が定める受給基準を満たす世帯の生徒を対象に、160人に就学奨励費の支給を行いました（申請者220人）。その内訳は、学校給食費137人、通学費1人、学用品費等151人、修学旅行費12人、校外活動費53人、新入学学用品費42人です。</p> <p>【課題と今後の方針】</p> <p>受給者への連絡・対応は各学校を通じて行っているため、学校との連携をよりきめ細かにし、今後も国の基準に沿って継続して実施します。就学援助制度と申請時期が重なり、保護者から支給内容や審査基準における両制度の差異について問い合わせを受けることが有るため、より分かりやすい周知に努めます。</p> <table border="1" data-bbox="874 1440 1390 1536"> <tr> <td></td> <th>達成度</th> <th>必要性</th> <th>方向性</th> </tr> <tr> <td>【担当課】 教育総務課</td> <td>3</td> <td>同水準</td> <td>同程度</td> </tr> </table>		達成度	必要性	方向性	【担当課】 教育総務課	3	同水準	同程度
	達成度	必要性	方向性							
【担当課】 教育総務課	3	同水準	同程度							

令和2年度の総合評価

【成果】

「インクルーシブ教育システム推進講座」については、リモート研修を中心として行った結果、受講者数が90人と大幅に増加しました。これにより、通級指導教室を担当することのできる教員の養成だけでなく、在籍校及び本市におけるインクルーシブ教育システム推進の核を担う人材の育成を広く推進することができました。また、インクルーシブ教育システム推進相談員が市内各校の要請に応じて訪問指導を行い、校内支援体制の構築・整備を進めました。また、通常の学級における特別な支援を必要とする児童生徒への具体的な指導法について助言したり、支援方法に関する研修を行ったりすることを通して、各校におけるインクルーシブ教育システムの構築について啓発を進めることができました。

【課題と今後の方針】

今後、「インクルーシブ教育システム推進講座」を通級指導教室担当教員の養成だけでなく、本市におけるインクルーシブ教育システム推進のための人材育成と位置付け、研修内容のさらなる充実を図ります。また、通級担当者連絡会議を通じた各通級指導教室の連携や、インクルーシブ教育システム推進相談員の訪問を通して、通級指導教室が新規開設された学校の支援体制整備に向けた支援や、通級担当者へのフォロー・相談対応を行い、通級指導教室の活用充実を図ります。

教育と福祉の連携及び保護者支援の推進が求められることから、特別支援教育連携会議で検討し作成した「奈良市特別支援教育にかかわるリーフレット なら特支ハンドブック」を活用し、保護者が求める特別な支援に関する情報の周知に努めます。

主な事業の達成度平均	$(3+4+3+4+3+3) \div 6 = 3.3$	判定	3
------------	------------------------------	----	---

[参考] 中長期の進捗状況

指標（単位）	平成28年度 実績値	平成29年度 実績値	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値	令和2年度 実績値	令和2年度 目標値
特別支援教育支援員の複数人数の配置校数（校）	27	31	45	51	50	35
特別支援教育相談件数（件）	1,001	565	449	536	404	1,200

[参考] 総合計画実施計画における計画額及び予算・決算額（展開方向内事業の合計額：千円）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
計画額	69,147	72,810	94,712	97,581	101,658	
予算額	69,075	72,830	94,671	97,580	101,658	

決算額	61,793	64,937	86,629	86,486	91,282	
外部評価者（学識経験者）の意見						
<ul style="list-style-type: none"> ● 評価内容について特段指摘することはありません。引き続き、計画に基づいて事業を進めてください。 						

(3) 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務									
第4次総合計画	基本施策	2-01 学校教育							
	施策	2-01-03 義務教育の充実							
	施策の目標	国際文化観光都市、世界遺産のあるまちの中で、子どもたち一人ひとりの個性と創造力を大きく伸ばし、人間尊重と社会連帯の精神を基本として、たくましく生きる力を育成します。							
	展開方向	③ 信頼される学校づくりの推進							
	具体的な取組の方向性	●学校評価アンケートや評価指標による学校の自己評価及び学校評議員による学校関係者評価を実施し、教育活動・学校運営の改善に生かします。							
奈良市教育振興基本計画の関連する領域									
主な事業		令和2年度の実施状況							
1	学校評議員制度の推進	<p>【成果】</p> <p>平成23年度から、奈良市では学校運営協議会制度を順次導入し、令和元年度中に全ての市立小・中学校に学校運営協議会を設置することができました。学校運営協議会は、学校運営について教育委員会又は校長に意見を述べるができる、とされていることから、学校運営協議会が設置された学校では、学校評議員が担っていた学校関係者評価を順次引き継ぎました。</p> <p>学校運営協議会では、学校の運営方針や取り組みの進捗状況について、学校・地域関係者等で話し合われました。(学校運営協議会の体制については別添参考資料3を参照)</p> <p>【課題と今後の方針】</p> <p>令和3年度以降も、全ての小・中学校で学校運営協議会により、学校関係者評価を行い、学校教育活動・学校運営の改善に生かします。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により会議の実施が難しい状況も想定されるため、現場の状況把握に努めるとともに、学校運営協議会制度の理解を深めるための研修を実施します。</p>							
		【担当課】 学校教育課 地域教育課	<table border="1"> <thead> <tr> <th>達成度</th> <th>必要性</th> <th>方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td> <td>同水準</td> <td>同水準</td> </tr> </tbody> </table>	達成度	必要性	方向性	3	同水準	同水準
達成度	必要性	方向性							
3	同水準	同水準							

令和2年度の総合評価

【成果】

令和元年度中に学校評議員制度の機能を学校運営協議会に引き継がせることができました。学校運営協議会では、学校の運営方針や取り組みの進捗状況について、学校・地域関係者等で話し合われました。

【課題と今後の方針】

令和3年度以降も、全ての小・中学校で学校運営協議会により、学校関係者評価を行い、学校教育活動・学校運営の改善に生かします。新型コロナウイルス感染症の影響により会議の実施が難しい状況も想定されるため、現場の状況把握に努めるとともに、学校運営協議会制度の理解を深めるための研修を実施します。

主な事業の達成度平均	(3) ÷ 1 = 3	判定	3
------------	-------------	----	---

[参考] 中長期の進捗状況

指標（単位）	平成 28年度 実績値	平成 29年度 実績値	平成 30年度 実績値	令和 元年度 実績値	令和 2年度 実績値	令和 2年度 目標値

[参考] 総合計画実施計画における計画額及び予算・決算額（展開方向内事業の合計額：千円）

	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	
計画額	111	111	1,999	2,293	2,171	
予算額	111	111	1,999	2,293	2,171	
決算額	67	63	1,105	1,218	1,113	

外部評価者（学識経験者）の意見

- 評価内容について特段指摘することはありません。引き続き、計画に基づいて事業を進めてください。

(3) 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務										
第4次総合計画	基本施策	2-01 学校教育								
	施策	2-01-03 義務教育の充実								
	施策の目標	国際文化観光都市、世界遺産のあるまちの中で、子どもたち一人ひとりの個性と創造力を大きく伸ばし、人間尊重と社会連帯の精神を基本として、たくましく生きる力を育成します。								
	展開方向	④ 就学支援								
	具体的な取組の方向性	●経済的理由により就学困難と認められる保護者負担軽減のため、就学援助費を支給します。								
奈良市教育振興基本計画の関連する領域	3-(8)就学援助									
主な事業		令和2年度の実施状況								
1	小学校就学援助	<p>【成果】</p> <p>令和元年度に引き続き、11月、12月に申請のあった204人のうち対象となる準要保護世帯児童（令和3年度新小学校1年生）158人を対象に新入学準備金を入学前の3月に支給しました。</p> <p>新入学準備金を除く就学援助制度では、申請のあった1,934人のうち対象となる準要保護世帯児童1,666人に就学援助費を支給しました。内訳は、学校給食費1,568人、学用品費1,666人、修学旅行費303人、校外活動費0人、新入学学用品費77人です。</p> <p>また、国の補助事業として要保護世帯の対象児童55人に修学旅行費を支給しました。</p> <p>【課題と今後の方針】</p> <p>事業の対象となる準要保護世帯に対し、事業の実施・内容・申請方法・時期等が伝わるよう、積極的に周知する必要があることから、従来の「しみんだより」及びホームページによる広報、市立小中学校の全児童生徒へのお知らせ文書の配布に加え、新たに「さくら連絡網」を通じた周知の実施を計画しています。</p> <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;"></th> <th style="width: 20%;">達成度</th> <th style="width: 20%;">必要性</th> <th style="width: 30%;">方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【担当課】 教育総務課</td> <td>3</td> <td>同水準</td> <td>同水準</td> </tr> </tbody> </table>		達成度	必要性	方向性	【担当課】 教育総務課	3	同水準	同水準
	達成度	必要性	方向性							
【担当課】 教育総務課	3	同水準	同水準							
2	中学校就学援助	<p>【成果】</p> <p>令和元年度に引き続き、令和2年度準要保護認定である小学校6年生（令和3年度新中学校1年生）314人を対象に新入学準備金を入学前の3月に支給しました。</p> <p>新入学準備金を除く就学援助制度では、申請のあった1,159人のうち対象となる準要保護世帯児童984人に就学援助費を支給しました。内</p>								

	<p>訳は、学校給食費 890 人、学用品費 983 人、修学旅行費 120 人、校外活動費 9 人、新入学学用品費 41 人です。</p> <p>また、国の補助事業として要保護世帯の対象児童 17 人に修学旅行費を支給しました。</p> <p>【課題と今後の方針】</p> <p>事業の対象となる準要保護世帯に対し、事業の実施・内容・申請方法・時期等が伝わるよう、積極的に周知する必要があることから、従来の「しみんだより」及びホームページによる広報、市立小中学校の全児童生徒へのお知らせ文書の配布に加え、新たに「さくら連絡網」を通じた周知の実施を計画しています。</p>	達成度	必要性	方向性
		【担当課】教育総務課	3	同水準

令和 2 年度の総合評価			
【成果】			
<p>令和元年の収入を基にした令和 2 年度市民税所得割額を用いて、直近の生活状況から認定を行い、ほぼ全ての対象者への援助が実施できています。新中学校 1 年生については平成 29 年度入学生徒より、新小学校 1 年生については平成 30 年度入学児童より、新入学準備金の入学前支給を行っています。また、積極的な広報のため、保護者へのお知らせ文書の内容改善を行いました。</p>			
【課題と今後の方針】			
<p>事業の対象となる準要保護世帯に対し、事業の実施・内容・申請方法・申請時期等が伝わるよう様々な方法で積極的に周知する必要があることから、従来の「しみんだより」及びホームページによる広報、市立小中学校の全児童生徒へのお知らせ文書の配布に加え、新たに「さくら連絡網」を通じた周知の実施を計画しています。</p>			
主な事業の達成度平均	$(3+3) \div 2 = 3$		判定
			3

[参考] 中長期の進捗状況						
指標 (単位)	平成 28 年度 実績値	平成 29 年度 実績値	平成 30 年度 実績値	令和 元年度 実績値	令和 2 年度 実績値	令和 2 年度 目標値

[参考] 総合計画実施計画における計画額及び予算・決算額（展開方向内事業の合計額：千円）

	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	
計画額	211,616	240,077	270,791	272,488	264,094	
予算額	223,519	275,017	270,791	272,448	263,709	
決算額	209,678	246,116	232,509	231,908	221,784	

外部評価者（学識経験者）の意見

- 評価内容について特段指摘することはありません。引き続き、計画に基づいて事業を進めてください。

(3) 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務										
第4次総合計画	基本施策	2-01 学校教育								
	施策	2-01-03 義務教育の充実								
	施策の目標	国際文化観光都市、世界遺産のあるまちの中で、子どもたち一人ひとりの個性と創造力を大きく伸ばし、人間尊重と社会連帯の精神を基本として、たくましく生きる力を育成します。								
	展開方向	⑤ 施設配置の適正化及び施設の長寿命化の検討								
	具体的な取組の方向性	●小学校・中学校の規模適正化を実施します。								
奈良市教育振興基本計画の関連する領域		4・(6)学校規模適正化								
主な事業		令和2年度の実施状況								
1	小・中学校の配置及び規模の適正化	<p>【成果】</p> <p>平城西中学校区の学校規模適正化について協議するため、右京・神功両地域から成る新しい学校づくりのための「平城西中学校区新小中一貫教育学校開校準備委員会」を12回開催し、協議の結果、開校時期を令和4年4月とすることや、新しい小中学校を「ならやま小学校」「ならやま中学校」とする案を決定しました。また、新しい学校の校舎については、右京小学校・神功小学校の児童を対象に令和元年度に実施したワークショップでの意見を基に設計を行い、令和2年9月末から校舎建設工事を開始しました。</p> <p>【課題と今後の方針】</p> <p>平城西中学校区の学校規模適正化について、今後は校歌や校章、教育カリキュラムや学校行事等について具体案を作成し、了承を得ていく必要があります。若草中学校区においては、鼓阪北小学校と青山地区で開所した適応指導教室との連携を進め、鼓阪小学校、佐保小学校については学校規模適正化について保護者や地域の方との協議を進めていく必要があります。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="2" style="width: 30%;">【担当課】 教育政策課 教育施設課</td> <td style="width: 15%;">達成度</td> <td style="width: 15%;">必要性</td> <td style="width: 15%;">方向性</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">同水準</td> <td style="text-align: center;">同水準</td> </tr> </table>		【担当課】 教育政策課 教育施設課	達成度	必要性	方向性	4	同水準	同水準
【担当課】 教育政策課 教育施設課	達成度	必要性	方向性							
	4	同水準	同水準							

令和2年度の総合評価	
【成果】	右京・神功両地域の保護者・地域住民・学校関係者等を対象としたアンケートを実施し、丁寧な議論の中で新しい学校の校名案をまとめることができました。また、校舎建設工事も令

和2年9月末から開始しています。

【課題と今後の方針】

子どもたちの教育環境をより良いものにするため、平城西中学校区については、令和4年4月開校を目標に事業を進めます。若草中学校区については、鼓阪北小学校と青山地区で開所した適応指導教室との連携を進め、鼓阪小学校、佐保小学校については学校規模適正化について保護者や地域の方との協議を進めます。

主な事業の達成度平均	(3) ÷ 1 = 3	判定	3
------------	-------------	----	---

[参考] 中長期の進捗状況

指標（単位）	平成 28年度 実績値	平成 29年度 実績値	平成 30年度 実績値	平成 31年度 実績値	令和 2年度 実績値	令和 2年度 目標値
規模の適正化を必要とする小・中学校数(校)	7	4	4	4	4	0

[参考] 総合計画実施計画における計画額及び予算・決算額（展開方向内事業の合計額：千円）

	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	
計画額	510,493	523	439	97,864	2,482,362	
予算額	497,829	523	439	92,493	2,482,362	
決算額	379,321	239	162	21,582	916,985	

外部評価者（学識経験者）の意見

- 事業1「小・中学校の配置及び規模の適正化」について、平城西中学校区の開校準備では、学校や地域と意見交換を行いながら様々な課題を乗り越えてこられたことと思います。今後も学校や地域と協力し、計画に基づいて事業を進めてください。

(3) 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務									
第4次総合計画	基本施策	2-01 学校教育							
	施策	2-01-03 義務教育の充実							
	施策の目標	国際文化観光都市、世界遺産のあるまちの中で、子どもたち一人ひとりの個性と創造力を大きく伸ばし、人間尊重と社会連帯の精神を基本として、たくましく生きる力を育成します。							
	展開方向	⑤ 施設配置の適正化及び施設の長寿命化の検討							
	具体的な取組の方向性	●学校施設の老朽化が年々進行している中、学校規模適正化が検討され今後も存続していく学校において、児童・生徒の学校環境改善のために施設の長寿命化改善を検討します。							
奈良市教育振興基本計画の関連する領域		4-(6)学校規模適正化							
主な事業		令和2年度の実施状況							
1	小中学校校舎等耐震改修事業	<p>【成果】 平成30年度末で小中学校の耐震化はおおむね完了しました。</p> <p>【課題と今後の方針】 小中学校の耐震化についてはおおむね完了しており、今後予定されている平城西中学校区の学校規模適正化の実施により、全ての学校において耐震化が完了することになります。今後は学校施設の長寿命化計画に沿って着実に長寿命化対策を実施していくことが必要です。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>達成度</th> <th>必要性</th> <th>方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td> <td>減少</td> <td>廃止</td> </tr> </tbody> </table> <p>【担当課】 教育施設課</p>		達成度	必要性	方向性	3	減少	廃止
達成度	必要性	方向性							
3	減少	廃止							

令和2年度の総合評価			
<p>【成果】 平成30年度末で小中学校の耐震化はおおむね完了しました。</p> <p>【課題と今後の方針】 今後は学校施設の長寿命化計画に沿って着実に長寿命化対策を実施していくことが必要です。</p>			
主な事業の達成度平均	$(3) \div 1 = 3$	判定	3

[参考] 中長期の進捗状況						
指標（単位）	平成 28年度 実績値	平成 29年度 実績値	平成 30年度 実績値	令和 元年度 実績値	令和 2年度 実績値	令和 2年度 目標値
小・中学校の耐震 化進捗率（%）	99.2	99.2	99.5	99.5	99.5	100.0

[参考] 総合計画実施計画における計画額及び予算・決算額（展開方向内事業の合計額：千円）						
	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	
計画額	571,800	434,653	6,912	0	0	
予算額	282,462	506,566	6,912	0	0	
決算額	119,225	498,270	5,737	0	0	

外部評価者（学識経験者）の意見	
●	評価内容について特段指摘することはありません。引き続き、計画に基づいて事業を進めてください。

(3) 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務		
第4次総合計画	基本施策	2-01 学校教育
	施策	2-01-04 市立一条高等学校の教育の充実
	施策の目標	時代の進運に即して豊かな知性と情操とを身に付け、健康で気力にあふれ、人間尊重の精神を基盤として積極的に努力する新時代の人間を育成します。
	展開方向	① 高等学校教育内容の充実
	具体的な取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ●国際交流や大学・企業・国際機関との連携を通してグローバル社会で活躍できる視野の広い人材を育成します。 ●合理的に思考し、着実な実践に努め、人権を尊重して民主的な社会を創造する人間を育成します。 ●自主的に行動できるとともに、自分の行動に責任をもつ誠実な人間を育成します。 ●規律・秩序・礼儀を重んじ、社会性と、品位のある人間を育成します。 ●たくましい体力と旺盛な気力を備え、信念をもってねばり強く努力する人間を育成します。 ●高校、大学、専門機関等との連携により、教員の資質向上を図ります。 ●様々な教育現場の経験を積むことにより教員の資質向上を図るため、県立高等学校との人事交流を継続するとともに、私立高等学校や国立大学法人附属高等学校との人事交流についても調整を行います。 ●生徒の学校生活をより充実させるため、全国大会等への出場を目指すなど部活動の活性化を進めます。
奈良市教育振興基本計画の関連する領域	1-(3)大学との連携、2-(4)キャリア教育、2-(6)高等学校の教育、2-(7)道徳教育、2-(9)グローバル人材の育成、3-(5)人権教育	
主な事業	令和2年度の実施状況	
1	人間性豊かな人づくり	<p>【成果】</p> <p>学校教育活動全般を通じて、生徒の主体性を育み、思考力・判断力・表現力等の伸張を図りました。新型コロナウイルス感染症による臨時休業期間中は、ICTを活用した学習支援を急遽実施しました。C-Learning（学習支援システム）の個別に連絡相談を受けられることができるシステムは、不安に駆られる生徒の支えとなるツールとなりました。授業動画やプリントの配信や、双方向のホームルーム開設、中止した1学期中間考査を、模擬的に実施（サンプル問題を送付し、答案を回収）するなど、在宅学習により、学習の質を担保しました。</p> <p>大阪府立大学が進めるJST採択事業とのコラボレーションは最終年度を迎え、科学技術コミュニケーション活動「ゲノム編集」を、本校講堂で開催し、代表生徒以外はリモートで参加することができました。国際交流については、感染症の流行により全てストップしましたが、</p>

		<p>年度末に希望者を募り、エンパワーメントプログラム（ISA）を開催しました。このプログラムは、本来は海外の大学生や大学院生を集め、小グループに一人配置し、5日間程度オールイングリッシュで、ディスカッションやプレゼンテーションを行うもので、海外短期留学を超える英語運用能力がつくプログラムです。令和2年度は感染症の関係から、国内の大学に留学している学生を迎えて実施したところ、参加した生徒の感想は総じて好評で、令和3年度以降はより多くの参加を募って実施したいと考えています。</p> <p>【課題と今後の方針】</p> <p>コロナ禍において C-learning(学習支援システム)の活用は、生徒の学習面での質の維持や心情面での安定に大きな役割を果たし、また、エンパワーメントプログラム（ISA）への参加は生徒たちが高い英語運用能力を育む機会となりました。しかし、すべての希望する生徒が着実にその取組を行うには、発達障害をもつ生徒、自己肯定感が希薄な生徒など様々な支援を必要とする要配慮生徒へのアプローチが課題となります。生徒支援委員会を核とし全ての教職員が情報共有するなど組織的な取り組み体制を整備していますが、生徒の立場に立った考え方を生かした個別対応が求められます。</p> <table border="1" data-bbox="836 1104 1407 1200"> <thead> <tr> <th data-bbox="836 1104 1024 1155">達成度</th> <th data-bbox="1024 1104 1214 1155">必要性</th> <th data-bbox="1214 1104 1407 1155">方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="836 1155 1024 1200">4</td> <td data-bbox="1024 1155 1214 1200">同水準</td> <td data-bbox="1214 1155 1407 1200">同水準</td> </tr> </tbody> </table> <p>【担当課】 一条高等学校</p>	達成度	必要性	方向性	4	同水準	同水準
達成度	必要性	方向性						
4	同水準	同水準						

2	教職員の資質向上	<p>【成果】</p> <p>平成 30 年度から始動した「授業研究委員会」を核とした公開研究会（公開授業）は、感染症対策の観点から公開を止め、校内で教科ごとに研究授業、研究協議を実施し、主体的対話的で深い学びと、Arts STEM 教育（教科融合）をテーマに、有意義な研修機会となりました。</p> <p>令和 2 年度から具体的な展開を進めた「総合的な探究の時間」は、学科コースごとに協議を行い生徒の活動を支援しました。グループ単位でのポスターセッションを行い、クリティカルシンキングを生かした質疑も展開され、深く学ぶことの大切さを学んでくれました。探究的な学びは、本来教科ごとの学びに根付いていくことが肝要なので、これら学びの過程を「生徒の学びの質の向上」、「教員の資質向上」につながる教科教育に生かすとともに、教科領域を跨いだ教科融合に柔軟につなげていきます。</p> <p>【課題と今後の方針】</p> <p>文部科学省は第 3 期教育振興基本計画の策定に向けた基本的な考え方として、初等中等教育段階における、2030 年以降の社会の在り方を見据えた育成すべき資質・能力については、「何を理解しているのか、何ができるか」「理解していること・できることをどう使うか」「どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか」という三つの柱で確実に育成するとしています。したがって、次期学習指導要領の周知・徹底及び着実な実施を進め、主体的・対話的で深い学び（アクティブラーニングの視点）を推進しました。またこの学びは、社会人となった後も社会の変化に対応し、困難な状況におかれても容易に諦めることなく課題解決に向け、粘り強く取り組んでいくことにもつながります。本校では「Arts STEM 教育」を掲げ、文系理系を融合した学習を展開するカリキュラムを開発し、時折、異なる教科や領域との関わりを投げかけることにより、理系への興味関心を高めるとともに、リベラルアーツ（基盤となる学び）に立ち返る発想をもつ取組を行い、引き続き、生徒の主体性や思考力、判断力、表現力を磨くための仕掛けを準備し、考えることが楽しいと思う生徒の育成に努めます。</p> <table border="1" data-bbox="836 1731 1396 1832"> <thead> <tr> <th>達成度</th> <th>必要性</th> <th>方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4</td> <td>同水準</td> <td>同水準</td> </tr> </tbody> </table> <p>【担当課】 一条高等学校</p>	達成度	必要性	方向性	4	同水準	同水準
達成度	必要性	方向性						
4	同水準	同水準						
3	奈良市立一条高等学校教員の奈良県立高等学校への派遣研修	<p>【成果】</p> <p>平成 18 年度より、県立高等学校と 3 年単位で延べ 14 人の人事交流を実施しました。なお、令和 2 年度からは原則 3 年としていた派遣期間の短縮や延長、派遣先の変更等について奈良県教育委員会と協議を行</p>						

		<p>い、状況に応じた柔軟な交流を図ることができました。</p> <p>また、平成 30 年度には、奈良女子大附属中等教育学校と 2 年単位での人事交流を 1 人実施しました。</p> <p>交流者が派遣先で様々な経験を積むことにより、教員としての資質向上を図り、ひいては交流者からの還元による一条高等学校の教育の質の向上を図っています。</p> <p>【課題と今後の方針】</p> <p>奈良県教育委員会、奈良女子大附属中等教育学校と、よりよい人事交流に向けた協議を進めるとともに、一条高等学校の中高一貫校への移行も視野に入れた、より効果的な人事交流のあり方を検討していきます。</p>						
		<table border="1" data-bbox="833 768 1406 864"> <tr> <th>達成度</th> <th>必要性</th> <th>方向性</th> </tr> <tr> <td>3</td> <td>同水準</td> <td>同水準</td> </tr> </table> <p>【担当課】 教職員課</p>	達成度	必要性	方向性	3	同水準	同水準
達成度	必要性	方向性						
3	同水準	同水準						
4	部活動の活性化	<p>【成果】</p> <p>令和 2 年度の全国高校総体は、新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から、中止となりました。文化部・体育部ともに、生徒らは新たな目標を掲げて、意欲的に取り組んでくれています。全国選抜大会には、なぎなた部（男子）と少林寺拳法部（男子・女子）が出場しました。</p> <p>【課題と今後の方針】</p> <p>非認知的能力を育む機会として部活動は有効です。更に、生徒が、主体的・意欲的に取り組むことができる環境整備を図り、部活動指導員の確保を行います。また、部活動ガイドラインを策定し、活動日や活動時間、教員は生徒の活動を支援する立場であるこのなど、改めて共通理解を図りました。</p>						
		<table border="1" data-bbox="833 1500 1406 1594"> <tr> <th>達成度</th> <th>必要性</th> <th>方向性</th> </tr> <tr> <td>3</td> <td>同水準</td> <td>同水準</td> </tr> </table> <p>【担当課】 一条高等学校</p>	達成度	必要性	方向性	3	同水準	同水準
達成度	必要性	方向性						
3	同水準	同水準						

令和2年度の総合評価

【成果】

「総合的な探究の時間」を中心に、生徒の主体的な学びを誘発し、思考力・判断力・表現力等の伸張を図るとともに、学校生活全般を通じて仲間と関ることや、学校行事、部活動等をつうじて心身の育成を図りました。また、教員の資質向上については、研究授業、探究的な学びへのアプローチを通じて、よくわからないことを忌避する状態が大きく緩和され、学校全体で支援していく方向付けが、途半ばとはいえ、具体的な活動を始めることにより出来てきました。

【課題と今後の方針】

探究的な学びを、各教科で、日頃の授業展開の中で行っていく研究を進める必要があります。同時に、Arts STEM教育についても、イベント的に発信する取り組みから、常時、教科領域で生徒に仕掛けていき、生徒自身が、異なる教科領域を関連付けた理解ができることを目標に据えた取組を進めていきます。

主な事業の達成度平均	$(4+4+3+3) \div 4 = 3.5$	判定	4
------------	--------------------------	----	---

[参考] 中長期の進捗状況

指標（単位）	平成 28年度 実績値	平成 29年度 実績値	平成 30年度 実績値	令和 元年度 実績値	令和 2年度 実績値	令和 2年度 目標値
「一条高校に来て (行かせて)よかった と思う」生徒(保護 者)の割合(%)	93.2 (98.3)	93.5 (98.2)	90.1 (96.4)	90.3 (95.4)	92.1 (95.4)	95.0 (99.5)

[参考] 総合計画実施計画における計画額及び予算・決算額（展開方向内事業の合計額：千円）

	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	
計画額	633	568	568	1,000	1,000	
予算額	633	568	568	1,000	1,000	
決算額	633	567	567	999	899	

外部評価者（学識経験者）の意見

- コロナ禍においても工夫を凝らして、豊かな人間性を育み、生徒がより深く学ぶための取組が活発に進められたと思います。引き続き、奈良市の小中学生が憧れるような市立の高等学校となるよう努めてください。

(3) 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務		
第4次総合計画	基本施策	2-01 学校教育
	施策	2-01-04 市立一条高等学校の教育の充実
	施策の目標	時代の進運に即して豊かな知性と情操とを身に付け、健康で気力にあふれ、人間尊重の精神を基盤として積極的に努力する新時代の人間を育成します。
	展開方向	② 信頼される学校づくりの推進
	具体的な取組の方向性	●学校評価アンケートや評価指標による学校の自己評価及び学校評議員による学校関係者評価を実施し、教育活動・学校運営の改善に生かします。
奈良市教育振興基本計画の関連する領域		2-(6)高等学校の教育
主な事業		令和2年度の実施状況
1	学校評議員制度の推進	<p>【成果】</p> <p>新型コロナウイルス感染症による臨時休業が行われたため、学校評議員会は2学期末と3学期の2回の開催としました。学校ビジョンはじめ、校務分掌の長及び学科長から主な取り組みを説明し、評議員に意見を求めています。また、年度末には、評価票の提出を求めて意見を集約しています。「評議員からの質問には率直に回答いただけましたので、把握が容易でした」「時代のニーズに合致する取り組みです」「生徒会主体の活動となっています」「アンケートの経年比較でその変化を把握されています」などの意見をいただいています。加えて、すべての生徒、すべての保護者を対象とした学校評価アンケート、すべての講座について生徒による授業評価を実施しています。アンケート結果は教職員で共有し、学校運営や授業改善に生かしています。</p> <p>【課題と今後の方針】</p> <p>学校評議員制度は、開かれた学校づくりを目指し学校長が個人としての保護者などに意見を聞く制度ですが、本市では学校長が保護者、地域住民による合議制機関である学校運営協議会に基本的方針を諮る学校運営協議会制度への移行を進めてきました。</p> <p>一条高等学校では、令和4年度に附属中学校が併設される機会をとらえ、高等学校と附属中学校を一体とした学校運営協議会制度へ移行しますが、中高6年間では学齢に応じた発達課題も多様となることから、学校運営協議会として保護者・地域住民のみならず多様な人材（例えば企業経営者など）の参画が求められます。そのため組織として協働体制をどう構築するかという課題があります。</p>

			達成度	必要性	方向性
		【担当課】一条高等学校	3	同水準	同水準

令和2年度の総合評価			
<p>【成果】 令和元年度の評価項目「進路指導」において生徒の学力伸長のための取組が課題となっていました。その改善策として予定していた「ICTを活用した学習時間の把握」については、令和2年度はコロナ禍でアンケートを実施できず、生徒の学習時間を把握できませんでした。しかし、別の改善策である「進路室にある過去問（赤本）等の利用促進」については、バーコード方式を導入することで生徒が利用しやすくなり貸出数が増加するなど、学校評価を教育活動・学校運営の改善につなげることができました。</p> <p>【課題と今後の方針】 C-learningの活用を模擬試験等の申し込みにとどめず、学習時間の記録などにも活用できるようアンケート機能の活用工夫が必要となります。また、すべての過去問（赤本）の貸出をバーコード方式に移行するなど、今後も学校評価での指摘を教育活動・学校運営の改善につなげていきます。</p>			
主な事業の達成度平均	(3) ÷ 1 = 3	判定	3

[参考] 中長期の進捗状況						
指標（単位）	平成28年度実績値	平成29年度実績値	平成30年度実績値	令和元年度実績値	令和2年度実績値	令和2年度目標値
[参考] 総合計画実施計画における計画額及び予算・決算額（展開方向内事業の合計額：千円）						
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
計画額	—	—	—	—	—	
予算額	—	—	—	—	—	
決算額	—	—	—	—	—	

※計画額及び予算・決算額については評価シート10に含む。

外部評価者（学識経験者）の意見
● 評価内容について特段指摘することはありません。引き続き、計画に基づいて事業を進めてください。

(3) 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務									
第4次総合計画	基本施策	2-01 学校教育							
	施策	2-01-04 市立一条高等学校の教育の充実							
	施策の目標	時代の進運に即して豊かな知性と情操とを身に付け、健康で気力にあふれ、人間尊重の精神を基盤として積極的に努力する新時代の人間を育成します。							
	展開方向	③ 高等学校施設の整備							
	具体的な取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ●耐震補強や老朽化した校舎の計画的な改修を行います。 ●特色のある教育の創造のための設備や機器の充実を図ります。 							
奈良市教育振興基本計画の関連する領域		2-(6)高等学校の教育							
主な事業		令和2年度の実施状況							
1	高等学校校舎耐震改修事業	【成果】	耐震性のない建物の改築に伴う講堂の新築工事については、令和2年9月に竣工しました。						
		【課題と今後の方針】	施設全体が老朽化しているため、部分的な改修では対応が困難になってきています。今後は一条高等学校の将来構想に沿った施設整備や設備の充実を図れるよう進めていきます。						
		【担当課】教育施設課	<table border="1"> <thead> <tr> <th>達成度</th> <th>必要性</th> <th>方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td> <td>減少</td> <td>廃止</td> </tr> </tbody> </table>	達成度	必要性	方向性	3	減少	廃止
達成度	必要性	方向性							
3	減少	廃止							
2	高等学校教育の振興	【成果】	本市では、全国に先駆けて高等学校における1人1台端末の整備を完了し、生徒への貸与、持ち帰りの運用を開始しています。また、校種を連続したクラウドサービスの運用により生徒の情報の連携が可能な枠組みが構築できました。 この結果、従来のスマートフォンを中心としたBYODの取組と組み合わせ、1人2台の環境が整い、教科や領域にとらわれることなく、それらの特性と状況に応じた個別的及び協働的な学びの基盤が整いました。 また、新型コロナウイルス感染症の拡大等の緊急時の学びの保障につながる取組にも活用することができています。						
		【課題と今後の方針】	個別最適な学びと協働的な学びを実現する基盤としてICT環境を定着させるよう1人2台の環境を日常の教育活動や生徒の生活に溶け込む						

	<p>ように活用していきます。教科や領域に捉われない利用を推進できるよう授業の手法や組み立てについて研究を推進し、改善をはかります。また、ICT 環境を活用した他校や校外との連携などにも取り組む考えです。</p>	達成度	必要性	方向性
		3	同水準	同水準
		【担当課】一条高等学校		

令和 2 年度の総合評価			
<p>【成果】 耐震性のない建物の改築に伴う講堂の新築工事については、令和 2 年 9 月に竣工しました。ICT 環境については、大きなトラブルもなく効果的な利活用を行うことができました。</p>			
<p>【課題と今後の方針】 施設全体が老朽化しているため、部分的な改修では対応が困難になってきています。今後は一条高等学校の将来構想に沿った施設整備や設備の充実を図れるよう進めていきます。校舎改築や改修に伴い、校内 LAN の有線及び無線の再整備については、効率的な整備となるよう考えています。</p>			
主な事業の達成度平均	$(3+3) \div 2 = 3$		判定 3

[参考] 中長期の進捗状況						
指標 (単位)	平成 28 年度 実績値	平成 29 年度 実績値	平成 30 年度 実績値	令和 元年度 実績値	令和 2 年度 実績値	令和 2 年度 目標値
高等学校の校舎等耐震化率 (1 校 1 棟中) (%)	90.9	90.9	100	100	100	100.0
[参考] 総合計画実施計画における計画額及び予算・決算額 (展開方向内事業の合計額: 千円)						
	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 元年度	令和 2 年度	
計画額	39,500	18,840	63,141	9,633	8,757	
予算額	34,675	18,460	829,956	9,533	447,757	
決算額	30,138	16,481	20,310	294,939	444,910	

外部評価者 (学識経験者) の意見
<ul style="list-style-type: none"> ● 評価内容について特段指摘することはありません。引き続き、計画に基づいて事業を進めてください。

(3) 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務										
第4次総合計画	基本施策	2-02 青少年の健全育成								
	施策	2-02-01 青少年の健全育成								
	施策の目標	子どもたちが、生きるための基礎的な生活習慣や能力を培い、地域社会の中で心身ともに健やかにたくましく成長できるよう、家庭の教育力の充実を図るとともに、学校・家庭・地域が一体となって自らの役割や責任を自覚し、連携・協力して子どもたちの健全育成を目指します。 また、地域全体で子どもを育てる教育環境の整った地域コミュニティの活性化を目指し、地域の教育力の充実を図ります。								
	展開方向	① 家庭の教育力の充実								
	具体的な取組の方向性	●子どもや家庭を取り巻く諸問題の解決、これからの家庭教育のあり方及び親の役割について考えるため、公民館における家庭教育の講座や家庭教育講演会等を開催し、家庭教育に関する学習機会の充実を図ります。								
奈良市教育振興基本計画の関連する領域	5-(4)家庭教育									
主な事業	令和2年度の実施状況									
1	家庭教育推進事業	<p>【成果】</p> <p>公民館を拠点として、各地域の家庭教育に関する課題を地域の方々と連携し解決する体制を作るために、平成29年度から支援者側の心構えを学ぶことを目的とし、勉強会を通してネットワーク化を図る「家庭教育サポートネットワーク支援事業」を実施しました。市内公民館を4ブロックに分け、2ブロックずつ2年1事業の計画で、令和2年度は京西公民館、月ヶ瀬公民館が重点館として取り組みました（継続事業であるため、令和元年度時点の取組館9館は継続館として実施）。新型コロナウイルス感染症の影響で臨時休館や講座の延期・中止、地域の会議や行事等が中止となり、地域住民や子育て世代の声を聴く場が少なくなる中で、地域住民が子育てに関わるきっかけ作りとして、また子育て世代が子育てに生かすことのできるよう、傾聴などの講座を開催しました。その他の取組館においても、当事者・支援者の声を生かし、充実した事業を展開することができました。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延べ参加者数 (人)</td> <td>396</td> <td>357</td> <td>393</td> </tr> </tbody> </table> <p>【課題と今後の方針】</p> <p>今後も本事業での取組を継続し、市域全体に波及させていくために、これまでの実施館での取組を参考に、地域の現状を把握し、課題解決</p>		平成30年度	令和元年度	令和2年度	延べ参加者数 (人)	396	357	393
	平成30年度	令和元年度	令和2年度							
延べ参加者数 (人)	396	357	393							

	に向けて取り組むとともに、家庭教育に関わりが少ない人に向けた広報手段とアプローチを強化していきます。				
		【担当課】 地域教育課	達成度 3	必要性 同水準	方向性 同水準

令和 2 年度の総合評価

【成果】			
ブロック別研修や会議で情報の共有を行うことにより、市全体での取組み拡大に向けた体制を整え、家庭教育に関する多様な交流機会を提供することができました。			
【課題と今後の方針】			
本事業については、当事者・支援者と連携しながら、地域の方々とのネットワークを広げていく必要がありますが、ブロックにより地域との関わり方や仕組みの構築が難しい館もあります。既に取り組をすすめている公民館のノウハウを共有するとともに、子育て応援チラシや生涯学習財団ホームページ等を活用して公民館での家庭教育支援について市全域に向けて引き続き広報をし、全市的に取組の拡大に向けた体制整備を目指します。			
主な事業の達成度平均	(3) ÷ 1 = 3	判定	3

[参考] 中長期の進捗状況

指標 (単位)	平成 28年度 実績値	平成 29年度 実績値	平成 30年度 実績値	令和 元年度 実績値	令和 2年度 実績値	令和 2年度 目標値

[参考] 総合計画実施計画における計画額及び予算・決算額 (展開方向内事業の合計額: 千円)

	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	
計画額	234	180	335	360	360	
予算額	234	180	335	360	360	
決算額	234	180	335	229	360	

外部評価者 (学識経験者) の意見

- 評価内容について特段指摘することはありません。引き続き、計画に基づいて事業を進めてください。

(3) 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務		
第4次総合計画	基本施策	2-02 青少年の健全育成
	施策	2-02-01 青少年の健全育成
	施策の目標	子どもたちが、生きるための基礎的な生活習慣や能力を培い、地域社会の中で心身ともに健やかにたくましく成長できるよう、家庭の教育力の充実を図るとともに、学校・家庭・地域が一体となって自らの役割や責任を自覚し、連携・協力して子どもたちの健全育成を目指します。 また、地域全体で子どもを育てる教育環境の整った地域コミュニティの活性化を目指し、地域の教育力の充実を図ります。
	展開方向	② 地域の教育力の充実
	具体的な取組の方向性	●中学校区単位で、中学校を拠点に、校区の小学校・幼稚園・認定こども園と連携し、地域住民の積極的な学校支援活動を通して、地域全体で学校を支援する体制づくりを進めます。 ●各小学校区においても、学校・家庭・地域が連携・協働し、子どもたちの安全・安心な居場所を設け、地域ぐるみで子どもを育てる仕組みづくりを進めます。
奈良市教育振興基本計画の関連する領域	5-(1)地域学校連携	
主な事業		令和2年度の実施状況
1	地域教育推進事業	<p>【成果】</p> <p>地域教育推進事業は、地域で決める学校予算事業と放課後子ども教室推進事業を二本の柱として、地域全体で子どもを守り育てる体制づくりを進め、国からの補助金を受けて実施しています。</p> <p>地域で決める学校予算事業は市内の21中学校区全てで実施しており、地域教育協議会と学校園が、目指す子ども像を共有しながら協働活動について話し合う合同会議を始め、環境整備や学習支援等の様々な取組が進んでいますが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、活動内容を屋外での活動に切り替えたり、ICTを活用したり、人数制限の実施、パーテーションの設置、換気・消毒・検温の徹底等、児童生徒や地域の方の安全確保を第一に考えていただきながら、できる範囲での活動を行っていただきました。</p> <p>毎年、翌年度の事業計画の立案をしていただくにあたり、地域で決める学校予算事業推進懇話会*の参加者から意見・助言をいただく「プレゼンテーションと意見交換会」を実施していましたが、活動に関わる役割の明確化や事務分担、メリハリのある会議運営等、「担い手の自律化」をめざし、「プレゼンテーションと意見交換会」を取りやめ、事業を安定的に継続していくための運営・活動の工夫を各校区で検討していただくため、自己評価の充実を図ることとしました。評価を行うた</p>

めの規準については、今後検討していきます。

放課後子ども教室では、宿題に取り組む児童を補助する学習支援・学習相談、異年齢間の交流が深まるようなスポーツや工作等の活動が展開されています。活動の実施にあたっては、子どもたちの活動の様子や、子どもたちへのアンケート調査の結果を反映させた計画立案、教室参加後の下校や警報発令時等の子どもの安全管理など、地域の方と学校園が連携・協働した活動が行われています。

令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施内容や時期、回数等を調整し、児童生徒や地域の方の安全確保を第一に考えていただきながら、できる範囲での活動を行っていただきました。

放課後子ども教室実施状況	平成30年度	令和元年度	令和2年度
実施教室数（教室）	43	43	43
年間平均実施日数（日）	31	27	14
放課後子ども教室コーディネーターの登録数（人）	258	276	268
年間平均ボランティア数（人）	182	161	85
年間平均参加児童数（人）	1,455	1,152	498

【課題と今後の方針】

地域教育推進事業を持続的に発展させるためには地域と学校園の相互理解の促進と地域人材の発掘・育成が不可欠です。

そのため、地域コーディネーターの育成を目的とした研修の一層の充実等により、人材発掘・育成の更なる工夫や学校園関係者への理解の促進が必要です。

また、放課後子ども教室においては、各小学校区で活動日数に大きな差があるため、引き続き各教室への訪問計画を立て、活動状況の把握や活動日数の確保のための働きかけが必要です。

ただし、コロナ禍の中での活動となるため、活動日や活動内容を検討しながら進めていただく必要があります。こうした地域と学校園が連携・協働した活動を円滑に実施するため、適宜、活動に必要な情報提供や、SNS配信の充実といった広報活動の強化を図り、地域教育推進事業の持続的な発展を目指します。

	達成度	必要性	方向性
【担当課】 地域教育課	3	同水準	同水準

令和2年度の総合評価

【成果】

地域教育推進事業では、地域住民と学校園が連携・協働した様々な活動が、それぞれの地域の状況に応じて取り組まれており、地域全体で子どもを守り育てる仕組みづくりが進んでいます。令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため活動内容を屋外での活動に切り替えたり、ICTを活用したり、人数制限の実施、パーティションの設置、換気・消毒・検温の徹底等、児童生徒や地域の方の安全確保を第一に考えていただきながら、できる範囲での活動を行っていただきました。

【課題と今後の方針】

地域教育推進事業を持続的に発展させるためには、地域と学校園の相互理解の促進と発掘・育成が不可欠です。広報活動の強化やコーディネーターの育成を目的とした研修の増加等によって、本事業に関わる地域人材の裾野を広げ、持続的に発展できる体制づくりを進めます。

主な事業の達成度平均	$(3) \div 1 = 3$	判定	3
------------	------------------	----	---

[参考] 中長期の進捗状況

指標（単位）	平成28年度実績値	平成29年度実績値	平成30年度実績値	令和元年度実績値	令和2年度実績値	令和2年度目標値
会計担当者 設置校区数	12	12	14	15	15	21
放課後子ども教室 年間実施日数 (日/校区)	31	31	31	27	14	35

[参考] 総合計画実施計画における計画額及び予算・決算額（展開方向内事業の合計額：千円）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
計画額	21,057	20,899	20,828	20,202	85,174	
予算額	117,634	20,899	20,828	20,202	85,174	
決算額	20,745	94,304	20,345	19,110	67,583	

外部評価者（学識経験者）の意見

- 評価内容について特段指摘することはありません。引き続き、計画に基づいて事業を進めてください。

(3) 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務		
第4次総合計画	基本施策	2-02 青少年の健全育成
	施策	2-02-01 青少年の健全育成
	施策の目標	子どもたちが、生きるための基礎的な生活習慣や能力を培い、地域社会の中で心身ともに健やかにたくましく成長できるよう、家庭の教育力の充実を図るとともに、学校・家庭・地域が一体となって自らの役割や責任を自覚し、連携・協力して子どもたちの健全育成を目指します。 また、地域全体で子どもを育てる教育環境の整った地域コミュニティの活性化を目指し、地域の教育力の充実を図ります。
	展開方向	③ 青少年健全育成活動の推進
	具体的な取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ●青少年が健やかに成長できる体験の場所や機会を提供します。 ●青少年の健やかな成長を支援する青少年団体の自主的活動の支援とその指導助言を行います。 ●青少年の抱えるいろいろな問題について、相談体制の充実に努めます。 ●「社会を明るくする運動」等の活動を通して児童・生徒や市民に青少年健全育成の啓発を行います。 ●青少年の活力を広く地域活動に生かせるよう、学校・家庭・地域との連携に努めます。
奈良市教育振興基本計画の関連する領域	3-(3)いじめ対策・生徒指導、5-(3)安全・安心な環境づくり	
主な事業		令和2年度の実施状況
1	青少年野外体験施設の運営管理	<p>【成果】</p> <p>黒髪山キャンプフィールドと青少年野外活動センターにおいて、キャンプ活動や野外体験活動、レクリエーション活動等の学習の機会を提供しました。新型コロナウイルス感染症対策のため、両施設は4月10日から5月31日まで臨時休館しており、総利用者数は令和元年度に比べ減少しました。なお、開館後は新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、青少年野外活動センターでは、学校での野外活動が制限されてしまった奈良市の小学5年生を対象に、1泊2日の冒険教室を合計5回開催するなど施設の周囲の自然環境を生かした魅力的な事業展開に努めました。また、5月から11月まで、毎月1回実施している委託事業「くろかみやま自然塾」では、5月から7月の事業を中止し、定員を60名から25名へ変更して8月から合計4回実施しました。毎回定員を上回る応募があり、保護者アンケートでは「コロナ対策をしっかりとっているので安心」「子供たちが久しぶりに外で遊べて楽しそうだった」と好評を得ました。</p>

		【担当課】 地域教育課	達成度	必要性	方向性
			3	同水準	同水準
2	成人式	<p>【成果】</p> <p>「なら 100 年会館」が工事の関係で使用できないため、「奈良県コンベンションセンター」にて行い、約 2,200 人の出席がありました。新型コロナウイルス感染症対策として、二部制での開催、参加券を回収し座席や連絡先の把握、式典時間の短縮、大型扇風機と大型空気清浄機による換気、会場内の消毒等を行い、新成人に対しては手指の消毒、新型コロナウイルス接触アプリ(COCOA)の登録や式典後の飲み会・会食を行わないよう呼びかけを行いました。『これまでの人生を思い返し、新たな希望や夢を抱くきっかけとなる式典に！』をテーマとし、中学校時代(私立・国立含む)の恩師ら 36 人による祝福のメッセージ映像を上映しました。また、エンターテインメントグループ「よかろうもん」の皆様をゲストに迎え、新成人の生前から今日までの時の流れを振り返るヒットソングアカペラメドレーを披露していただきました。また、昨年に引き続き、奈良市公式 YouTube チャンネルにて生配信を行い、会場で参加できない方や保護者の方にもご覧いただけるようにしました。</p> <p>【課題と今後の方針】</p> <p>参加者の成人としての自覚と責任を促す機会となるよう、地域の方々から守り育てられたことを実感してもらうとともに、故郷「奈良市」を体感するための仕組みづくりが必要になっています。近年の社会情勢や生活の多様性から新成人が求めることが変わりつつあるため、新成人の意識の変化を見極めながら、記念事業が本来持つ意義を十分に発揮できるように企画立案し、運営します。</p>			
		【担当課】 地域教育課	3	同水準	同水準
3	青少年団体助成	<p>【成果】</p> <p>令和 2 年度は、ボーイスカウト、ガールスカウト、子ども会育成連絡協議会の 3 団体に対し 100 千円～300 千円の運営補助金を交付しました。このように社会的認知度が高く全市的に活動している青少年団体やその事業に補助金を交付することで、青少年が体験活動を通じて、意欲や関心、規範意識等に加え、豊かな人間性や社会性を身に付ける機会の提供を支援しました。</p> <p>【課題と今後の方針】</p> <p>指導者や役員等の高齢化が進んでおり、今後も引き続き担ってもらう</p>			

		<p>のが難しくなっています。そのため、次世代への代替わりが必要ですが、成り手が少なく後進の育成が困難となっています。また、少子化や電子メディアの普及の影響、クラブ活動や塾が優先される傾向等から各団体の構成員が減少しており、会費等の収入が減少し自主運営が難しくなっています。今後は、各団体からのヒアリングを実施し積極的な指導助言をしながら、ネットワーク化を図り相互連携できるような仕組みづくりを促します。</p>				
				達成度	必要性	方向性
		【担当課】 地域教育課		3	同水準	同水準
4	少年指導の推進	<p>【成果】</p> <p>令和2年度は、21 中学校区の少年指導協議会を中心として、校区内の巡回活動（延べ 305 回 1,616 人）、環境浄化活動及び相談活動を実施しましたが、コロナ禍の影響で十分な活動を行うことができませんでした。いじめ問題については、各学校のいじめ対応教員を中心に、未然防止と早期発見・迅速な対応に組織的に取り組みました。</p> <p>また、専門家による学校支援プロジェクト検討会議の開催（10 回）、指導主事や学校支援コーディネーターによる学校訪問（1,192 回）等、専門的な示唆に基づいた対応を図り、児童生徒の問題行動や学校が抱える生徒指導上の課題に対応することができました。</p> <p>なお、令和2年度より、いじめ対応支援員に代わり管理職経験者を中心とした学校支援コーディネーターを増員することで、全ての市立学校への訪問支援の強化を図りました。</p> <p>【課題と今後の方針】</p> <p>登下校時の見守り活動や校区内の巡回活動を実施する諸団体との連携を深めるとともに、諸団体の関係者を集めた研修会等を開催し、より実効性のある取組となるよう進めていきます。引き続き、専門家による学校支援プロジェクト検討会議や指導主事・学校支援コーディネーターによる学校訪問を実施するとともに、いじめや問題行動の未然防止と対応に関するより効果的な学校支援の展開をめざします。</p>				
		【担当課】		達成度	必要性	方向性
		いじめ防止生徒指導課		3	同水準	同水準

5	すこやかテレフォン事業	<p>【成果】</p> <p>専門知識と資格を有した相談員が年中無休で電話相談業務にあたっています。令和2年度の青少年やその保護者の電話相談は898件で、令和元年度と同程度の相談件数があり、学校の新型コロナウイルス感染拡大による臨時休業期間中には、「子どもと向き合い心が疲れる」「感染が不安」「外出や交流が無く、孤独が怖い」などの相談が多く寄せられましたが、相談者一人ひとりに寄り添い、真摯に話を聴くことで、子どもに関わる様々な問題を抱える家庭からの相談の受け皿として、その役割を十分果たすことができました。</p> <p>また、誰にも相談できない不安から、電話相談が複数回に渡る方に対しても、言葉の奥にある気持ちに丁寧に耳を傾けることで、少しでも不安をなくす手助けに繋げることができました。</p> <table border="1" data-bbox="512 768 1393 869"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談件数</td> <td>742</td> <td>892</td> <td>898</td> </tr> </tbody> </table> <p>【課題と今後の方針】</p> <p>昨今の青少年を取り巻く問題の複雑化やコロナ禍の中での社会不安から、年々相談内容は多様化しています。</p> <p>また、相談員についてもボランティアで負担も大きいことから希望者が少なく、高齢化も進んでおり、新たな相談の担い手やその育成が求められています。今後も事業の広報活動を拡充するとともに、相談員の重要性の周知を図り、相談体制を維持できるように支援していきます。</p> <table border="1" data-bbox="507 1301 1401 1391"> <thead> <tr> <th>【担当課】</th> <th>達成度</th> <th>必要性</th> <th>方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>いじめ防止生徒指導課</td> <td>3</td> <td>同水準</td> <td>同水準</td> </tr> </tbody> </table>		平成30年度	令和元年度	令和2年度	相談件数	742	892	898	【担当課】	達成度	必要性	方向性	いじめ防止生徒指導課	3	同水準	同水準
	平成30年度	令和元年度	令和2年度															
相談件数	742	892	898															
【担当課】	達成度	必要性	方向性															
いじめ防止生徒指導課	3	同水準	同水準															

令和2年度の総合評価

【成果】

コロナ禍による影響のため、例年通りの活動を行うことは難しかったですが、黒髪山キャンプフィールドと青少年野外活動センターにおいて、感染症対策を講じながら青少年向けの様々な野外体験活動の機会を提供することに加え、保護者への精神的なセーフティネットとして電話相談事業を継続実施しました。また、成人式では、生まれ育った奈良市の魅力や、自身の周りの環境を改めて思い起こす機会を提供し、これから新たな希望や覚悟を胸に、明るい将来を描こうと前に進む新成人を応援する式典を演出しました。

また、各学校でのいじめ対応教員を中心とした、いじめ問題への組織的対応が進む中、指導主事や学校支援コーディネーターによる学校訪問を行うことで、教職員のいじめに対する意識向上を図るとともに、対応が難しいいじめ事象や学校が抱える生徒指導上の課題に効果的に取り組むことができました。

【課題と今後の方針】

青少年の体験活動の機会を提供する青少年団体においては、各種団体の高齢化が進む中、情報社会に十分対応できていない現状があります。今後は、市民のニーズに対応できるよう体制を見直すとともに、青少年の教育・体験の機会となる取組について、市民の方々への広報のあり方を工夫し、青少年の健全育成とその機会の重要性を社会全体に広めていきます。

また、SNSやインターネット上のいじめ事象等、問題行動が複雑化、潜在化する中、引き続き指導主事による情報モラル研修やいじめ問題への対応研修を行っていきます。対応が難しい事象については、専門家による学校支援プロジェクト検討会議や専門家からの示唆を受ける機会を設けることで解決に向けての方法を探ります。そして、各学校への支援についても、引き続き指導主事や学校支援コーディネーターによる学校訪問を行っていく事で強化していきます。

主な事業の達成度平均	$(3 + 3 + 3 + 3 + 3) \div 5 = 3$	判定	3
------------	----------------------------------	----	---

[参考] 中長期の進捗状況

指標（単位）	平成28年度実績値	平成29年度実績値	平成30年度実績値	令和元年度実績値	令和2年度実績値	令和2年度目標値
市営青少年野外体験施設の利用者数（人）	12,279	12,497	11,888	10,881	4,495	12,200
各中学校区少年指導協議会の巡回指導活動回数（回）	1,090	917	992	967	305	1,200

[参考] 総合計画実施計画における計画額及び予算・決算額（展開方向内事業の合計額：千円）

	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	
計画額	46,801	60,417	65,761	59,116	75,546	
予算額	49,148	60,424	65,855	59,116	78,571	
決算額	48,305	58,598	61,040	58,064	73,645	

外部評価者（学識経験者）の意見

- 事業5「すこやかテレフォン事業」について、新型コロナウイルス感染症拡大による不安など、前年度までとは異なる相談内容にも、相談者一人ひとりに寄り添い対応されたと思います。今後も社会情勢に応じ相談内容が変化することが予想されますが、相談者に寄り添いながら事業を進めて下さい。

(3) 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務																		
第4次総合計画	基本施策	2-03 生涯学習																
	施策	2-03-01 生涯学習の推進																
	施策の目標	いつでも、どこでも、だれでも学べる学習環境の醸成と整備を促進するとともに、学びの成果が活力ある地域づくりにつながる生涯学習活動を推進します。																
	展開方向	① 生涯学習活動の推進																
	具体的な取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ●地域の課題解決に向けた学習活動を含め、市民の多様な学習に対応できる幅広い内容や人材の確保、機会の充実に努めます。 ●公民館自主グループの組織化を促進し、生涯学習指導者やボランティアの育成に努めます。 ●生涯学習に関する情報収集や調査研究に努め、地域の課題や潜在的なニーズを把握しながら学習情報の提供や学習相談に応じ、学習活動の支援に努めます。 ●地域コミュニティの活性化につながるような市民の学びや地域資源を生かせる場所や機会を提供します。 ●地域の教育力を高めるとともに、新しい公共の担い手として、市民がその力を地域で発揮できるよう公民館等での取組の充実に図ります。 ●生涯学習に係る様々な取組の充実に図るため、事業間の連携やネットワーク化を促進します。 																
奈良市教育振興基本計画の関連する領域																		
主な事業		令和2年度の実施状況																
1	奈良ひとまち大学事業	<p>【成果】</p> <p>市民の方々に様々な分野の講座を提供することにより、奈良の魅力を発信し、生涯学習の推進に寄与しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のために9講座が中止となり、実施した講座は26講座で、募集人数433人に対し、応募人数は1,700人でした。平成22年の開校以降、応募人数は延べ21,000人を超えました。3月には開校10周年記念特別授業「あつまれ、奈良 LOVERS!」を開催し、今後の事業展開につなげるための機会となりました。また、若年層の割合を増やすため、広報媒体であるSNSの種類を広げており、令和2年度は市役所通路での展示や新聞取材、10周年企画の特別インタビューブログ掲載などを通して、事業のPRに努めました。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 授業応募数(講座)</td> <td>32</td> <td>30</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>② 募集人員(人)</td> <td>536</td> <td>476</td> <td>433</td> </tr> <tr> <td>③ 応募人数(人)</td> <td>1,712</td> <td>1,078</td> <td>1,700</td> </tr> </tbody> </table>		平成30年度	令和元年度	令和2年度	① 授業応募数(講座)	32	30	26	② 募集人員(人)	536	476	433	③ 応募人数(人)	1,712	1,078	1,700
	平成30年度	令和元年度	令和2年度															
① 授業応募数(講座)	32	30	26															
② 募集人員(人)	536	476	433															
③ 応募人数(人)	1,712	1,078	1,700															

		④ 倍率 (倍)	3.2	2.3	3.9
		⑤ 若年層割合 (%)	31.2	29.6	35.4
		<p>【課題と今後の方針】</p> <p>今後は、プロモーションビデオやインスタグラムのサービスを活用し、広報活動・情報発信をさらに積極的に行います。また、市内の様々な店舗等に対して、フライヤーの設置や「学生特典の店」の充実などをめざして継続的に働きかけを行い、事業への理解と協力を広げていきます。</p>			
			達成度	必要性	方向性
		【担当課】 地域教育課	3	同水準	同水準
2	公民館運営管理事業	<p>【成果】</p> <p>生涯学習に対するニーズが多様化する中、生涯学習活動の拠点である公民館において、主催事業の開催と施設の貸館を実施しました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、4月からの約2ヶ月間は臨時休館となりました。利用制限を設けたうえで開館された後も、利用者の不安から活動の自粛傾向にあり、利用者数は大幅な減少となりました。主催事業では、コロナ禍での内容を模索しながら、参加者の満足度が高い講座を開催することができました。</p>			
			平成30年度	令和元年度	令和2年度
		①主催事業参加者数 (人)	68,145	59,327	26,389
		②貸館施設利用者数 (人)	489,700	479,213	245,649
		③公民館施設の利用者数 (人) 【①+②】	557,845	538,540	272,038
		④自主グループ登録数 (件)	1,687	1,741	1,697
		<p>【課題と今後の方針】</p> <p>コロナ禍では、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら、魅力的な公民館事業が提供できるような工夫が必要です。また、利用者の固定化が進んでいるため、主催事業においても新規参加者、特に若年層の参加拡大に向けて講座内容の見直しをする必要があります。今後はアフターコロナに向けて利用者の利便性向上と利用者の増加を図るため、各公民館にWi-Fi環境の整備を行うことや、職員のスキルアップと講座内容の充実を行うことで、新規利用並びに継続的な利用の促進に努めていきます。また、主催講座の受講生が講座終了後に自主グループとして学習を継続して行うように働きかけ、自主グループの育成を行います。</p>			
			達成度	必要性	方向性
		【担当課】 地域教育課	3	同水準	同水準

令和2年度の総合評価

【成果】

各事業を通して、市民の方々に様々な講座や施設の提供ができており、地域における生涯学習活動を推進しています。その他、幅広い年齢層に事業や施設を周知するためにチラシやホームページ等による広報を行っています。若年層を対象とした奈良ひとまち大学では、SNSの活用を広げながら、若年層の社会参加促進や生涯学習への意識を高める工夫をしています。

【課題と今後の方針】

公民館の利用方法や活動団体の紹介等、新規利用者の増加につながる工夫をしていくことが必要です。また、奈良ひとまち大学事業は、若年層向けの事業のため、若年層を引き付ける講座の企画や広報の手法を検討することが必要です。今後は、市民の生涯学習活動への意欲を高めるため、地域とのつながりを重要視し、地域課題やニーズに応じた講座を展開できるよう、新規及び継続的な参加・利用の促進に努めていきます。

主な事業の達成度平均	$(3+3) \div 2 = 3$	判定	3
------------	--------------------	----	---

[参考] 中長期の進捗状況

指標（単位）	平成28年度実績値	平成29年度実績値	平成30年度実績値	令和元年度実績値	令和2年度実績値	令和2年度目標値
公民館施設の利用者数（人）	591,696	610,304	557,845	538,540	272,038	650,000
公民館の自主グループ登録数（件）	1,725	1,715	1,687	1,741	1,697	1,800

[参考] 総合計画実施計画における計画額及び予算・決算額（展開方向内事業の合計額：千円）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
計画額	635,781	643,293	682,508	662,246	671,940	
予算額	635,781	643,293	682,508	662,328	690,864	
決算額	598,536	631,891	653,944	660,046	670,426	

外部評価者（学識経験者）の意見

- 評価内容について特段指摘することはありません。引き続き、計画に基づいて事業を進めてください。

(3) 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務							
第4次総合計画	基本施策	2-03 生涯学習					
	施策	2-03-01 生涯学習の推進					
	施策の目標	いつでも、どこでも、だれでも学べる学習環境の醸成と整備を促進するとともに、学びの成果が活力ある地域づくりにつながる生涯学習活動を推進します。					
	展開方向	② 生涯学習施設の整備・活性化					
	具体的な取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ●既存施設の有効活用を図り、利用者が公民館を快適に利用できるよう改修等の施設整備を行います。 ●利用者の安全・安心を確保するため、施設の耐震改修を行います。 					
奈良市教育振興基本計画の関連する領域							
主な事業		令和2年度の実施状況					
1	公民館施設改修事業	<p>【成果】</p> <p>地域における生涯学習活動の充実につなげるため、空調設備や非常用発電設備等の改修を行いました。</p> <p>【課題と今後の方針】</p> <p>施設の老朽化に伴い、室内に設置してある庁用備品（特に空調機）の劣化が進んでいます。厳しい財政状況の中、予算要求を行い、緊急性が高いものから優先順位を決め、順次整備を進めていきます。</p> <p>また、施設を利用する全ての人が利用しやすいユニバーサルデザインを基本とした施設整備を推進し、快適に公民館活動を実施できる環境を目指します。</p>					
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">達成度</th> <th style="width: 33%;">必要性</th> <th style="width: 33%;">方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">同水準</td> <td style="text-align: center;">同水準</td> </tr> </tbody> </table> <p>【担当課】 教育施設課</p>	達成度	必要性	方向性	3	同水準
達成度	必要性	方向性					
3	同水準	同水準					
2	公民館耐震改修事業	<p>【成果】</p> <p>厳しい財政状況下においては予算確保が難しく、年次計画に沿った耐震化未対応施設の耐震補強設計及び工事が実施できませんでした。</p> <p>【課題と今後の方針】</p> <p>耐震補強工事未実施の施設について、速やかに対応していく必要がありますが、厳しい財政状況のため耐震化を図ることが困難となっています。生涯学習活動の拠点として施設を安全・安心に利用いただくとともに、状況に応じて年次計画の変更を行いながら、着実に施設の耐震化を図っていきます。</p>					
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">達成度</th> <th style="width: 33%;">必要性</th> <th style="width: 33%;">方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">同水準</td> <td style="text-align: center;">同水準</td> </tr> </tbody> </table> <p>【担当課】 教育施設課</p>	達成度	必要性	方向性	1	同水準
達成度	必要性	方向性					
1	同水準	同水準					

令和2年度の総合評価

【成果】

公民館と分館の施設改修等の整備により、利用者が公民館を快適に利用し、地域における生涯学習活動を充実させることにつながっています。利用者が使いやすい環境にするため、空調設備や非常用発電設備等の改修を行いました。

また、避難所に指定された施設の耐震化改修は平成25年度に完了し、災害時の拠点施設としての安全性は確保できています。

【課題と今後の方針】

経年劣化により整備を要する箇所が増加していますが、厳しい財政状況の中、財政負担は大きく予算の確保が難しくなっています。

また、避難所に指定されていない施設についても、災害時の自主避難場所として活用できるように、年次計画に沿って耐震化改修を段階的に実施していく必要があります。

生涯学習活動の拠点として施設を快適かつ安全・安心に利用でき、生涯学習活動の充実が図れるように、交付金や補助金を積極的に活用するとともに、限られた予算の中で効率的な施設整備を図っていきます。

主な事業の達成度平均	$(3+1) \div 2 = 2$	判定	2
------------	--------------------	----	---

[参考] 中長期の進捗状況

指標（単位）	平成28年度実績値	平成29年度実績値	平成30年度実績値	令和元年度実績値	令和2年度実績値	令和2年度目標値

[参考] 総合計画実施計画における計画額及び予算・決算額（展開方向内事業の合計額：千円）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
計画額	21,000	23,600	46,000	18,500	57,000	
予算額	21,000	23,600	46,000	18,421	60,715	
決算額	19,260	21,901	23,286	24,858	49,131	

外部評価者（学識経験者）の意見

- 事業1「公民館施設改修事業」について緊急性の高い施設のリストを作成するなど、優先順位をつけ計画的に施設整備を進めて下さい。

(3) 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務		
第4次総合計画	基本施策	2-03 生涯学習
	施策	2-03-02 図書館の充実
	施策の目標	市民の情報センターとして、多様化する情報、変化するニーズに対応し、幅広い資料の収集、保存、提供に努めます。また、子ども読書活動の推進拠点として機能を充実し、全ての子どもたちが本を読む喜びを味わい、人間性豊かに育つ読書環境を創ることを目指します。
	展開方向	① 図書館の充実
	具体的な取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ●資料費の確保及び多角的な資料の収集を図ります。 ●専門的な職員の養成による図書館サービスの充実に努めます。 ●あらゆる市民の知的要求の満足を図ります。 ●市民の課題解決の支援を強化します。 ●地域、ボランティア、学校、園との連携・協力・協働による図書館活動の活性化を図ります。 ●電子書籍やウェブ図書館[*]の導入について調査研究を進めます。 ●市民ニーズに対応した図書と設備の充実及び休館日等運営体制の見直しを進めることにより、図書館利用者の拡大を図ります。 <p>[*]ウェブ図書館：電子書籍をインターネット経由で貸し出し、自宅のパソコン等で一定の期間本が読めるサービス</p>
奈良市教育振興基本計画の関連する領域	4-(3)図書館の充実	
主な事業	令和2年度の実施状況	
1	<p>図書館運営事業 (中央・西部・北部)</p> <p>【成果】 年度初めから、コロナ禍のため閲覧制限や臨時休館などの対応を行い、今までにない図書館運営となりました。臨時休館後は新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みつつ、予約本のみの受け渡し、椅子を撤去した形での閲覧室利用など市民の安全と利便性を検証しつつ開館をしました。 その後、非接触でも図書館利用ができるよう電子図書館の運用開始、自動返却装置・予約取り置きコーナーの設置や図書消毒用具の導入など各種感染対策を実施しました。また外出自粛が求められる中で、図書の郵送貸出しサービスも実施しました。近鉄大和西大寺駅自由通路に返却ポストを設置し、利便性の向上を図りました。</p> <p>【課題と今後の方針】 電子図書のコンテンツについては、DL 回数制限があるので、データが消えるものがあります。全ての利用者が利用できる環境にあるとは</p>	

	限らないため対策を検討する必要があります。新しい生活習慣が求められる時代に合わせた安全・安心な図書館を目指します。	達成度	必要性	方向性	
		【担当課】中央図書館	3	同水準	同水準

令和2年度の総合評価			
【成果】			
非接触型図書館の実現ができました。PC・スマホ等で予約し、受け取りは予約本取り置き棚を利用するなど貸出と返却が自動にできるようになりました。			
職員についても単純な貸出・返却業務が減り、より専門的業務に集中できる時間が増えました。電子図書館は24時間どこでも利用でき、時間や場所の制約を受けず、また郵送による貸し出しについても利用者からは好評でした。			
【課題と今後の方針】			
非接触型図書館・電子図書館ともに利用者がPC・スマホ等を利用できる環境にあることが前提であるため、そういった環境にない利用者に対する対応を考える必要があります。			
主な事業の達成度平均	(3) ÷ 1 = 3	判定	3

[参考] 中長期の進捗状況						
指標 (単位)	平成28年度 実績値	平成29年度 実績値	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値	令和2年度 実績値	令和2年度 目標値
図書資料貸出冊数 (冊)	1,135,470	1,153,378	1,156,386	1,123,813	1,084,063	1,180,500
図書資料人口一人 当たり貸出冊数 (冊)	3.16	3.22	3.25	3.16	3.06	3.88
図書資料貸出者数 (人)	379,298	366,228	370,088	359,004	324,205	400,000
図書館入館者数 (人)	583,726	665,047	667,461	647,123	436,837	570,000
[参考] 総合計画実施計画における計画額及び予算・決算額 (展開方向内事業の合計額：千円)						
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
計画額	203,718	227,277	203,950	194,958	217,600	
予算額	203,718	228,330	203,984	194,720	215,332	

決算額	187,063	213,998	196,898	188,722	194,010	
-----	---------	---------	---------	---------	---------	--

外部評価者（学識経験者）の意見						
<ul style="list-style-type: none"> ● 事業1「図書館運営事業（中央・西部・北部）」について、コロナ禍において電子書籍の導入など、非接触型図書館が実現できたこと、職員の単純業務が減少し、働き方改革が進んだことは素晴らしい成果であると思います。今後も計画に基づいて事業を進めて下さい。 						

(3) 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務								
第4次総合計画	基本施策	2-03 生涯学習						
	施策	2-03-02 図書館の充実						
	施策の目標	市民の情報センターとして、多様化する情報、変化するニーズに対応し、幅広い資料の収集、保存、提供に努めます。また、子ども読書活動の推進拠点として機能を充実し、全ての子どもたちが本を読む喜びを味わい、人間性豊かに育つ読書環境を創ることを目指します。						
	展開方向	② 子ども読書活動の推進						
	具体的な取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ●家庭・学校・地域等のあらゆる機会と場所において、子ども読書活動の推進に積極的に取り組みます。 ●子どもの読書活動に関わる環境の整備・充実に努めます。 ●子どもの読書活動に関する理解と啓発を図ります。 ●読書ボランティアを養成し、地域の活力を生かします。 						
奈良市教育振興基本計画の関連する領域	4-(3)図書館の充実							
主な事業	令和2年度の実施状況							
1	子ども読書活動推進事業（中央・西部・北部）	<p>【成果】</p> <p>子どもたちを対象にしたお話し会などの各種イベントは、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のためあまり実施できませんでした。しかしながら、感染拡大防止対策を講じた上で利用制限は行いながら各図書館を開館し、子どもたちの読書環境を維持することができました。司書派遣による学校図書館支援事業は、新型コロナウイルス感染症防止対策のため小中学校が休業措置となった期間を除き、司書13人で小中64校を回り、学校図書館の環境改善に努めました。</p> <p>【課題と今後の方針】</p> <p>紙媒体だけでなく電子図書が利用される時代となり、図書館においても電子図書の貸し出しを開始しています。今後、電子図書の利用者増大が見込まれる中で、児童向けの電子図書の充実が求められます。学年が上がるとともに読書離れが進む傾向があるので、図書館・学校・家庭や地域が連携して読書離れを防ぐ必要があります。</p>						
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>達成度</th> <th>必要性</th> <th>方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2</td> <td>同水準</td> <td>同水準</td> </tr> </tbody> </table>	達成度	必要性	方向性	2	同水準	同水準
達成度	必要性	方向性						
2	同水準	同水準						
	【担当課】中央図書館							

令和2年度の総合評価

【成果】

コロナ禍において、行事等の開催が中止され、また、臨時休館や利用制限はあったものの、子どもたちの読書環境を整えることで一定の利用状況を維持することができました。学校図書館への司書派遣や図書整備等については概ね順調でした。

【課題と今後の方針】

多くの情報媒体があり、読書の方法が紙媒体の本だけではない時代に移っていく中で、子どもたちに読書の喜び・楽しさをどのように伝えるかを地域や学校と連携して、より良い方策を考える必要があります

主な事業の達成度平均	(2) ÷ 1 = 2	判定	2
------------	-------------	----	---

[参考] 中長期の進捗状況

指標 (単位)	平成 28年度 実績値	平成 29年度 実績値	平成 30年度 実績値	令和 元年度 実績値	令和 2年度 実績値	令和 2年度 目標値
図書資料貸出冊数 (冊)	1,135,470	1,153,378	1,153,386	1,123,813	1,084,063	1,180,500
児童図書貸出冊数 (上記の内数) (冊)	521,328	511,350	501,872	474,847	466,318	542,000
児童書児童一人当 たり貸出冊数(冊)	14.50	12.24	12.18	11.64	11.67	15.2
図書資料貸出児童 数(人)	67,329	72,483	65,426	70,989	103,735	70,000

[参考] 総合計画実施計画における計画額及び予算・決算額 (展開方向内事業の合計額: 千円)

	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	
計画額	—	—	—	—	—	
予算額	—	—	—	—	—	
決算額	—	—	—	—	—	

※計画額及び予算・決算額については評価シート22に含む。

外部評価者(学識経験者)の意見

- 評価内容について特段指摘することはありません。引き続き、計画に基づいて事業を進めてください。

(3) 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務									
第4次総合計画	基本施策	2-03 生涯学習							
	施策	2-03-02 図書館の充実							
	施策の目標	市民の情報センターとして、多様化する情報、変化するニーズに対応し、幅広い資料の収集、保存、提供に努めます。また、子ども読書活動の推進拠点として機能を充実し、全ての子どもたちが本を読む喜びを味わい、人間性豊かに育つ読書環境を創ることを目指します。							
	展開方向	③ 自動車文庫（移動図書館）の充実							
	具体的な取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ●市内の様々な地域での読書活動の推進を図ります。 ●あらゆる市民が居住環境にかかわらず読書機会を得られるよう努めます。 							
奈良市教育振興基本計画の関連する領域	4-(3)図書館の充実								
主な事業		令和2年度の実施状況							
1	移動図書館事業	<p>【成果】</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、年度当初は運休を余儀なくされました。しかし、各基地の世話人の協力により、順調に運営でき、図書館から離れた地域へのサービスを提供することができました。</p> <p>【課題と今後の方針】</p> <p>基地によっては世話人の高齢化や利用者の固定化があります。また真夏・真冬は利用者にとっても厳しい環境の基地もあり、より快適で安心な利用、新しい利用者が増えるような改善を考える必要があります。</p>							
		【担当課】 中央図書館	<table border="1"> <thead> <tr> <th>達成度</th> <th>必要性</th> <th>方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2</td> <td>同水準</td> <td>同水準</td> </tr> </tbody> </table>	達成度	必要性	方向性	2	同水準	同水準
達成度	必要性	方向性							
2	同水準	同水準							

令和2年度の総合評価			
<p>【成果】</p> <p>20基地を延べ216回、巡回しました。基地ごとに合わせた資料の積み込みを心掛け、バスの装飾や排架も考え、移動図書利用者に楽しんでもらえるように努めました。</p> <p>【課題と今後の方針】</p> <p>基地によっては利用者が少ない場所や利用者がシニア層へ偏る傾向にあります。</p>			
主な事業の達成度平均	(2) ÷ 1 = 2	判定	2

[参考] 中長期の進捗状況						
指標 (単位)	平成 28年度 実績値	平成 29年度 実績値	平成 30年度 実績値	令和 元年度 実績値	令和 2年度 実績値	令和 2年度 目標値
図書資料貸出者数 (人)	8,655	9,567	9,030	7,445	5,609	9,400
図書資料貸出冊数 (冊) (自動車文庫のみ)	35,537	38,210	36,088	30,967	24,060	39,200

[参考] 総合計画実施計画における計画額及び予算・決算額 (展開方向内事業の合計額：千円)

	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	
計画額	1,596	4,589	5,273	5,859	5,540	
予算額	1,596	4,536	5,224	5,634	4,917	
決算額	1,533	3,581	4,929	5,487	4,459	

外部評価者 (学識経験者) の意見

- 評価内容について特段指摘することはありません。引き続き、計画に基づいて事業を進めてください。

(3) 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務									
第4次総合計画	基本施策	2-03 生涯学習							
	施策	2-03-02 図書館の充実							
	施策の目標	市民の情報センターとして、多様化する情報、変化するニーズに対応し、幅広い資料の収集、保存、提供に努めます。また、子ども読書活動の推進拠点として機能を充実し、全ての子どもたちが本を読む喜びを味わい、人間性豊かに育つ読書環境を創ることを目指します。							
	展開方向	④ 貸出文庫の充実							
	具体的な取組の方向性	●地域の子ども文庫、学校・園等の文庫活動の充実を図ります。							
奈良市教育振興基本計画の関連する領域		4-(3)図書館の充実							
主な事業		令和2年度の実施状況							
1	図書館貸出文庫事業（中央・西部）	<p>【成果】 年度当初は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、貸出文庫活動はできませんでした。 その後事態が落ち着いてきましたので、各文庫が子どもにとってかけがえのない読書環境を提供できるための支援として保育園・こども園（14園）、バンビホーム（14施設）、公民館その他（4館）、合計32団体、西部図書館では保幼こども園（9園）、小学校（1校）、子ども会・地域（5団体）合計15団体で貸出文庫活動を実施しました。</p> <p>【課題と今後の方針】 人とのふれあいが希薄になりつつある時代の中、子どもの居場所・人とふれあえる場所として、文庫の果たす役割は大事なものと考えます。コロナの感染に注意しつつ、地域では文庫活動の高齢化もありますが、新たな時代の文庫活動を支援していきます。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>達成度</th> <th>必要性</th> <th>方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2</td> <td>同水準</td> <td>同水準</td> </tr> </tbody> </table>	達成度	必要性	方向性	2	同水準	同水準
達成度	必要性	方向性							
2	同水準	同水準							
		【担当課】 中央図書館							

令和2年度の総合評価	
【成果】	子どもの居場所・子どもと一緒に本を楽しむ場所・人とのつながりなど文庫活動の意義を大切にしながら支援を続けました。
【課題と今後の方針】	地域での文庫活動については個人の力に頼ることが多いのですが、日本社会の高齢化、後継

者不足などによりその運営が厳しくなる傾向にあります。

今後は他の公共施設と連携を取りながら活動を継続することで、読書を通じて子どもの成長を見守り、子どもと一緒に本を楽しむ環境づくりに努めます。

主な事業の達成度平均	(2) ÷ 1 = 2	判定	2
------------	-------------	----	---

[参考] 中長期の進捗状況						
指標 (単位)	平成 28年度 実績値	平成 29年度 実績値	平成 30年度 実績値	令和 元年度 実績値	令和 2年度 実績値	令和 2年度 目標値
図書資料貸出冊数 (冊)	1,135,470	1,153,378	1,156,386	1,123,813	1,084,063	1,180,500
児童図書貸出冊数 (冊)	521,328	511,350	501,872	474,847	466,318	542,000
[参考] 総合計画実施計画における計画額及び予算・決算額 (展開方向内事業の合計額: 千円)						
	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	
計画額	601	592	585	585	585	
予算額	601	592	600	585	588	
決算額	588	592	600	585	587	

外部評価者 (学識経験者) の意見	
●	評価内容について特段指摘することはありません。引き続き、計画に基づいて事業を進めてください。

(3) 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務										
第 4 次 綜 合 計 画	基本施策	2-04 文化遺産の保護と継承								
	施策	2-04-01 文化遺産の保存と活用								
	施策の目標	文化財の適切な保存を図ることにより、本市の貴重な文化遺産を次世代に継承します。また、文化財を積極的に活用することにより、市民文化の向上に寄与します。								
	展開方向	① 文化財の保護・啓発								
	具体的な取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ●奈良市指定文化財への指定など文化財の指定や登録を促進し、失われる可能性のある価値の高い文化財の保護を図ります。 ●文化財修理・管理・後継者育成事業の充実を図ります。 ●市民が奈良の歴史文化を知る機会となる文化財活用普及事業の充実を図ります。 ●関係機関との連携により、文化財資料のデジタル化など情報発信の充実を図ります。 ●文化財保護に携わるボランティア・市民活動などとの連携を促進します。 ●市民に発掘調査の成果を還元するため、現地説明会や公開展示を実施するなど、学習活用を図ります。 								
奈良市教育振興基本計画の関連する領域										
主な事業		令和2年度の実施状況								
1	文化財調査・指定事業	<p>【成果】</p> <p>近世近代建造物、庭園等の調査を実施し、今後の指定等、文化財保護の基礎資料を充実させました。また、こうした調査成果に基づき、市指定文化財として2件を新たに指定しました。また、国宝1件、重要文化財3件、県指定文化財1件が指定され、登録有形文化財10件が登録されました。(指定解除等により全件数としては14増)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>指定・登録等文化財件数</td> <td>1,272</td> <td>1,273</td> <td>1,287</td> </tr> </tbody> </table> <p>【課題と今後の方針】</p> <p>近世以降の文化財等、未調査あるいは調査不十分な分野が残されています。</p> <p>今後も、文化財指定等を考慮した詳細な調査事業を実施する必要があり、その一環として近世近代建造物調査、都祁地域美術工芸品調査、庭園調査等の諸事業を継続して実施します。また調査成果を踏まえて着実に文化財指定等を進めます。</p>		平成30年度	令和元年度	令和2年度	指定・登録等文化財件数	1,272	1,273	1,287
	平成30年度	令和元年度	令和2年度							
指定・登録等文化財件数	1,272	1,273	1,287							

			達成度	必要性	方向性
		【担当課】文化財課	3	同水準	同水準
2	指定文化財補助事業	<p>【成果】</p> <p>国・県・市指定文化財の修理・維持管理事業 68 件、民俗芸能・伝統技術の後継者育成事業や文化財保護活動を行う団体 9 件の活動に対して補助金交付を行い（補助額 86,652 千円）、各事業とも適切に実施され、令和元年度までに実施したものと合わせて、さらに文化財保護の成果を上げることができました。</p> <p>【課題と今後の方針】</p> <p>修理や防災設備の設置が必要な文化財は数多くあり、また今後も指定文化財は増加していくことから、文化財としての価値を損なわないための修理等の保存事業も増加し、それに伴い多額の費用を要することが予想されることから、本事業を拡充する必要があります。</p> <p>破損、劣化等の状態により優先順位を考慮して、計画的に事業を遂行するとともに、災害等による不測の文化財被害にも速やかな対策・対応を行えるよう努めていきます。</p>			
			達成度	必要性	方向性
		【担当課】文化財課	3	増加	拡充

3	文化財普及啓発事業	<p>【成果】</p> <p>文化財講座、文化財めぐり、庭園めぐり合わせて13回の実施を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、文化財講座のみ例年より回数と規模を縮小して実施しました。小学生と保護者を対象に1回（受講者5人、応募6人）、対象を限定せずに1回（受講者150人、応募395人）開催し、前者は他団体との共催としました。また、県の補助金を活用して文化財説明板を5基設置しました（平成19年度からの継続事業、計69基、多言語対応）。文化財の修理現場の様子など、ツイッターによる情報発信にも努めました。</p> <p>【課題と今後の方針】</p> <p>従来文化財講座は、応募者多数で、アンケート結果によると各回とも好評を得ており、今後の開催希望も寄せられていました。今後、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、多くの市民が参加でき、幅広い分野の文化財の普及啓発を推進する方法を検討する必要があると考えます。若年層を含め幅広い層からの参加が得られるよう、魅力的な企画・情報手段の充実、他の機関や市民との協働等を進め、従来の方法にとらわれず、更なる事業の充実を図ります。</p> <p>また、説明板が設置されていない文化財が多いため、国や県の補助事業を活用した設置促進も検討しながら、順次設置を進めます。</p> <table border="1" data-bbox="853 1151 1390 1249"> <thead> <tr> <th data-bbox="853 1151 1007 1200">達成度</th> <th data-bbox="1007 1151 1195 1200">必要性</th> <th data-bbox="1195 1151 1390 1200">方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="853 1200 1007 1249">1</td> <td data-bbox="1007 1200 1195 1249">同水準</td> <td data-bbox="1195 1200 1390 1249">同水準</td> </tr> </tbody> </table> <p>【担当課】 文化財課</p>	達成度	必要性	方向性	1	同水準	同水準
達成度	必要性	方向性						
1	同水準	同水準						
4	埋蔵文化財保存保管事業	<p>【成果】</p> <p>令和2年度出土遺物（239箱）の洗浄を終了し、出土遺物台帳を作成しました。</p> <p>発掘調査記録の保存・保管のため、令和2年度分の遺跡発掘調査記録写真9件、図面9件、試掘調査14件及び立会日誌124件の整理表を作成しました。</p> <p>出土文化財の保存のため、平城京跡出土の刀子・銅鈴等、金属製品10点の保存処理をしました（国・県の補助事業）。</p> <p>【課題と今後の方針】</p> <p>遺物の収納場所がなくなりつつあり、効率的収納にも限界があるため、新たな収蔵施設の確保に向けて検討していく必要があります。</p> <p>また、記録資料を公開し活用するための基礎データとなる整理表を年度毎に作成します。なお、記録写真のデジタル化が社会的に進んでおり、撮影機器とデータ保存環境の整備を促進していく必要があります。</p>						

		【担当課】文化財課 (埋蔵文化財調査センター)	<table border="1"> <tr> <th>達成度</th> <th>必要性</th> <th>方向性</th> </tr> <tr> <td>3</td> <td>増加</td> <td>拡充</td> </tr> </table>	達成度	必要性	方向性	3	増加	拡充						
達成度	必要性	方向性													
3	増加	拡充													
5	埋蔵文化財公開活用事業	【成果】 発掘調査速報展示、特別展示、地元対象の富雄丸山古墳発掘調査体験を実施し、ポスター・チラシによる広報とホームページ・ツイッターで各事業の情報発信を行いました。なお、例年実施してきた埋蔵文化財講演会、埋蔵文化財報告会、親子考古学体験、一般対象の富雄丸山古墳発掘調査体験については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。 発掘調査現地説明会は、新型コロナウイルス感染防止対策のために現地公開に限定して3件実施しました。特にウワナベ古墳（陵墓参考地）では宮内庁・県・市の3者で初めて同時に調査公開を実施し、大きな話題となりました。 富雄丸山古墳とウワナベ古墳の発掘調査については、動画を作成してYouTubeの奈良市動画チャンネルで配信しています。 博物館等への展示資料として博物館等3館へ15点の貸出しを行い、大学との連携事業として奈良大学考古学実習（全30回）業務を受託し、講師として4人の職員を派遣しました。 令和2年度の市民考古学講座は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しましたが、令和元年度の修了者から協働関係にある市民考古サポーターへの新規参加がありました。市民考古サポーターの参画支援を得て、発掘調査出土遺物の整理や展示公開業務等を行いました。	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>考古サポーター登録者数（人）</td> <td>108</td> <td>108</td> <td>114</td> </tr> <tr> <td>サポーターの活動人員数（回）</td> <td>2,188</td> <td>1,324</td> <td>931</td> </tr> </tbody> </table>		平成30年度	令和元年度	令和2年度	考古サポーター登録者数（人）	108	108	114	サポーターの活動人員数（回）	2,188	1,324	931
	平成30年度	令和元年度	令和2年度												
考古サポーター登録者数（人）	108	108	114												
サポーターの活動人員数（回）	2,188	1,324	931												
		【課題と今後の方針】 実施した各事業とも好評を得ており、特に特別展示は期間中に過去最高の入館者数を記録しました。今後も市内外へ各事業の魅力と情報発信を高めるように務めていきます。 市民考古サポーター制度を始めて10年以上が経ち、初期の登録者の高齢化が進んでいますが、新規登録者も増加していて安定した活動が行われています。こうしたことを背景に、サポーターによる埋蔵文化財諸事業への支援活動の範囲は徐々に広がりを見せています。一方、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策として、令和2年度は4月から6月にかけての活動を中止し、7月からの活動でも3密を防止するため、活動人数を制限したため、活動人員数は減少しました。今後も													

	<p>新型コロナウイルス感染拡大に注意を払いながら、サポーターとの適切な協働関係を継続しつつ、文化財の公開活用と保護活動の充実を図っていきます。</p> <p>【担当課】文化財課 (埋蔵文化財調査センター)</p>	達成度	必要性	方向性
		3	同水準	同水準

令和2年度の総合評価			
<p>【成果】</p> <p>文化財の保護に関する事業については、指定文化財の増加や基礎資料の充実に着実な成果を上げました。公開活用事業においては、新型コロナウイルス感染症対策のため、実施回数や参加人数を縮小して実施しました。</p> <p>【課題と今後の方針】</p> <p>文化財の保存修理は緊急性のあるものや、相当の期間を必要とするもの等があり、事業に応じた補助経費を確保することが重要な課題です。市民参加の啓発事業では、新型コロナウイルス感染症への対策を図りながら、幅広い層からの参加が得られるよう、魅力的な事業を実施していくことが課題です。また、企画事業の情報発信についても、より効果的に行っていく必要があります。</p>			
主な事業の達成度平均	$(3+3+1+3+3) \div 5 = 2.6$	判定	3

[参考] 中長期の進捗状況						
指標 (単位)	平成28年度 実績値	平成29年度 実績値	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値	令和2年度 実績値	令和2年度 目標値
指定・登録等文化財の件数 (件)	1,254	1,261	1,272	1,273	1,287	1,250
市民考古サポーターの活動人数	2,188	2,258	2,188	1,324	931	2,000
[参考] 総合計画実施計画における計画額及び予算・決算額 (展開方向内事業の合計額：千円)						
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
計画額	87,961	86,918	108,093	101,973	100,287	
予算額	87,961	87,201	108,932	111,060	114,065	
決算額	77,867	82,158	101,674	97,605	106,097	

外部評価者（学識経験者）の意見

- 事業5「埋蔵文化財公開活用事業」について、現地公開については、新型コロナウイルス感染防止の観点から制限されますが、動画で配信することによって若者や世界からも関心を集めることができると考えます。引き続き、情報発信に努めてください。

(3) 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務											
第4次総合計画	基本施策	2-04 文化遺産の保護と継承									
	施策	2-04-01 文化遺産の保存と活用									
	施策の目標	文化財の適切な保存を図ることにより、本市の貴重な文化遺産を次世代に継承します。また、文化財を積極的に活用することにより、市民文化の向上に寄与します。									
	展開方向	② 発掘調査と史跡の保存整備									
	具体的な取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ● 質の高い効率的な発掘調査を実施して、開発で破壊されかねない埋蔵文化財の保護を図ります。 ● 史跡・名勝（大安寺旧境内・平城京左京三条二坊宮跡庭園・朱雀大路）の公有地化と保存整備を促進し、整備後の適切な管理と活用を行います。 									
奈良市教育振興基本計画の関連する領域											
主な事業		令和2年度の実施状況									
1	埋蔵文化財発掘調査事業	<p>【成果】</p> <p>公共事業に伴う発掘調査4件、個人住宅を含む民間開発の発掘調査3件（うち1件が国・県補助事業）、富雄丸山古墳の確認調査1件、ウワナベ古墳の確認調査1件、試掘調査14件、遺跡有無確認踏査3件を実施しました。</p> <p>発掘調査現地説明会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のために現場の見学公開に限定して3件実施しました。</p> <p>平成30年度実施の発掘調査で出土した遺物と発掘調査記録の整理を行い、その成果を取りまとめた年報を刊行しました。</p> <p>【課題と今後の方針】</p> <p>発掘届出件数及び調査の必要件数はほぼ変わらないものの大規模調査が平成29年度から増えています。職員の減員による人手不足で円滑な事業の実施に支障が出始めており、適切な人員配置及び学芸員（発掘調査）の採用が必要です。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">【担当課】文化財課 (埋蔵文化財調査センター)</td> <td style="width: 16.6%;">達成度</td> <td style="width: 16.6%;">必要性</td> <td style="width: 16.6%;">方向性</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3</td> <td>増加</td> <td>同水準</td> </tr> </table>		【担当課】 文化財課 (埋蔵文化財調査センター)	達成度	必要性	方向性		3	増加	同水準
【担当課】 文化財課 (埋蔵文化財調査センター)	達成度	必要性	方向性								
	3	増加	同水準								
2	埋蔵文化財公開活用事業 【シート26主な事業5再掲】	<p>【成果】</p> <p>発掘調査速報展示、特別展示、地元対象の富雄丸山古墳発掘調査体験を実施し、ポスター・チラシによる広報とホームページ・ツイッターで各事業の情報発信を行いました。なお、例年実施してきた埋蔵文化財講演会、埋蔵文化財報告会、親子考古学体験、一般対象の富雄丸山古墳発掘調査体験については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。</p>									

発掘調査現地説明会は、新型コロナウイルス感染防止対策のために現地公開に限定して3件実施しました。特にウワナベ古墳（陵墓参考地）では宮内庁・県・市の3者で初めて同時に調査公開を実施し、大きな話題となりました。

博物館等への展示資料として博物館等3館へ15点の貸出しを行い、大学との連携事業として奈良大学考古学実習（全30回）業務を受託し、講師として4人の職員を派遣しました。

令和2年度の市民考古学講座は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しましたが、令和元年度の修了者から協働関係にある市民考古サポーターへの新規参加がありました。市民考古サポーターの参画支援を得て、発掘調査出土遺物の整理や展示公開業務等を行いました。

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
考古サポーター登録者数（人）	108	108	114
サポーターの活動人員数（回）	2,188	1,324	931

【課題と今後の方針】

実施した各事業とも好評を得ており、特に特別展示は期間中に過去最高の入館者数を記録しました。今後も市内外へ各事業の魅力と情報発信を高めるように務めていきます。

市民考古サポーター制度を始めて10年以上が経ち、初期の登録者の高齢化が進んでいますが、新規登録者も増加していて安定した活動が行われています。こうしたことを背景に、サポーターによる埋蔵文化財諸事業への支援活動の範囲は徐々に広がりを見せています。一方、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策として、令和2年度は4月から6月にかけての活動を中止し、7月からの活動でも3密を防止するため、活動人数を制限したため、活動人員数は減少しました。今後も新型コロナウイルス感染拡大に注意を払いながら、サポーターとの適切な協働関係を継続しつつ、文化財の公開活用と保護活動の充実を図っていきます。

【担当課】文化財課

（埋蔵文化財調査センター）

達成度	必要性	方向性
3	同水準	同水準

3	特別史跡・特別名勝平城京左京三条二坊宮跡庭園保存整備事業	<p>【成果】</p> <p>令和2年度事業として、QRコードを利用した多言語解説板の整備、復原建物入口扉の鍵の設置、葷戸置き場の設置等の工事を行いました。令和2年度作成する予定であった整備事業報告書はコロナウイルス感染拡大による委託先の業務体制や委員会が開催できなかったこと等の影響から令和3年度に繰り越して作成することとしました（本事業は国・県の補助を得て実施）。日々の見学の他、民間事業者による結婚式のPR撮影、前撮り撮影や商品PRのための撮影、奈良県菊花連盟・奈良市による菊花大会の開催、民間有志による「梅花の宴」の再現など活用面も促進し、新型コロナウイルスの感染拡大の影響から4月中旬から5月末まで一時閉園しましたが、過去最高の6,000人を超える方々の来園がありました。</p> <p>【課題と今後の方針】</p> <p>平成19年度から実施してきた修復整備事業はこれで終了となります。今後は、本施設が国の特別史跡・特別名勝に指定された庭園であることから、その価値が維持できるよう確かな技術や知識をもつ事業者に維持管理を行ってもらうこと、また、保存活用計画を策定し、活用を促進していくために必要な設備や環境を整えていくことが必要となります。</p> <table border="1" data-bbox="871 1151 1390 1249"> <thead> <tr> <th>達成度</th> <th>必要性</th> <th>方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td> <td>縮小</td> <td>縮小</td> </tr> </tbody> </table> <p>【担当課】 文化財課</p>	達成度	必要性	方向性	3	縮小	縮小
達成度	必要性	方向性						
3	縮小	縮小						
4	史跡大安寺旧境内保存整備事業	<p>【成果】</p> <p>史跡大安寺旧境内周辺ではJR新駅や京奈和道奈良ICの設置が計画されていることもあり、令和2年度は、六条大路の整備事業に関して関係各課との調整や県の八条・大安寺周辺地区を中心に計画されているAIタウン特別検討会に参加し、今後の史跡整備とまちづくりとの関係について検討を行いました。また、六条大路の整備に係る用地（1,738.87㎡）を公有化しました。</p> <p>【課題と今後の方針】</p> <p>六条大路の整備を進めていくため、これまで行ってきた塔院地区の整備報告書をまとめる必要があり、令和3年度はその報告書を作成するとともに、多言語解説板の設置を予定しています。作成にあたっては奈良市文化財保護審議会史跡名勝天然記念物保存活用部会の指導・助言を得て行います。また、今後のまちづくりともかかわり新駅や新ICの設置に伴い交通量の増加が想定される六条大路（市道第118号線と重複している）の整備を優先的に行う必要があり、そのための準備を</p>						

	進めていきます。			
		達成度	必要性	方向性
	【担当課】文化財課	3	同水準	同水準

令和2年度の総合評価			
【成果】 新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けましたが、感染対策をとりながら、可能な範囲で活用を図れました。史跡保存用地の公有化についても計画通り実施しました。			
【課題と今後の方針】 史跡の保存、活用については積極的に行っていくことが求められており、それに対応した整備事業を進めていく必要があります。まちづくりや地域活動の中に史跡や埋蔵文化財をどう位置付けていくかがこれからの重要な課題となり、その方策について検討を進めていきます。			
主な事業の達成度平均	$(3+3+3+3) \div 4 = 3$	判定	3

[参考] 中長期の進捗状況						
指標 (単位)	平成28年度実績値	平成29年度実績値	平成30年度実績値	令和元年度実績値	令和2年度実績値	令和2年度目標値
史跡の保存整備事業の進捗率 (公有化率) (%)	61.8	66.4	66.4	68.7	69.6	70
埋蔵文化財発掘調査達成率 (%)	100	100	100	100	100	100
[参考] 総合計画実施計画における計画額及び予算・決算額 (展開方向内事業の合計額: 千円)						
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
計画額	200,773	188,486	165,520	209,747	147,928	
予算額	200,773	188,051	164,681	209,739	146,944	
決算額	137,686	129,751	131,851	182,376	100,985	

※埋蔵文化財公開活用事業の計画額及び予算・決算額については評価シート26に含む。

外部評価者 (学識経験者) の意見
<ul style="list-style-type: none"> ● 事業2「埋蔵文化財公開活用事業」について、現地公開については、新型コロナウイルス感染防止の観点から制限されますが、動画で配信することによって若者や世界からも関心を集めることができると考えます。引き続き、情報発信に努めてください。

(3) 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務											
第4次総合計画	基本施策	2-04 文化遺産の保護と継承									
	施策	2-04-01 文化遺産の保存と活用									
	施策の目標	文化財の適切な保存を図ることにより、本市の貴重な文化遺産を次世代に継承します。また、文化財を積極的に活用することにより、市民文化の向上に寄与します。									
	展開方向	③ 文化財保存・展示施設の整備									
	具体的な取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ● 史料保存館など文化財保存公開施設の充実を図ります。 ● 出土文化財の適切な保護のため収納保管施設の充実を図ります。 									
奈良市教育振興基本計画の関連する領域											
主な事業		令和2年度の実施状況									
1	史料保存館管理運営事業	<p>【成果】</p> <p>保管する史資料の保存・活用のための調査、整理を進めるとともに、①企画展示4回、②特別陳列（ならまち歳時記）11回、③館蔵史料特別公開（映画館「尾花座」史料展示など）5回、④出張展示3回、⑤解説ガイド付きツアー1回、⑥奈良町歴史ミニ講座6回、⑦2020ならまちわらべうたフェスタウェブ参加を実施しました。年間入場者は14,798人、出張展示見学者はのべ291人、解説付きガイドツアー参加者は27人でした。なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月10日～5月31日は休館し、その後も入館人数の制限を実施、特別陳列・館蔵史料特別公開各1回、奈良町歴史ミニ講座3回、出張展示1回、ガイドツアー3回、古文書入門講連続2回は中止しました。しかし令和元年度よりも展示史料を増やしたり、対面講座をポスターセッションに変更するなどして事業の充実を図り、安定した事業運営を行いました。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>年間入場者数(人)</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">37,459</td> <td style="text-align: center;">35,282</td> <td style="text-align: center;">14,798</td> </tr> </tbody> </table> <p>【課題と今後の方針】</p> <p>新型コロナウイルス対応の影響により、入館者数は令和元年度を下回りましたが、奈良町の歴史情報発信、地域の文化財保存の拠点としての役割と必要性は変わらないものと考えます。地元史料の保存と活用の充実を図ることが今後も重要で、そのため地域に密着した事業運営を続けることが必要です。事業を安定的に継続するとともに、更に地域との連携を密接にした事業を拡充させるよう、周辺施設、関係団体等との協力を進めて、より一層の業務の充実を図ります。</p>		年間入場者数(人)	平成30年度	令和元年度	令和2年度		37,459	35,282	14,798
年間入場者数(人)	平成30年度	令和元年度	令和2年度								
	37,459	35,282	14,798								

			達成度	必要性	方向性
		【担当課】文化財課	3	同水準	同水準
2	埋蔵文化財保存 保管事業 【シート26主 な事業4再掲】	<p>【成果】 令和2年度出土遺物（239箱）の洗浄を終了し、出土遺物台帳を作成しました。 発掘調査記録の保存・保管のため、令和2年度分の遺跡発掘調査記録写真9件、図面9件、試掘調査14件及び立会日誌124件の整理表を作成しました。 出土文化財の保存のため、平城京跡出土の刀子・銅鈴等、金属製品10点の保存処理をしました（国・県の補助事業）。</p> <p>【課題と今後の方針】 遺物の収納場所がなくなりつつあり、効率的収納にも限界があるため、新たな収蔵施設の確保に向けて検討していく必要があります。 また、記録資料を公開し活用するための基礎データとなる整理表を年度毎に作成します。なお、記録写真のデジタル化が社会的に進んでおり、撮影機器とデータ保存環境の整備を促進していく必要があります。</p> <p>【担当課】文化財課 (埋蔵文化財調査センター)</p>	達成度	必要性	方向性
			3	増加	拡充

令和2年度の総合評価			
<p>【成果】 史料保存館の運営については、やむをえず中止した事業のほかは、計画に沿って事業を着実に実施することができました。埋蔵文化財の保管及び保存処理についても概ね計画通り実施できました。</p> <p>【課題と今後の方針】 史料保存館は地域に密着した事業運営を促進するため、奈良町を中心とした歴史資料の保存・レファレンス機能を継続して充実させることが一つの課題です。埋蔵文化財調査センター、史料保存館とも所蔵資料をより有効に活用していくため、史料や調査の基礎データのデジタル化を進めます。</p>			
主な事業の達成度平均	$(3+3) \div 2 = 3$	判定	3

[参考] 中長期の進捗状況						
指標（単位）	平成 28年度 実績値	平成 29年度 実績値	平成 30年度 実績値	令和 元年度 実績値	令和 2年度 実績値	令和 2年度 目標値
[参考] 総合計画実施計画における計画額及び予算・決算額（展開方向内事業の合計額：千円）						
	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	
計画額	11,875	9,935	9,901	9,585	9,792	
予算額	11,875	9,935	9,901	9,585	9,792	
決算額	9,929	9,571	9,549	9,353	9,405	

※埋蔵文化財保存保管事業の計画額及び予算・決算額については評価シート26に含む。

外部評価者（学識経験者）の意見
<ul style="list-style-type: none"> ● 評価内容について特段指摘することはありません。引き続き、計画に基づいて事業を進めてください。

(3) 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務		
第4次総合計画	基本施策	2-04 文化遺産の保護と継承
	施策	2-04-01 文化遺産の保存と活用
	施策の目標	文化財の適切な保存を図ることにより、本市の貴重な文化遺産を次世代に継承します。また、文化財を積極的に活用することにより、市民文化の向上に寄与します。
	展開方向	④ 世界遺産など文化遺産の保護・啓発
	具体的な取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ●公益財団法人ユネスコ・アジア文化センターなどが行う文化遺産保護事業を支援します。 ●世界遺産・無形文化遺産の認知度を高め、保護と継承につなげるため、市民全てが親しむことができる普及活用事業の充実を図ります。
奈良市教育振興基本計画の関連する領域		
主な事業		令和2年度の実施状況
1	世界遺産振興事業	<p>【成果】</p> <p>公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター（ACCU）が行う文化遺産保護協力推進事業を支援するため、同センターが実施する研修事業を後援しました。また、同センターの事業委員会にも委員として参画し、事業チェックやフォローを行いました。加えて、文化遺産普及のため作成した子ども向けのリーフレットを、市立小学校5年生全員に配布しました。</p> <p>また、世界遺産「古都奈良の文化財」保存管理連絡調整会議を開き、県・市の関係機関と情報共有を図りました。</p> <p>さらに、世界的な潮流をふまえた国の指針に基づき、開発事業等による遺産への影響をあらかじめ評価する「遺産影響評価※」の実施に対応するための体制を、県・市の関係機関とともに整えています。</p> <p>※開発事業等による環境への影響をあらかじめ評価する「環境影響評価」と同様に、開発事業等による遺産への影響をあらかじめ評価するものです。</p> <p>【課題と今後の方針】</p> <p>国際文化観光都市として、奈良の文化遺産の価値をより多くの人々に共有してもらうために、関係機関と連携して有効な活用を図っていく必要があります。</p> <p>今後も引き続き、同センターが行う文化遺産保護事業を支援するとともに、世界遺産「古都奈良の文化財」の活用についても所有者等に協力・支援を行っていきます。また、世界遺産、無形文化遺産等の文化</p>

	遺産普及のためのリーフレットの作成やホームページ・ツイッター等を媒体とした普及啓発を進めます。 また、「遺産影響評価」の実施をはじめ、国際社会における遺産保護の新しい考え方にも適切に対応していきます。	達成度	必要性	方向性
		3	同水準	同水準
		【担当課】文化財課		

令和2年度の総合評価			
【成果】 子ども向けのリーフレットを、世界遺産学習に取り組む市立小学校5年生全員に配布し、世界遺産学習との連携の取り組みを進めることができました。			
【課題と今後の方針】 奈良市の世界遺産、無形文化遺産について、所有者や管理者と連携・協力して、より充実した活用を進めていくことが今後一層求められます。 公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター（ACCU）への支援・協力を通じてアジアの世界遺産保護に国際的に貢献するとともに、市内の文化遺産の普及活用についても推進していきます。 また、連絡調整会議を通じて連携を図り、遺産影響評価の適切な実施を促進していきます。			
主な事業の達成度平均	(3) ÷ 1 = 3	判定	3

[参考] 中長期の進捗状況						
指標（単位）	平成28年度 実績値	平成29年度 実績値	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値	令和2年度 実績値	令和2年度 目標値
[参考] 総合計画実施計画における計画額及び予算・決算額（展開方向内事業の合計額：千円）						
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
計画額	156	156	2,200	132	0	
予算額	156	156	2,200	132	0	
決算額	155	156	2,181	125	0	

外部評価者（学識経験者）の意見
● 評価内容について特段指摘することはありません。引き続き、計画に基づいて事業を進めてください。

(3) 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務								
第4次総合計画	基本施策	3-02 子育て						
	施策	3-02-03 子育てと仕事の両立支援						
	施策の目標	保育所等が子育てに関する地域の中心的施設として情報提供や子育て相談の機能を担い、適正規模による適正配置や保育サービスの充実を図ることにより、子育てと仕事の両立支援を目指します。						
	展開方向	② 児童の健全育成と子育ての支援						
	具体的な取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ●老朽化・狭あい化したバンビーホーム※を計画的に整備します。 ※ バンビーホーム：学童保育施設（放課後児童クラブ） ●安全安心な学童保育を実施するため、指導員、学校等との連携の強化を図ります。 						
奈良市教育振興基本計画の関連する領域	5-(2)放課後児童クラブ（バンビーホーム）							
主な事業	令和2年度の実施状況							
1	放課後児童クラブ（バンビーホーム）施設の充実	<p>【成果】</p> <p>国や県の補助金を受けながら、新たに（仮称）平城西中学校区バンビーホームを建設し、大宮及び富雄南バンビーホームを改築しました。また、登美ヶ丘バンビーホームは学校の教室を改修し、バンビーホームの施設整備を行いました。</p> <p>【課題と今後の方針】</p> <p>小学校において児童数が年々減少する中、共働き家庭の増加に伴い保育ニーズが高まり、バンビーホームの利用児童数は増加しています。そのため、児童が快適に過ごすことができるよう、施設の充実が求められています。令和3年度は、令和2年度に完了予定であった月ヶ瀬・辰市バンビーホームの改築と都跡バンビーホームの増築を行うとともに、当初予定していた伏見南・あやめ池・六条バンビーホームの施設整備を行います。</p>						
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>達成度</th> <th>必要性</th> <th>方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td> <td>同水準</td> <td>同水準</td> </tr> </tbody> </table>	達成度	必要性	方向性	3	同水準	同水準
達成度	必要性	方向性						
3	同水準	同水準						
	【担当課】 地域教育課							

2	放課後児童クラブ（バンビーホーム）の運営	<p>【成果】 国や県からの通知に基づき、バンビーホームにおける新型コロナウイルス感染症対策を徹底して行い、継続してバンビーホームの運営を行いました。緊急事態宣言下では、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、特別保育に移行し、家庭保育の協力を要請した結果、多くのご家庭でご協力をいただきました。保育対象児童を限定しながら安全な保育を行うことで、社会機能を維持するために、就業を継続することが必要な方等の支援を継続して行いました。また、国や県の補助金を受けながら、主任制度、支援員研修、巡回指導員等により支援員の資質を高め、児童が放課後等を安全・安心に過ごせる環境を提供することができました。支援員研修は新型コロナウイルス感染症の影響で多くが中止となりましたが、ホーム内研修や参加人数を制限するなど工夫して実施しました。令和元年度に引き続き延長保育や夏休み等昼食提供事業を実施し、保護者の負担軽減とともにバンビーホームの機能強化を図りました。</p> <p>【課題と今後の方針】 引き続き感染症対策を行いながら、コロナ禍においても安定したバンビーホームの運営を行います。また、支援員確保に努めるとともに、支援員の研修会等による保育の質の向上や学校との連携を進め、バンビーホームの安定した運営を図ります。</p> <p>【担当課】 地域教育課</p> <table border="1" data-bbox="871 1196 1390 1281"> <thead> <tr> <th>達成度</th> <th>必要性</th> <th>方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td> <td>同水準</td> <td>同水準</td> </tr> </tbody> </table>	達成度	必要性	方向性	3	同水準	同水準
達成度	必要性	方向性						
3	同水準	同水準						

令和2年度の総合評価			
<p>【成果】 バンビーホームの施設整備を行い、老朽化・狭あい化を解消しました。また、研修等により支援員の資質を高めるとともに、感染症対策を行いながら、コロナ禍においても継続してバンビーホームの運営を行いました。</p> <p>【課題と今後の方針】 年次的に施設を改修し施設の老朽化・狭あい化を解消します。また、主任制度の活用、研修会の充実、巡回指導の強化により保育の質を向上するとともに、引き続き感染症対策を徹底して行い、コロナ禍においても児童が快適に安心して過ごせるバンビーホームの運営を行います。</p>			
主な事業の達成度平均	$(3+3) \div 2 = 3$	判定	3

[参考] 中長期の進捗状況						
指標 (単位)	平成 28年度 実績値	平成 29年度 実績値	平成 30年度 実績値	令和 元年度 実績値	令和 2年度 実績値	令和 2年度 目標値
放課後児童健全育 成事業利用児童数 (5月1日現在)	3,058	3,195	3,292	3,572	1,996	3,250
バンビーホーム施 設整備箇所数	3	5	6	5	4	2

[参考] 総合計画実施計画における計画額及び予算・決算額 (展開方向内事業の合計額：千円)

	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	
計画額	746,120	650,039	1,095,830	1,253,061	1,272,663	
予算額	966,120	666,527	1,095,830	1,252,786	1,449,768	
決算額	735,822	863,606	969,478	1,074,942	1,041,071	

外部評価者 (学識経験者) の意見

- 評価内容について特段指摘することはありません。引き続き、計画に基づいて事業を進めてください。

(3) 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務														
第4次総合計画	基本施策	4-01 危機管理と地域の安全・安心												
	施策	4-01-04 防犯力の充実												
	施策の目標	「奈良市安全安心まちづくり条例」により、安全・安心で快適なまちづくりに関する基本理念を定め、市の責務並びに市民、自治会等及び事業者の役割を明らかにしています。「奈良市安全安心まちづくり基本計画」での「自らの安全は自ら守る」「地域の安全は地域で守る」「見通しの確保といった環境の整備」の3つの柱を基に防犯意識の高揚を図ります。												
	展開方向	① 防犯意識の啓発												
	具体的な取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ●防犯意識を高揚させるため、防犯教室・防犯講演会を実施します。 ●「奈良市安全安心まちづくり基本計画」に基づき啓発を推進します。 ●学校・家庭・地域がそれぞれの特性を生かして連携します。 ●不審者情報や、警察からの犯罪発生情報をメールで配信します。 												
奈良市教育振興基本計画の関連する領域	5-(3)安全・安心な環境づくり													
主な事業	令和2年度の実施状況													
1	学校・家庭・地域が連携した防犯力の充実	<p>【成果】</p> <p>少年指導協議会による校区内の巡回活動（延べ305回、1,616人）、環境浄化活動及び相談活動を実施しましたが、コロナ禍の影響で十分な活動を行うことができませんでした。また、「なら子どもサポートネット」には一般登録、学校・幼稚園・こども園等の関係機関も含め22,747件の登録がありました。さらに痴漢や不審者などから子どもたちの安全を確保するため、各地域に設置をお願いしている「子ども安全の家」の標旗については、4,404軒のご家庭及び店舗に協力いただくことができました。多くの場所に設置いただくことで、地域のバリアがより強固になると考えています。</p> <p>なお、11月15日（日）の「子ども安全の日の集い」については、コロナ禍の中、時間短縮・参加者を限定（110人）しての開催となりました。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>なら子どもサポートネット登録件数（件）</td> <td>16,465</td> <td>18,757</td> <td>22,747</td> </tr> <tr> <td>「子ども安全の家」標旗設置件数（件）</td> <td>4,404</td> <td>4,533</td> <td>4,404</td> </tr> </tbody> </table> <p>【課題と今後の方針】</p> <p>少年指導協議会等の地域団体の活性化と保護者への啓発、学校との連</p>		平成30年度	令和元年度	令和2年度	なら子どもサポートネット登録件数（件）	16,465	18,757	22,747	「子ども安全の家」標旗設置件数（件）	4,404	4,533	4,404
	平成30年度	令和元年度	令和2年度											
なら子どもサポートネット登録件数（件）	16,465	18,757	22,747											
「子ども安全の家」標旗設置件数（件）	4,404	4,533	4,404											

		<p>携を通して「地域の子どもは地域で育てる」ことに努めます。また、各学校から 123 件の不審者情報が報告されていることをはじめ、全国的にも子どもが被害者となる凶悪事件や事故が後を絶たないことから、地域の小中高校生の安全・防犯意識を高め、「自らの安全や命を自ら守る力」を育成するとともに、発達段階に応じて、地域を守る担い手の育成を図ります。</p> <p>「子ども安全の家」の活動については、研修会等を活用し、実際に子どもが助けを求めてきた時の対応について説明し、理解を得ながら啓発をしていきます。同時に、各学校と連携し、子どもたちが「子ども安全の家」の場所を把握し、助けを求める行動を促すための啓発を行います。</p> <table border="1" data-bbox="871 719 1390 817"> <tr> <td data-bbox="472 719 871 770">【担当課】</td> <td data-bbox="871 719 1024 770">達成度</td> <td data-bbox="1024 719 1193 770">必要性</td> <td data-bbox="1193 719 1390 770">方向性</td> </tr> <tr> <td data-bbox="472 770 871 817">いじめ防止生徒指導課</td> <td data-bbox="871 770 1024 817">3</td> <td data-bbox="1024 770 1193 817">増加</td> <td data-bbox="1193 770 1390 817">拡充</td> </tr> </table>	【担当課】	達成度	必要性	方向性	いじめ防止生徒指導課	3	増加	拡充												
【担当課】	達成度	必要性	方向性																			
いじめ防止生徒指導課	3	増加	拡充																			
2	不審者情報の配信	<p>【成果】</p> <p>「なら子どもサポートネット」による奈良市からの不審者情報の一斉配信は 0 件、学校毎の安全安心情報配信は 1,016 件でした。これらの不審者情報や子どもの安全安心情報について、正確な情報を迅速に提供できるよう努めました。</p> <table border="1" data-bbox="512 1059 1390 1207"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成 30 年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和 2 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>不審者情報 (件)</td> <td>4</td> <td>10</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>安全安心情報配信 (件)</td> <td>1,163</td> <td>1,676</td> <td>1,016</td> </tr> </tbody> </table> <p>【課題と今後の方針】</p> <p>不審者情報や子どもの安全安心情報については、保護者や市民のニーズが高く、迅速で正確な情報提供が求められます。登録案内配付等の啓発活動を進め、正確な情報を迅速に提供することができるよう、関係機関との連携強化に努めます。</p> <table border="1" data-bbox="871 1543 1390 1637"> <tr> <td data-bbox="472 1543 871 1594">【担当課】</td> <td data-bbox="871 1543 1024 1594">達成度</td> <td data-bbox="1024 1543 1193 1594">必要性</td> <td data-bbox="1193 1543 1390 1594">方向性</td> </tr> <tr> <td data-bbox="472 1594 871 1637">いじめ防止生徒指導課</td> <td data-bbox="871 1594 1024 1637">3</td> <td data-bbox="1024 1594 1193 1637">同水準</td> <td data-bbox="1193 1594 1390 1637">同水準</td> </tr> </table>		平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	不審者情報 (件)	4	10	0	安全安心情報配信 (件)	1,163	1,676	1,016	【担当課】	達成度	必要性	方向性	いじめ防止生徒指導課	3	同水準	同水準
	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度																			
不審者情報 (件)	4	10	0																			
安全安心情報配信 (件)	1,163	1,676	1,016																			
【担当課】	達成度	必要性	方向性																			
いじめ防止生徒指導課	3	同水準	同水準																			

令和 2 年度の総合評価	
	<p>【成果】</p> <p>コロナ禍の中の限られた活動とはなりましたが、少年指導協議会等の組織を中心として、地域・家庭・学校・行政が連携して子どもたちの登下校時の見守り活動や地域内の情報交換を行うことにより、校区内の防犯意識、防犯力向上につなげることができました。</p> <p>「子ども安全の日の集い」についても、同じくコロナ禍の影響で時間短縮の上、参加者を限定しての開催となりましたが、子どもの安心・安全を守る学校と地域の在り方について、改</p>

めて考える契機とすることができました。

【課題と今後の方針】

安心・安全な環境づくりのためには、各小学校区の見守り隊や地域教育協議会等、地域で組織された各種団体との調整や連携が不可欠です。合同街頭指導の実施や研修会を通して、地域全体で子どもを守り育てるためのリーダーを育成し、地域の横の連携の強化を図ります。不審者情報や子どもの安全安心情報の提供については、保護者や市民のニーズが高く、今後も「なら子どもサポートネット」の安定した運用が必要です。不審者情報配信にあたり、奈良県警等の関係機関と情報共有を図り、正確な情報提供を迅速に行います。また、より多くの方の登録により、多くの目で子どもたちを見守る「人の垣根」を構築するために、安定した運用と啓発活動に努めていきます。

主な事業の達成度平均	(3+3)÷2=3				判定	3
[参考] 中長期の進捗状況						
指標 (単位)	平成 28年度 実績値	平成 29年度 実績値	平成 30年度 実績値	令和 元年度 実績値	令和 2年度 実績値	令和 2年度 目標値
「子ども安全の日の集い」への参加人数	330	315	300	362	110	300
[参考] 総合計画実施計画における計画額及び予算・決算額 (展開方向内事業の合計額：千円)						
	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	
計画額	490	1,921	3,035	7,082	5,865	
予算額	1,660	1,785	3,035	7,067	5,865	
決算額	1,529	1,731	2,467	6,980	5,736	

外部評価者 (学識経験者) の意見

- 評価内容について特段指摘することはありません。引き続き、計画に基づいて事業を進めてください。

【評価全体に対する外部評価者の意見】

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う臨時休校など、様々な困難があった中でも、工夫を凝らし昨年度と同様に施策を実施できました。コロナ禍において、教員や教育委員会が努力し取り組んできた各事業の内容について、しっかりと記録を残しておくことが、今後感染症が拡大した時の備えや、保護者や地域の方との信頼関係につながると感じました。

また、社会情勢の変化とともに、学校では子どもに関して様々な課題が浮き彫りになっています。教員だけで複雑化する課題に対応するのは困難です。それらを解決するためには、教員や保護者を中心に、民生委員や地域教育協議会、心理職などの専門家、カウンセラー、さらに関連する医療関係者なども含めた「チーム学校¹」で対応することが必要です。奈良市ではスクールカウンセラーが全校に配置されるなど、仕組みづくりについて進捗が見られます。今後も専門的な人材や地域の方とも連携しながら、不登校児童・生徒や外国籍の子どもへのきめ細かな対応、登下校の見守りなどに取り組むことを期待します。

¹ チーム学校については、文部科学省のホームページ
https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/siryu/attach/1365185.htm
をご覧ください。

3 参考資料

- 参考資料 1、2
（1）教育委員会の活動（評価シート 1）、（2）教育委員会が管理・執行する事務（評価シート 2）に対応

- 参考資料 3
（3）教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務（評価シート 10）に対応

参考資料 1

教育委員会案件表（定例 1 2 回・臨時 5 回の案件数）

請願	1 件（うち 0 件を採択する）
教育長報告	2 9 件（うち 2 9 件を了承する）
議事議案	6 1 件（うち 6 1 件を可決する）
その他報告	5 件（うち 5 件を了承する）
計	9 6 件を審議し、以上のように了承・可決した。
協議事項	2 1 件

議事議案の事務別件数表（教育委員会が管理・執行する事務別）

1	教育に関する事務の管理及び基本的な方針に関すること	5 件
2	学校その他教育機関の設置及び廃止を決定すること	2 件
3	教育に関する予算及び議会の議決を経るべき議案について意見を申し出ること	1 件
4	教科用図書採択を決定すること	3 件
5	教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免、その他人事に関すること	7 件
6	教育委員会規則その他教育委員会の定める規定の制定又は改廃に関すること	2 8 件
7	法律または条例に基づく教育委員会の附属機関等（教科用図書選定委員会その他重要なものを含む。）の委員の委嘱に関する事並びに附属機関に対する諮問事項に関する事。	1 4 件
8	教育委員会の権限に属する事務（教育長委任事務を含む。）の管理並びに執行状況の点検及び評価に関する事	1 件
9	児童生徒の出席停止に関する事	—
	計	6 1 件

参考資料 2

開催月	事案	番号	内容
令和2年4月13日 (4月臨時)	議案	1	新型コロナウイルスの感染拡大防止に係る奈良市立学校の臨時休業について
	教育長報告		新型コロナウイルスの感染拡大防止に係る奈良市立学校の臨時休業について
令和2年4月21日 (4月定例)	議案	2	奈良市公民館運営審議会委員の委嘱又は任命について
	議案	3	奈良市立図書館協議会委員の解任及び任命について
	教育長報告		緊急事態宣言の発令に伴う特別保育への移行について
	教育長報告		緊急事態宣言の発出に伴う小学校児童の特別受入れへの移行について
	教育長報告		新型コロナウイルスの感染防止対策のための施設の臨時休館について
	教育長報告		奈良市教育委員会規則における押印の取扱いの特例に関する規則の制定について
	教育長報告		奈良市教育委員会告示における押印の取扱いの特例に関する告示について
	教育長報告		令和3～6年度使用奈良市立中学校教科用図書採択の基本方針について
	教育長報告		令和3年度使用奈良市立高等学校教科用図書採択の基本方針について
	教育長報告		緊急事態宣言下における教職員の在宅勤務の実施について
	協議事項		「新型コロナウイルスの感染症拡大防止に係る奈良市立学校の臨時休業についてー臨時休業期間中の学習支援等についてー」
令和2年5月21日 (5月定例)	議案	4	奈良市立小・中学校通学区域検討委員会委員の委嘱又は任命について
	議案	5	奈良市文化財保護審議会臨時委員（史跡名勝天然記念物保存活用部会委員）の解嘱及び委嘱について
	議案	6	令和3～6年度使用奈良市立中学校教科用図書選定委員会委員及び研究員の委嘱又は任命について
	議案	7	令和3年度使用奈良市立高等学校教科用図書選定委員会委員及び研究員の委嘱又は任命について
	議案	8	令和3年度奈良市立高等学校入学者選抜検査問題作成委員会委員の任命について
	議案	9	令和2年度奈良市教育支援委員会委員・調査員の委嘱又は任命について
	議案	10	奈良市通級指導教室設置要綱の一部改正について
	教育長報告		令和2年度5月補正予算要求額について
	教育長報告		令和2年度6月補正予算要求額について
	教育長報告		新型コロナウイルスの感染防止対策のための施設の臨時休館について
教育長報告		緊急事態宣言の発令に伴う特別保育について	
教育長報告		新型コロナウイルスの感染拡大防止に係る奈良市立学校園の臨時休業について	
協議事項		「緊急事態宣言の解除に伴う奈良市立学校の再開について」	
令和2年6月30日 (6月定例)	議案	11	奈良市立学校教職員安全衛生規則の一部改正について
	議案	12	奈良市立学校の管理運営に関する規則の一部改正について
	議案	13	奈良市いじめ対策検討委員会委員の委嘱又は任命について
	議案	14	奈良市いじめ防止連絡協議会委員の委嘱又は任命について
	教育長報告		令和2年度新型コロナウイルス感染症対応による奈良市放課後児童健全育成事業補助金交付要領の制定について
	その他報告		不登校児童生徒への対応状況について
	協議事項		「奈良市の目指す教育について」
協議事項		「奈良市における中高一貫教育校の設置について」	
令和2年7月21日 (7月定例)	議案	15	(仮称)奈良市立一条高等学校附属中学校の設置について
	議案	16	奈良市学校給食費の管理に関する要綱の一部改正について
	議案	17	奈良市立図書館管理規則の一部改正について
	教育長報告		令和2年度7月補正予算要求額について
	その他報告		「学校再開後の生活調べ」及び再開後の状況について
	その他報告		アフターコロナにおける不登校児童生徒の対応について
協議事項		「奈良市における中高一貫教育校の設置について」	
令和2年8月4日 (8月臨時)	議案	18	令和3年度使用奈良市立高等学校教科用図書の採択について
	議案	19	令和3～6年度使用奈良市立中学校教科用図書の採択について
令和2年8月18日 (8月定例)	議案	20	令和2年度奈良市教育委員会施策評価報告書（令和元年度教育委員会活動の点検・評価報告）について
	議案	21	教育機関等の職員の勤務時間等に関する規則の一部改正について
	議案	22	令和3年度奈良市立一条高等学校入学者選抜実施要項について
	議案	23	令和3年度奈良市立幼稚園園児募集要項について
教育長報告		令和2年度9月補正予算要求額について	

開催月	事案	番号	内容
	協議事項		「奈良市の目指す教育について」
	協議事項		「不登校児童生徒の対応について」
令和2年9月29日 (9月定例)	議案	24	奈良市放課後児童健全育成事業施設条例施行規則の一部改正について
	議案	25	奈良市学校結核対策委員会委員の委嘱又は任命について
	議案	26	令和3年度奈良市立幼稚園園児募集要項について
	教育長報告		奈良市教育委員会障害者活躍推進計画について
	教育長報告		市立幼稚園の再編方針の変更について
	協議事項		「奈良市の目指す教育について～次期奈良市教育振興基本計画（案）について～」
	協議事項		「（仮称）一条高等学校附属中学校の設置について①」
	協議事項		「（仮称）一条高等学校附属中学校の設置について②～入学者選抜方法について～」
令和2年10月20日 (10月定例)	議案	27	令和3年度奈良市立中学校夜間学級生徒募集要項について
	議案	28	奈良市放課後児童健全育成事業補助金交付要綱の一部改正について
	議案	29	奈良市文化財保護審議会委員の委嘱について
	議案	30	奈良市立学校設置条例の一部改正について
	協議事項		「奈良市の目指す教育について～次期奈良市教育振興基本計画（案）について～」
	協議事項		「（仮称）一条高等学校附属中学校の設置について」
令和2年11月20日 (11月定例)	議案	31	奈良市立一条高等学校教員人事異動方針について
	議案	32	奈良市立学校の管理運営に関する規則の一部改正について
	教育長報告		令和2年度12月補正予算要求額について
	協議事項		「（仮称）一条高等学校附属中学校の設置について①」
	協議事項		「（仮称）一条高等学校附属中学校の設置について② ～附属中学校設置に伴う一条高等学校の学科再編について～」
令和2年12月22日 (12月定例)	議案	33	奈良市立学校設置条例の一部改正について
	議案	34	押印省略に伴う奈良市教育委員会関係規則の整備に関する規則の制定について
	議案	35	押印省略に伴う奈良市教育委員会関係要綱の整備に関する告示について
	議案	36	押印省略に伴う関係要綱の整備に関する告示について
	議案	37	奈良市放課後児童健全育成事業施設条例施行規則の一部改正について
	教育長報告		奈良市学校施設長寿命化計画について
	協議事項		「奈良市の目指す教育について～次期奈良市教育振興基本計画（案）について～」
令和3年1月8日（1月臨時）	請願		「令和3年1月1日に予定されている成人式の延期等の適切な措置を求める」請願
令和3年1月29日 (1月定例)	議案	38	奈良市放課後児童健全育成事業施設条例の一部改正について
	議案	39	奈良市立学校特認校制度に関する要綱の一部改正について
	議案	40	旧鼓阪幼稚園の土地、建物及び工作物の用途廃止について
	議案	41	教職員の人事について
	その他報告		学校運営協議会意見申出書について
	協議事項		「奈良市の目指す教育について～次期奈良市教育振興基本計画（案）について～」
	協議事項		「（仮称）一条高等学校附属中学校の設置について～入学者選抜方法について～」
令和3年2月24日 (2月定例)	議案	42	令和3年度奈良市立学校の教材使用の承認について
	議案	43	奈良市立小学校及び中学校の施設の開放に関する規則の一部改正について
	教育長報告		令和3年度予算要求額について
	教育長報告		令和2年度3月補正予算要求額について
	教育長報告		令和2年度奈良市立幼稚園修了証書授与式並びに奈良市立小・中・高等学校、春日中学校夜間学級卒業証書授与式における奈良市・奈良市教育委員会祝辞について
	教育長報告		市立幼稚園の再編実施方針について
	教育長報告		奈良市指定文化財の指定について
	教育長報告		学校における携帯電話の取扱い等に関するガイドラインの策定について
	協議事項		「奈良市の目指す教育について～次期奈良市教育振興基本計画（案）について～」
	協議事項		「（仮称）一条高等学校附属中学校の設置について① ～附属中学校設置に伴う一条高等学校の学科再編について～」
	協議事項		「（仮称）一条高等学校附属中学校の設置について②～入学者選抜方法について～」

開催月	事案	番号	内容
令和3年3月4日 (3月臨時)	議案	44	令和3年4月県費負担教職員の人事について
令和3年3月26日 (3月定例)	議案	45	奈良市教育振興基本計画の策定について
	議案	46	中学校区別実施計画「後期計画」の延長について
	議案	47	奈良市立一条高等学校の学科再編について
	議案	48	奈良市立中学校通学区域の一部改正について
	議案	49	奈良市教育センター組織に関する規則の一部改正について
	議案	50	奈良市立学校の管理運営に関する規則の一部改正について
	議案	51	奈良市立学校教職員の人事評価に関する苦情処理要綱の一部改正について
	議案	52	奈良市公民館運営審議会委員の任命について
	議案	53	奈良市指定文化財の指定について
	議案	54	奈良市立図書館管理規則の一部改正について
	議案	55	奈良市教職員分限懲戒審査委員会委員の委嘱について
	教育長報告		奈良市立一条高等学校教員の任用について
	教育長報告		市立幼稚園の再編方針の変更について
その他報告		奈良市立学校におけるいじめ事象について	
協議事項		「一条高等学校附属中学校の設置について～学校説明会について～」	
令和3年3月25日 (3月臨時)	議案	56	奈良市教育委員会事務局組織に関する規則の一部改正について
	議案	57	奈良市教育委員会事務局の権限に属する事務の補助執行に関する規則の一部改正について
	議案	58	任命権者間協議を要する職員の人事について
	議案	59	事務局内の教育職及び指導主事の人事について
	議案	60	学校等の用務員・給食調理員・自動車運転手の人事について
	議案	61	奈良市立幼稚園の人事について

